

子ども・子育て支援に関するアンケート調査 報 告 書

令和 7 年 3 月

総社市

目次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査方法	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
II 調査結果	2
1 属性	2
2 家庭の状況	5
(1) 主な教育者	5
(2) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無	6
3 両親の就労状況	9
(1) 母親の就労状況	9
(2) 父親の就労状況	13
(3) 共働きの状況	15
4 教育・保育事業の利用	16
(1) 教育・保育事業の利用状況	16
(2) 教育・保育事業の利用希望	22
5 病気の際の対応	27
(1) 病気等により幼稚園や保育所(園), 学校を休んだ経験	27
(2) 病児・病後児保育施設等の利用希望	29
6 不定期の保育サービスの利用	30
(1) 不定期に利用したサービス	30
(2) 不定期に子どもを預ける事業の利用希望	32
(3) ショートステイの利用希望	33
7 地域子育て支援拠点事業	34
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	34
(2) 地域子育て支援拠点事業利用希望	38
8 子育て全般	40
(1) 子育て支援サービスの認知度	40
(2) 子育て仲間の有無	41
(3) 子育てに関する不安や負担の程度	43
(4) 子育てに関する困りごと	46
(5) 子育てに関する相談先の有無	54
(6) 子育て支援に関する情報の入手先	57
(7) 地域の子育て環境	58
(8) 近所付き合いの程度	65
(9) 地域の人々や社会全体の支えの感じ方	67

(10) 総社市の子育てのしやすさの評価.....	69
9 放課後の過ごし方.....	71
(1) 放課後の過ごし方.....	71
(2) 放課後児童クラブの利用状況.....	73
(3) 放課後児童クラブに対する要望.....	75
(4) 放課後児童クラブの利用希望.....	76
10 育児休業・育児休暇.....	79
(1) 育児休業取得状況.....	79
11 子育て支援.....	81
(1) 将来, 必要としていることや重要だと思う支援.....	81
12 生活実態.....	83
(1) 収入総合計額.....	83
(2) 公的年金や社会保障給付金の受給の有無.....	84
(3) 経済状況.....	85
(4) 子どもの将来のための貯蓄の有無.....	86
(5) 経済的な理由で食料を買えなかった経験.....	87
(6) 経済的な理由で公共料金が未払いになった経験.....	88
13 子どもの権利.....	89
(1) 子どもの権利条約の認知度.....	89
(2) 子どもの権利の中で大切だと思うこと.....	90
14 児童虐待, ヤングケアラー.....	91
(1) 虐待を見聞きした経験.....	91
(2) ヤングケアラーという言葉の認知度.....	93
(3) ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対応.....	94
15 今後の出産に関する意向.....	95
(1) 子どもの今後の予定の人数と理想の人数.....	95
Ⅲ 調査票.....	97
1 就学前児童.....	97
2 小学生児童.....	116

I 調査の概要

1 調査目的

市民の教育・保育・子育て支援に関する実態や要望等を把握し、「総社市こども計画」の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査方法

- (1) 調査地域 総社市全域
- (2) 抽出方法 市内に居住する、0歳から小学校6年生までの児童がいる家庭の中から無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送配布・回収
- (4) 調査対象 就学前児童 1,000世帯・小学生児童 1,000世帯
- (5) 調査時期 就学前児童：令和6年6月13日～令和6年6月30日
小学生児童：令和6年6月13日～令和6年6月30日

3 回収結果

	配布数(票)	有効回収数(票)	有効回収率(%)
就学前児童	1,000 票	532 票	53.2%
小学生児童	1,000 票	485 票	48.5%

4 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 2つ以上の回答(複数回答)を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

Ⅱ 調査結果

1 属性

(1) 小学校区

(就学前児童)

	回答数	割合
総社	103	19.4%
総社中央	85	16.0%
総社北	16	3.0%
常盤	104	19.5%
総社東	64	12.0%
阿曾	12	2.3%
池田	2	0.4%
秦	8	1.5%
神在	4	0.8%
総社西	13	2.4%
新本	4	0.8%
昭和五つ星学園 義務教育学校	7	1.3%
山手	56	10.5%
清音	49	9.2%
無回答	5	0.9%
全体	532	100.0%

(小学生児童)

	回答数	割合
総社	90	18.6%
総社中央	54	11.1%
総社北	17	3.5%
常盤	100	20.6%
総社東	49	10.1%
阿曾	11	2.3%
池田	3	0.6%
秦	14	2.9%
神在	8	1.6%
総社西	16	3.3%
新本	13	2.7%
昭和五つ星学園 義務教育学校	8	1.6%
山手	57	11.8%
清音	45	9.3%
無回答	-	-
全体	485	100.0%

(2) 年齢・学年(令和6年4月1日現在)

(就学前児童)

	回答数	割合
0歳	79	14.8%
1歳	77	14.5%
2歳	69	13.0%
3歳	89	16.7%
4歳	123	23.1%
5歳	92	17.3%
無回答	3	0.6%
全体	532	100.0%

(小学生児童)

	回答数	割合
1年生	82	16.9%
2年生	88	18.1%
3年生	88	18.1%
4年生	76	15.7%
5年生	78	16.1%
6年生	73	15.1%
無回答	-	-
全体	485	100.0%

(3) きょうだいの人数

(就学前児童)

	回答数	割合
1人	141	26.5%
2人	268	50.4%
3人以上	121	22.7%
無回答	2	0.4%
全体	532	100.0%

(小学生児童)

	回答数	割合
1人	49	10.1%
2人	271	55.9%
3人以上	165	34.0%
無回答	—	—
全体	485	100.0%

(4) 末子の年齢(令和6年4月1日現在)

(就学前児童)

	回答数	割合
0歳	83	21.3%
1歳	79	20.3%
2歳	60	15.4%
3歳	47	12.1%
4歳	59	15.2%
5歳	27	6.9%
無回答	34	8.7%
全体	389	100.0%

(小学生児童)

	回答数	割合
0歳	16	3.7%
1歳	16	3.7%
2歳	17	3.9%
3歳	27	6.2%
4歳	60	13.8%
5歳	35	8.0%
6歳	61	14.0%
7歳	40	9.2%
8歳	40	9.2%
9歳	32	7.3%
10歳	27	6.2%
11歳	36	8.3%
無回答	29	6.7%
全体	436	100.0%

(5) 両親の状況

<父親>

(就学前児童)

	回答数	割合
一緒に住んでいる	498	93.6%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	10	1.9%
死別、離婚、未婚などでいない	22	4.1%
無回答	2	0.4%
全体	532	100.0%

(小学生児童)

	回答数	割合
一緒に住んでいる	443	91.3%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	13	2.7%
死別、離婚、未婚などでいない	29	6.0%
無回答	—	—
全体	485	100.0%

<母親>

(就学前児童)

	回答数	割合
一緒に住んでいる	529	99.4%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	1	0.2%
死別、離婚、未婚などでいない	-	-
無回答	2	0.4%
全体	532	100.0%

(小学生児童)

	回答数	割合
一緒に住んでいる	483	99.6%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	-	-
死別、離婚、未婚などでいない	2	0.4%
無回答	-	-
全体	485	100.0%

(6)-1 世帯構成

(就学前児童)

	回答数	割合
二世帯世帯 (子どもと親)	466	87.6%
三世帯世帯 (子どもと親と祖父母)	59	11.1%
その他の世帯	5	0.9%
無回答	2	0.4%
全体	532	100.0%

(小学生児童)

	回答数	割合
二世帯世帯 (子どもと親)	401	82.7%
三世帯世帯 (子どもと親と祖父母)	78	16.1%
その他の世帯	6	1.2%
無回答	-	-
全体	485	100.0%

(6)-2 世帯構成(ひとり親世帯の状況)

(就学前児童)

	回答数	割合
両親世帯	508	95.5%
母子世帯	22	4.1%
父子世帯	-	-
その他の世帯	-	-
無回答	2	0.4%
全体	532	100.0%

(小学生児童)

	回答数	割合
両親世帯	454	93.6%
母子世帯	29	6.0%
父子世帯	2	0.4%
その他の世帯	-	-
無回答	-	-
全体	485	100.0%

(7) 回答者

(就学前児童)

	回答数	割合
母親	482	90.6%
父親	48	9.0%
その他	-	-
無回答	2	0.4%
全体	532	100.0%

(小学生児童)

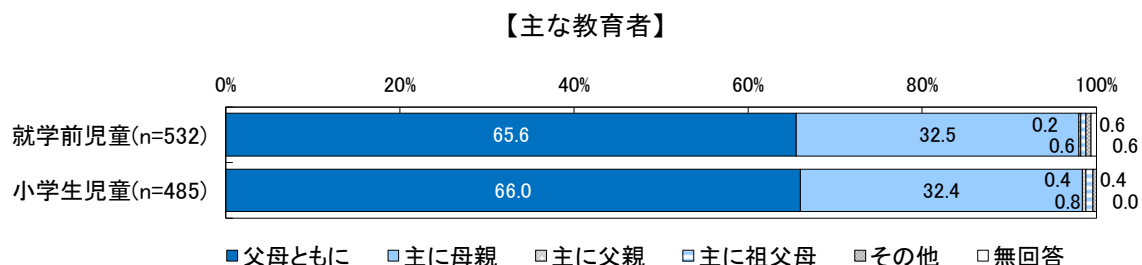
	回答数	割合
母親	445	91.8%
父親	40	8.2%
その他	-	-
無回答	-	-
全体	485	100.0%

2 家庭の状況

(1) 主な教育者

問7 就学前児童・小学生児童

あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で回答してください。【〇は1つ】



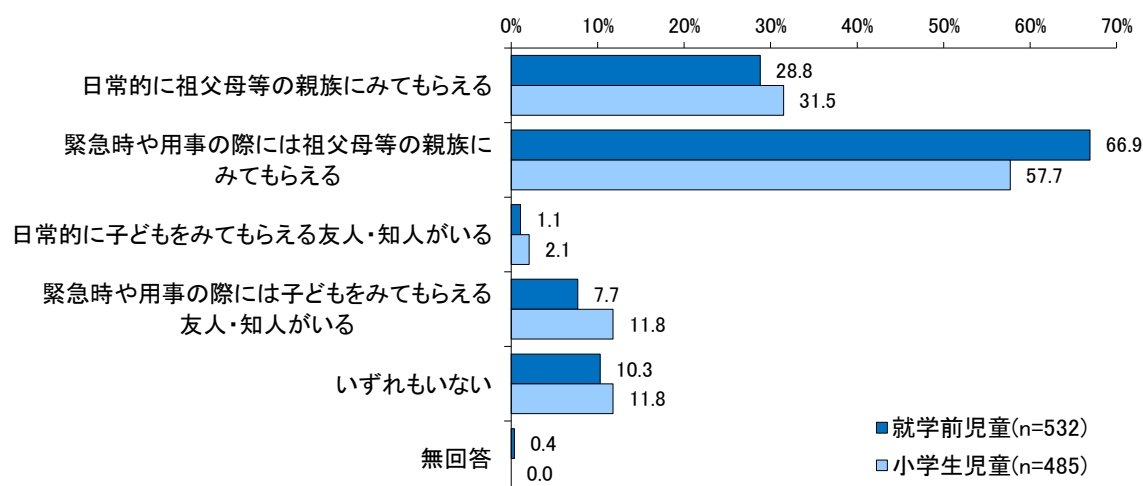
主な教育者について、「父母ともに」と回答した割合は就学前児童で 65.6%，小学生児童で 66.0% となっており、「主に母親」と回答した割合は就学前児童で 32.5%，小学生児童で 32.4% となっている。

(2) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問8 就学前児童・小学生児童

日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【○は当てはまるものすべて】

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無】

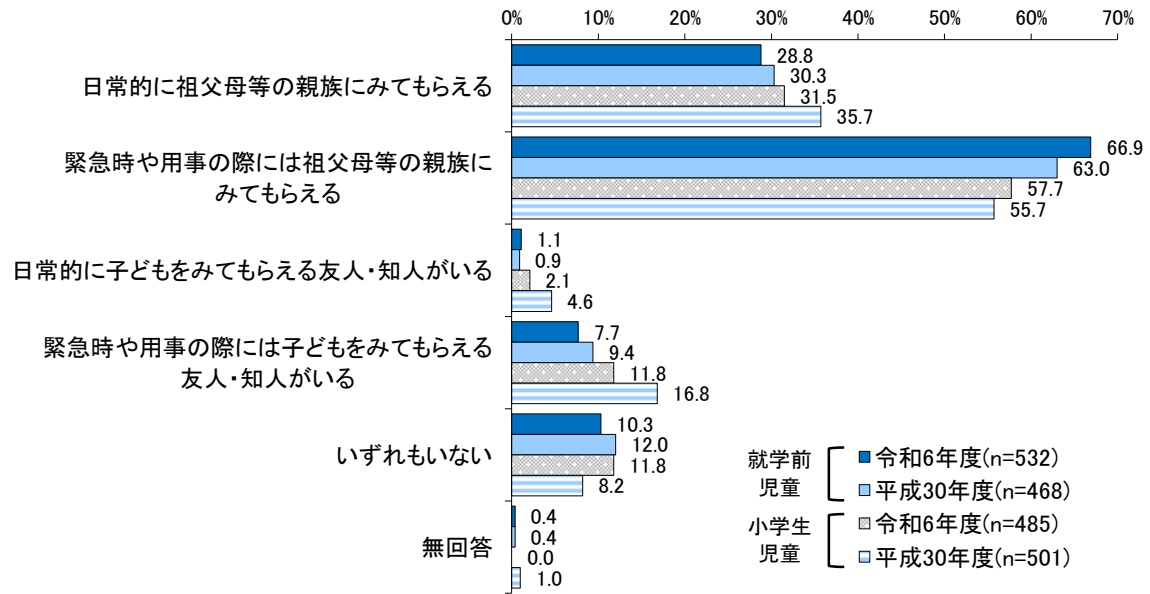


子どもをみてもらえる親族の有無について、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合は就学前児童で28.8%、小学生児童で31.5%、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合は就学前児童で66.9%、小学生児童で57.7%となっている。

また、子どもをみてもらえる知人の有無について、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した割合は就学前児童で1.1%、小学生児童で2.1%、「緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した割合は就学前児童で7.7%、小学生児童で11.8%となっている。

一方、「いずれもない」と回答した割合は就学前児童で10.3%、小学生児童で11.8%となっている。

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、特徴的な変化はみられない。

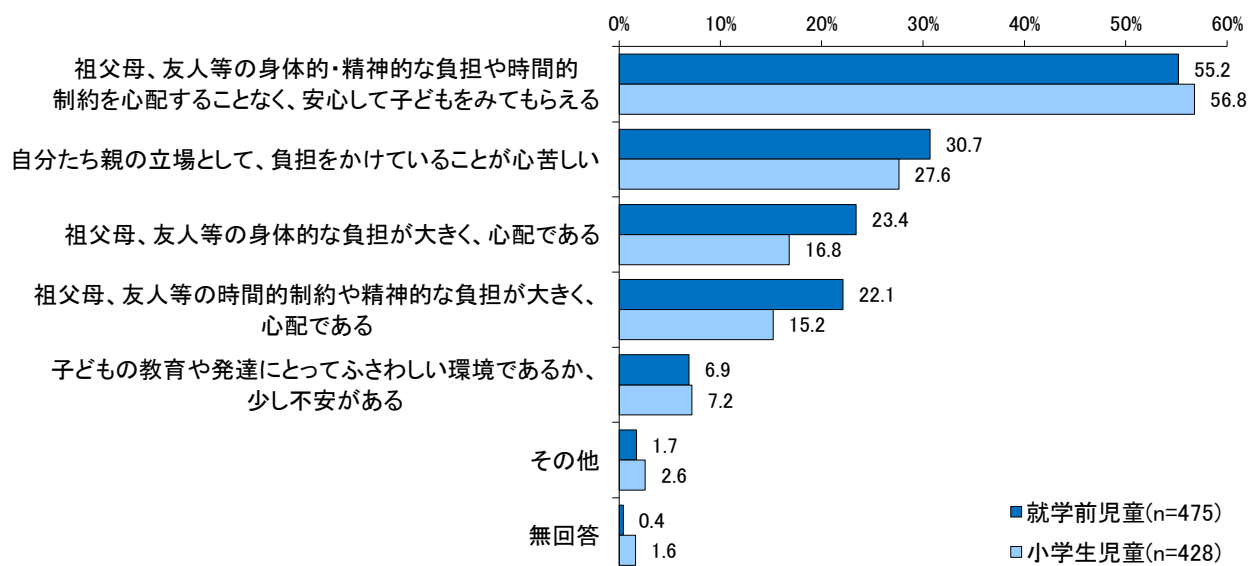
問8で「1」から「4」（みてもらえる親族・知人がいる）と回答した人のみ回答

問8－1 就学前児童・小学生児童

祖父母等の親族，友人，知人にお子さんをみてもらっている状況について回答してください。

【○は当てはまるものすべて】

【子どもをみてもらえる親族・知人の状況】



子どもをみてもらえる親族・知人の状況について、「祖父母，友人等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく，安心して子どもをみてもらえる」と回答した割合は就学前児童で 55.2%，小学生児童で 56.8%となっている。

一方，「自分たち親の立場として，負担をかけていることが心苦しい」と回答した割合は就学前児童で 30.7%，小学生児童で 27.6%となっている等，多くの家庭が子どもをみもらうことを心苦しいと感じたり，心配と感じたりしている。

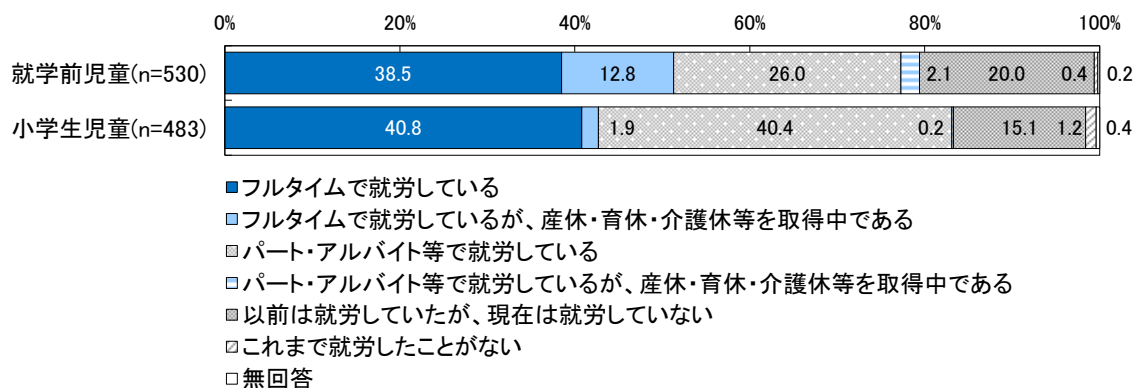
3 両親の就労状況

(1) 母親の就労状況

問9 就学前児童・小学生児童

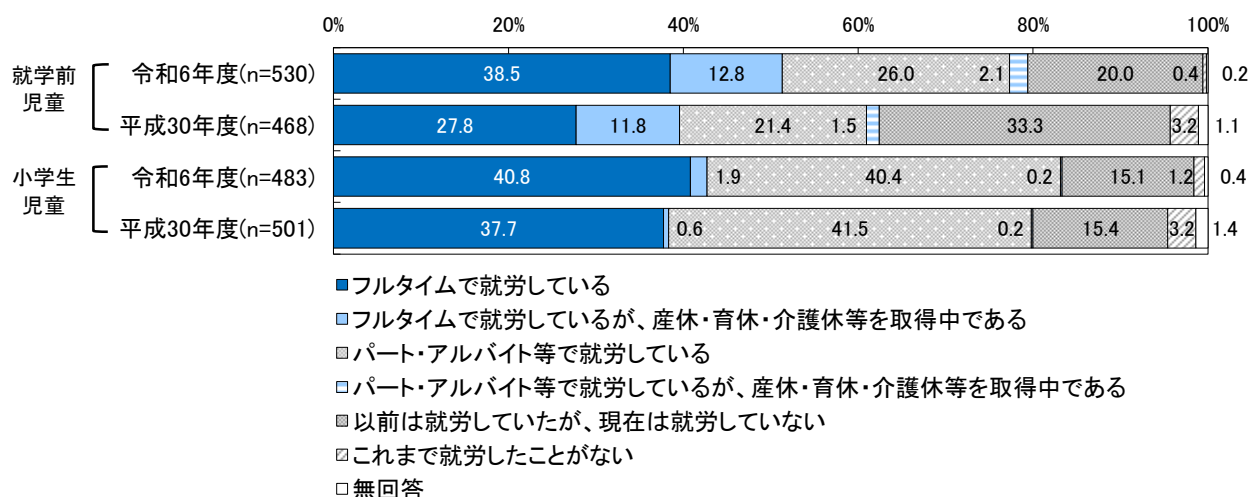
お母さんの就労状況を回答してください。【○は1つ】

【母親の就労状況】



母親の就労状況について、『フルタイムで就労している』と回答した割合は就学前児童で 51.3%，小学生児童で 42.7%，『パート・アルバイト等で就労している』と回答した割合は就学前児童で 28.1%，小学生児童で 40.6%，『就労していない』（「以前は就労していたが、現在は就労していない」＋「これまで就労したことがない」）と回答した割合は就学前児童で 20.4%，小学生児童で 16.3%となっている。

【母親の就労状況（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、『フルタイムで就労している』と回答した割合が上昇している。

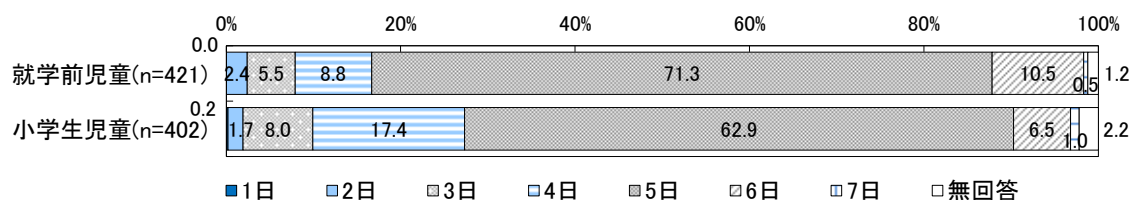
問9で「1」から「4」（就労している）と回答した人のみ回答

問9-1 就学前児童・小学生児童

お母さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時間・帰宅時間、土曜日・日曜日の勤務状況を記入してください。

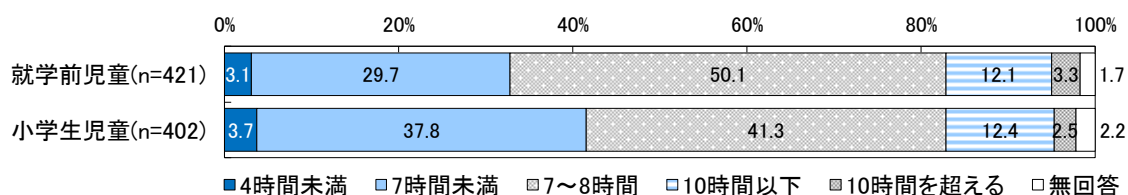
【数字を記入・土日の勤務状況の○を1つ】

【母親の1週当たりの就労日数】



母親の1週当たりの就労日数について、「5日」と回答した割合は就学前児童で71.3%、小学生児童で62.9%、「6日」と回答した割合は就学前児童で10.5%、小学生児童で6.5%となっている。

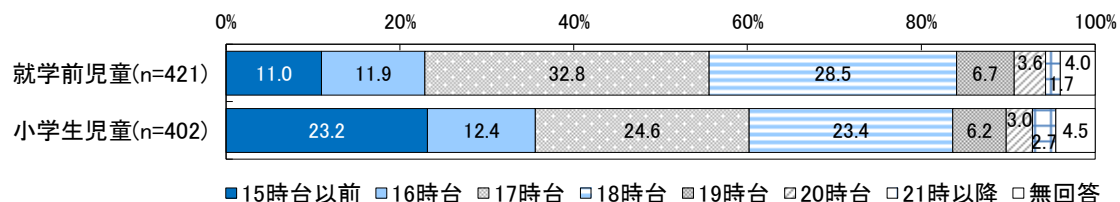
【母親の1日当たりの就労時間】



母親の1日当たりの就労時間について、「7～8時間」と回答した割合は就学前児童で50.1%、小学生児童で41.3%となっている。

また、『8時間を超える』割合は就学前児童で15.4%、小学生児童で14.9%となっている。

【母親の帰宅時間】



母親の帰宅時間について、就学前児童、小学生児童ともに「17時台」と回答した割合が最も高くなっている。

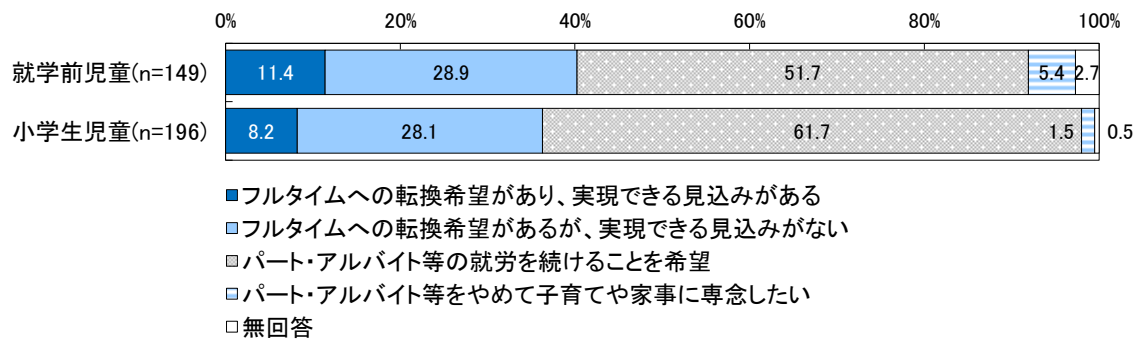
また、『19時を超える』割合は就学前児童で12.0%、小学生児童で11.9%となっている。

問9で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した人のみ回答

問9－2 就学前児童・小学生児童

お母さんはフルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

【母親のフルタイムへの転換希望】



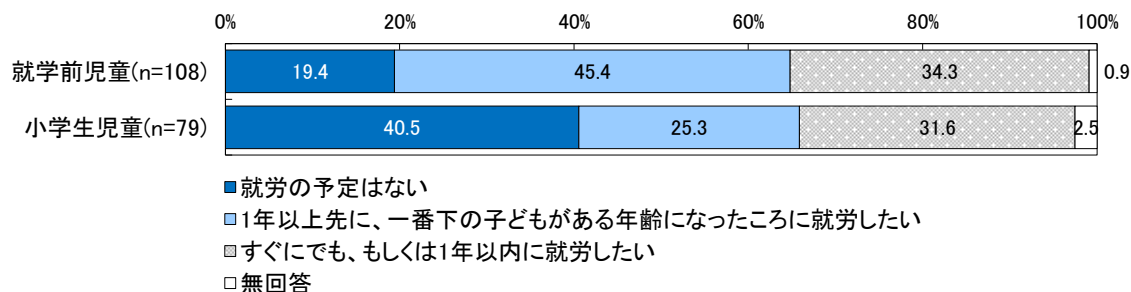
パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望について、『フルタイムへの転換希望がある』と回答した割合は就学前児童で 40.3%，小学生児童で 36.3%となっている。

問9で「5」または「6」（現在就労していない）と回答した人のみ回答

問9－3 就学前児童・小学生児童

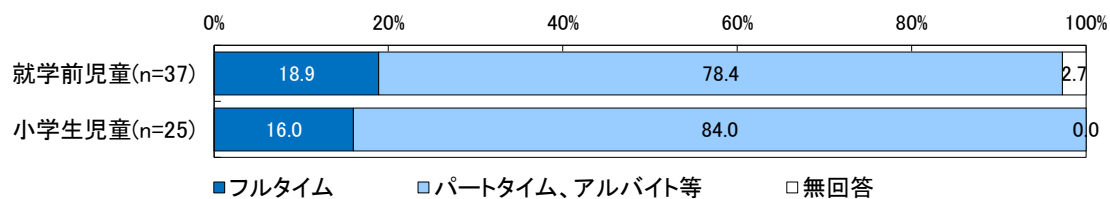
お母さんは就労したいという希望はありますか。【〇は1つ】

【母親の就労希望】



現在就労していない母親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した割合は就学前児童で34.3%，小学生児童で31.6%となっている。

【母親の希望の就労形態】



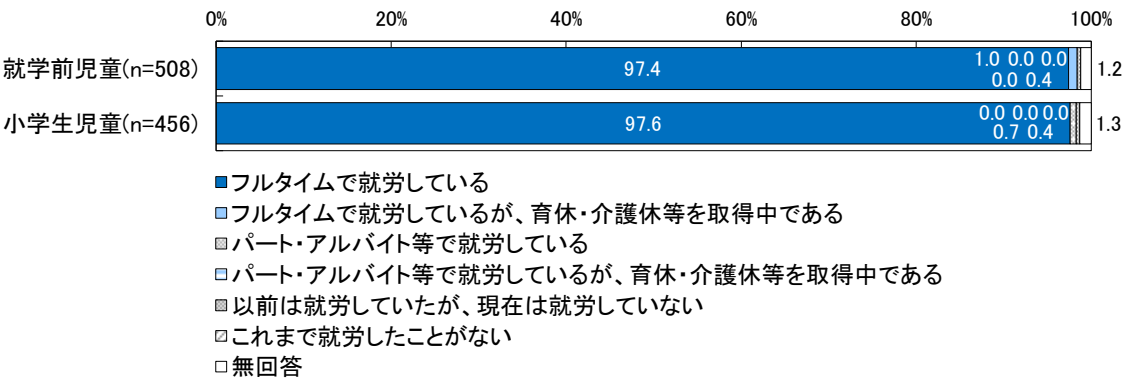
現在就労していない母親の希望の就労形態について、「フルタイム」と回答した割合は就学前児童で18.9%，小学生児童で16.0%，「パートタイム、アルバイト等」と回答した割合は就学前児童で78.4%，小学生児童で84.0%となっている。

(2) 父親の就労状況

問 10 就学前児童・小学生児童

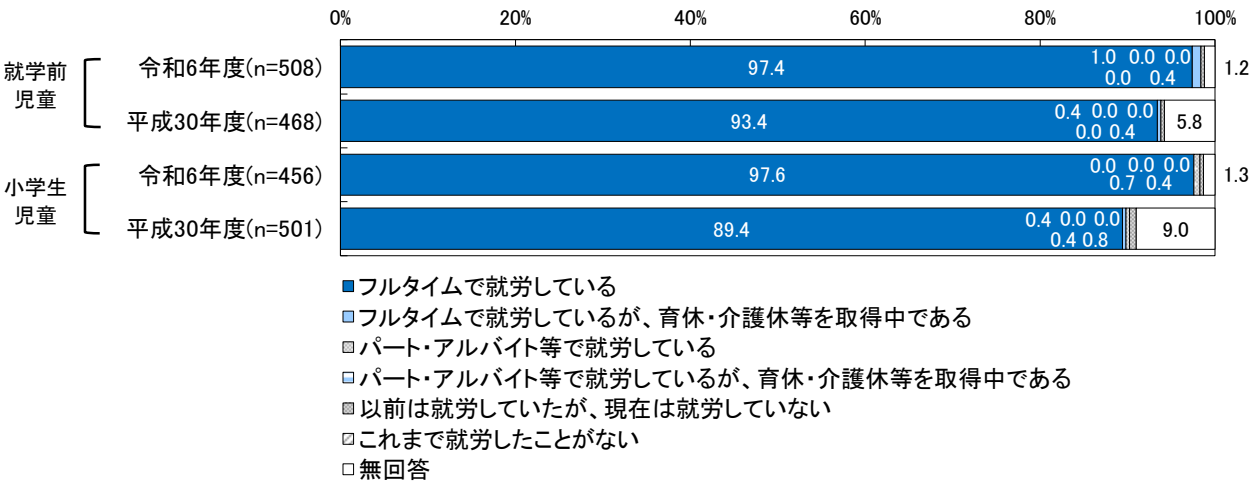
お父さんの就労状況を回答してください。【○は1つ】

【父親の就労状況】



父親の就労状況について、『フルタイムで就労している』と回答した割合は就学前児童で98.4%，小学生児童で97.6%となっている。

【父親の就労状況（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、特徴的な変化はみられない。

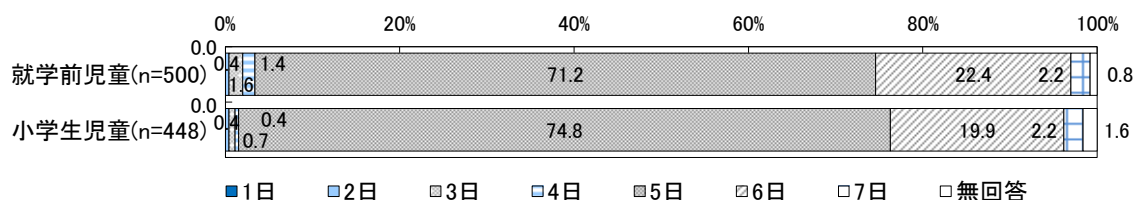
問 10 で「1」から「4」（就労している）と回答した人のみ回答

問 10-1 就学前児童・小学生児童

お父さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時間・帰宅時間、土曜日・日曜日の勤務状況を記入してください。

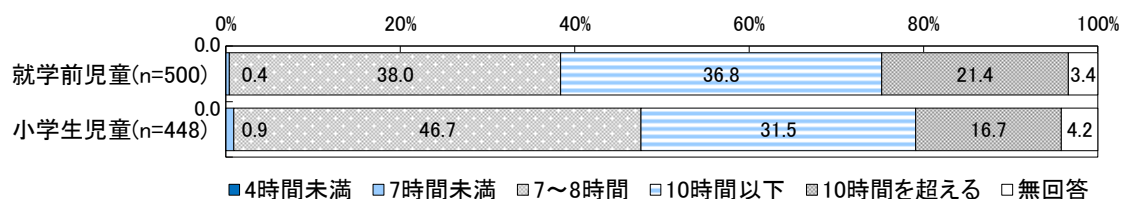
【数字を記入・土日の勤務状況に○を1つ】

【父親の1週当たりの就労日数】



父親の1週当たりの就労日数について、「5日」と回答した割合は就学前児童で71.2%、小学生児童で74.8%、「6日」と回答した割合は就学前児童で22.4%、小学生児童で19.9%となっている。

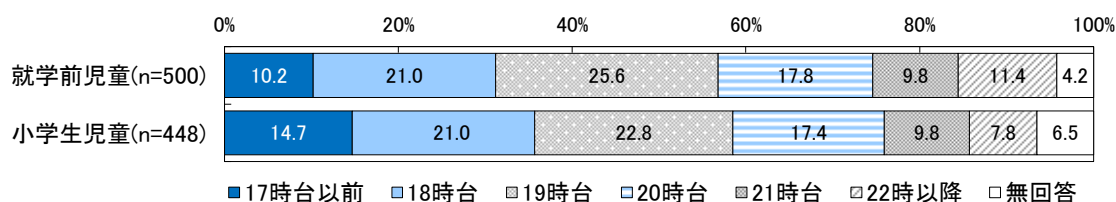
【父親の1日当たりの就労時間】



父親の1日当たりの就労時間について、「7～8時間」と回答した割合は就学前児童で38.0%、小学生児童で46.7%となっている。

また、「10時間を超える」と回答した割合は就学前児童で21.4%、小学生児童で16.7%となっている。

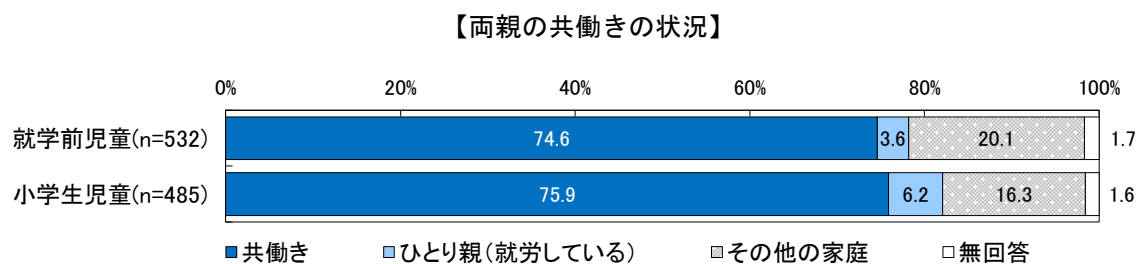
【父親の帰宅時間】



父親の帰宅時間について、就学前児童、小学生児童ともに「19時台」と回答した割合が最も高くなっている。

また、『21時を超える』割合は就学前児童で21.2%、小学生児童で17.6%となっている。

(3) 共働きの状況



母親，父親の就労状況による共働きの家庭の割合は就学前児童で 74.6%，小学生児童で 75.9%となっている。

また，ひとり親家庭で就労している家庭の割合は就学前児童で 3.6%，小学生児童で 6.2%となっている。

4 教育・保育事業の利用

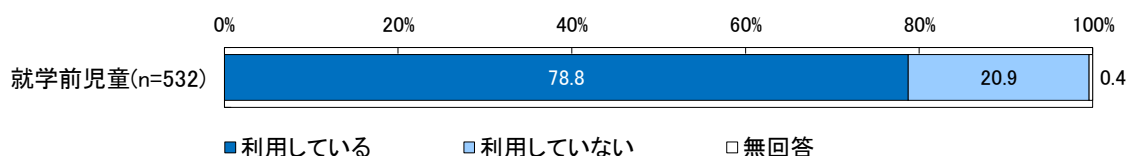
(1) 教育・保育事業の利用状況

問 11 就学前児童

あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所（園）などの教育・保育事業を利用していますか。

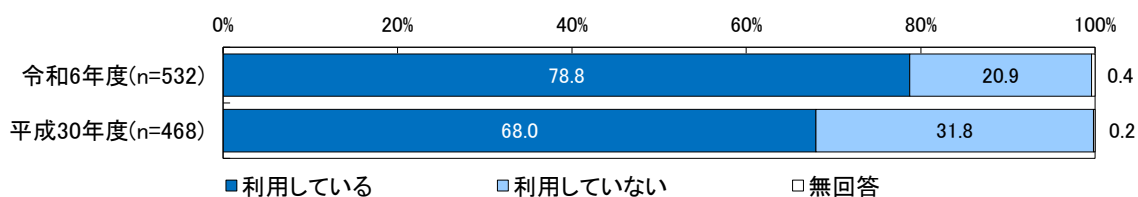
【〇は1つ】

【教育・保育事業の利用状況】



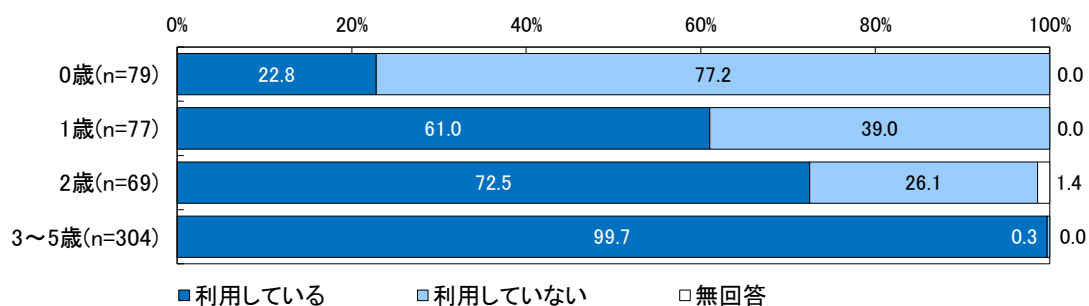
教育・保育事業の利用状況について、「利用している」と回答した割合が 78.8%となっている。

【教育・保育事業の利用状況（就学前児童・前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、「利用している」と回答した割合が上昇している。

【教育・保育事業の利用状況（就学前児童・年齢別）】

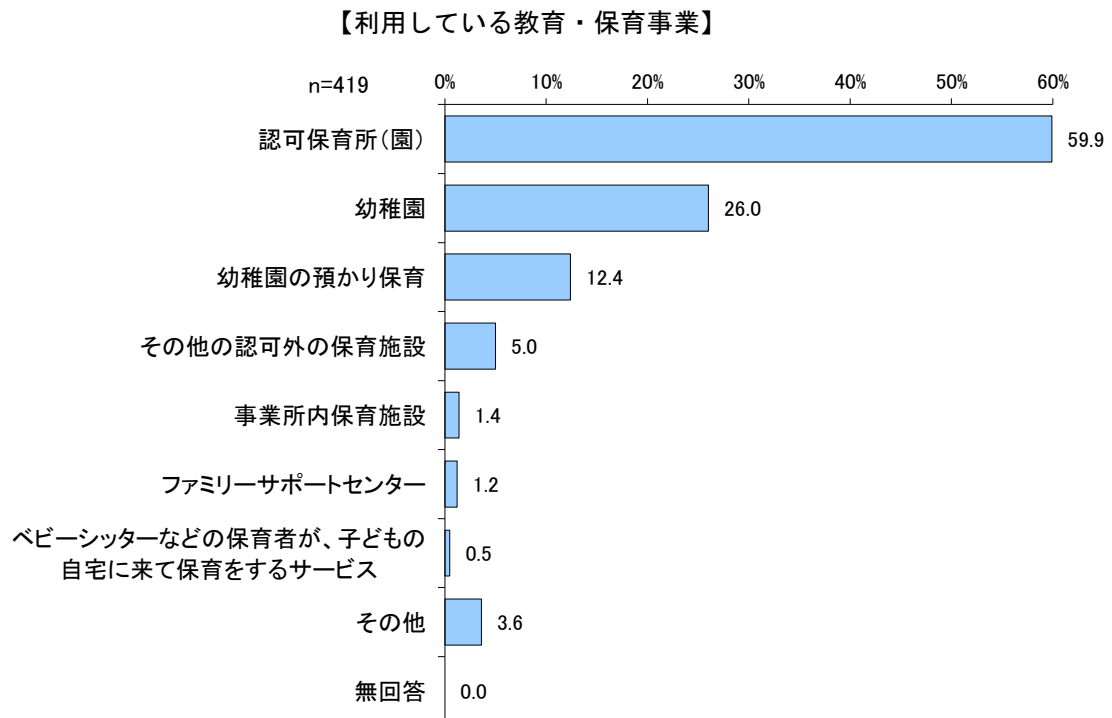


年齢別にみると、「利用している」と回答した割合は、年齢が上がるほど高くなっている。

問 11 で「1 利用している」と回答した人のみ回答

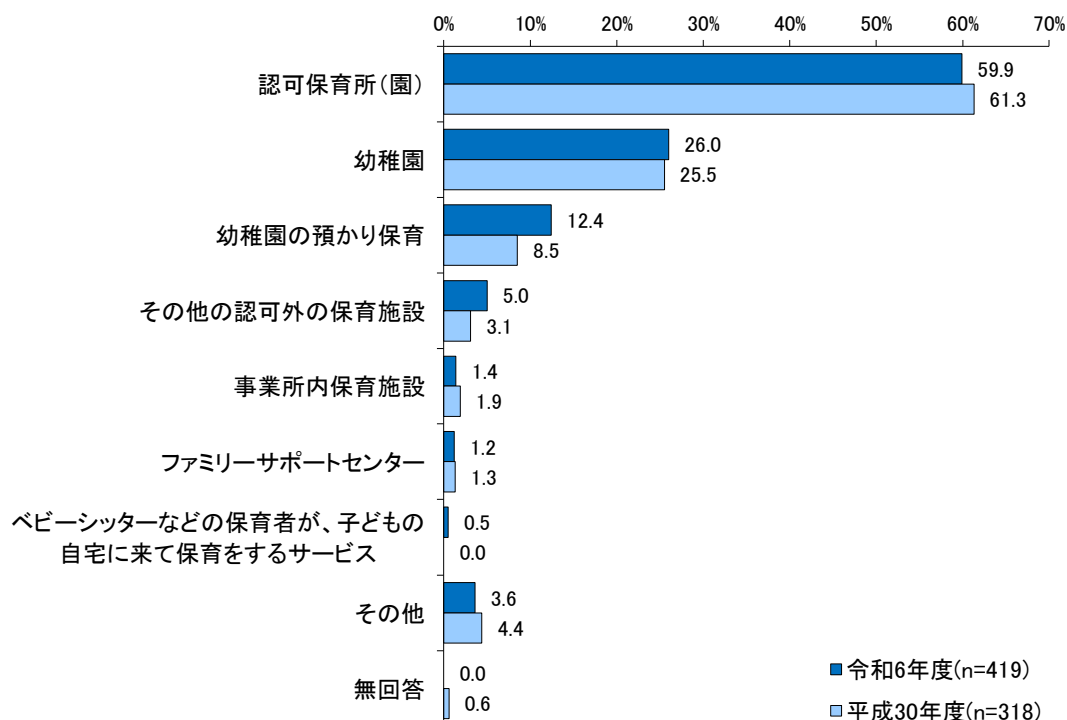
問 11-1 就学前児童

あて名のお子さんは、平日にどのような事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】



利用している教育・保育事業について、「認可保育所（園）」と回答した割合が 59.9%、「幼稚園」と回答した割合が 26.0%となっている。

【利用している教育・保育事業（就学前児童・前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、特徴的な変化はみられない。

【利用している教育・保育事業（就学前児童・年齢別）】

	回答数	認可保育所(園)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	その他の認可外の保育施設	事業所内保育施設	ファミリーサポートセンター	ベビーシッターなどの保育者が、子どもの自宅に来て保育をするサービス	その他	無回答
0歳	18	77.8%	—	5.6%	—	11.1%	—	—	11.1%	—
1歳	47	76.6%	2.1%	—	14.9%	6.4%	4.3%	—	—	—
2歳	50	84.0%	2.0%	—	12.0%	2.0%	—	—	2.0%	—
3～5歳	303	52.1%	35.3%	16.8%	2.6%	—	1.0%	0.7%	4.0%	—

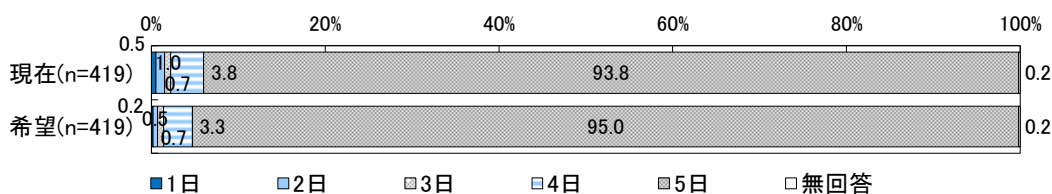
年齢別にみると、いずれの年齢層においても「認可保育所（園）」と回答した割合が最も高くなっている。

問 11-2 就学前児童

平日、定期的に利用している幼稚園や保育所(園)などの事業をどのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

【1週当たりの日数と利用時間を数字で記入】

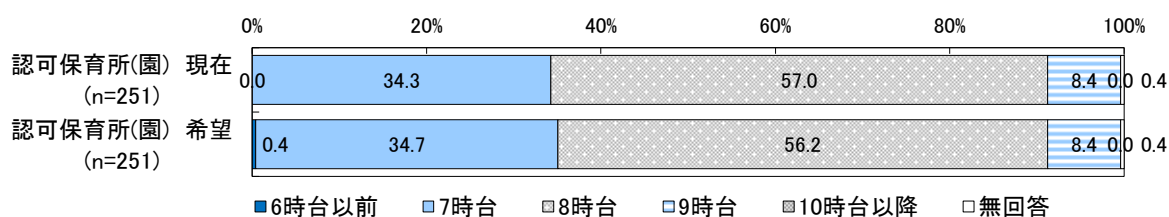
【教育・保育事業の1週当たりの利用日数】



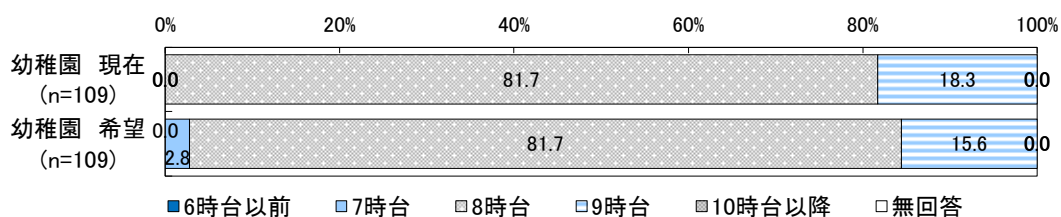
教育・保育事業の1週当たりの利用日数について、現在の利用日数、希望の利用日数ともに「5日」と回答した割合が最も高くなっている。

【教育・保育事業の利用開始時間】

[認可保育所(園)]



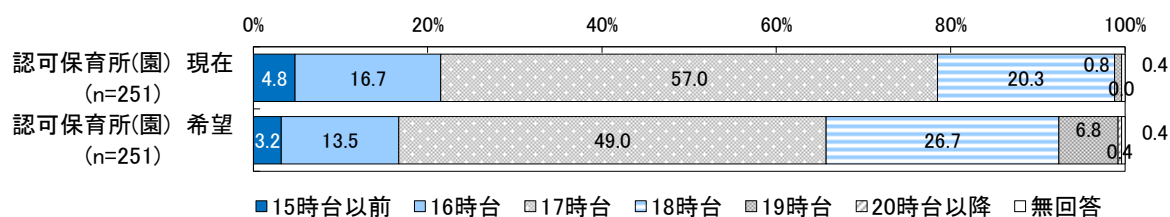
[幼稚園]



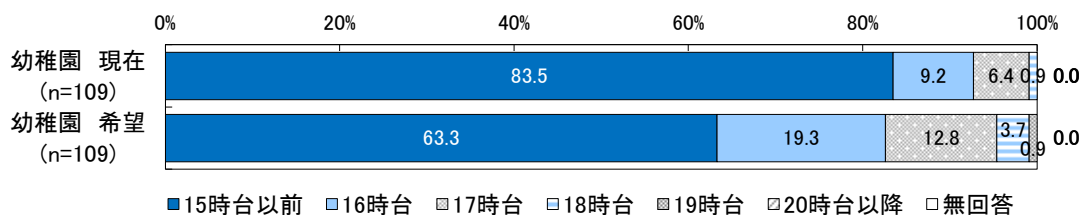
教育・保育事業の利用開始時間について、認可保育所(園)、幼稚園ともに現在の利用開始時間、希望の利用開始時間のいずれも「8時台」の割合が高くなっている。

【教育・保育事業の利用終了時間】

〔認可保育所（園）〕



〔幼稚園〕



教育・保育事業の利用終了時間について、認可保育所（園）の現在の利用終了時間は、「17 時台」の割合が最も高く、希望では現在よりも「18 時台」、「19 時台」の割合が高くなっている。

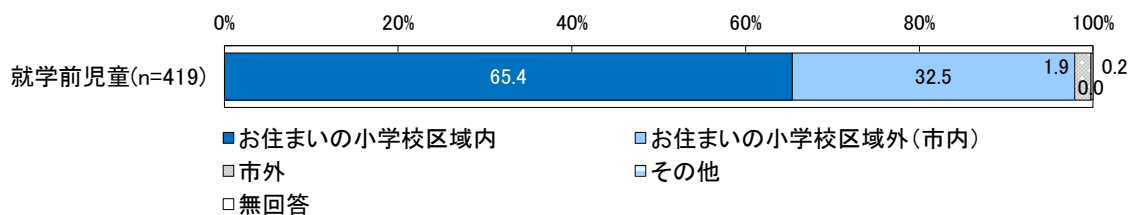
幼稚園の現在の利用終了時間は、「15 時台以前」の割合が 83.5%と最も高く、希望では現在よりも「16 時台」、「17 時台」の割合が高くなっている。

問 11-3 就学前児童

現在、利用している幼稚園や保育所（園）などの教育・保育事業の実施場所はどの地域ですか。

【○は 1 つ】

【利用している教育・保育事業の実施地域】

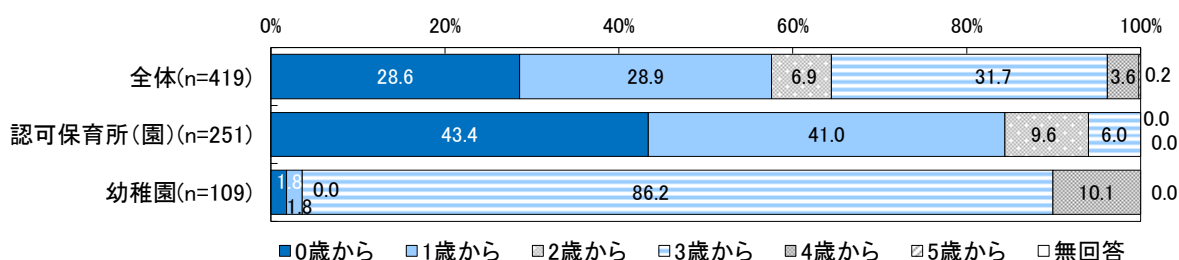


利用している教育・保育事業の実施地域について、「お住まいの小学校区域内」と回答した割合が 65.4%、「お住まいの小学校区域外（市内）」と回答した割合が 32.5%となっている。

問 11-4 就学前児童

お子さんが何歳のときから利用していますか。【〇は1つ】

【教育・保育事業の利用開始年齢（就学前児童・事業別）】



教育・保育事業の利用開始年齢について、事業別にみると、認可保育所（園）では「0歳から」、「1歳から」と回答した割合が84.4%となっている。

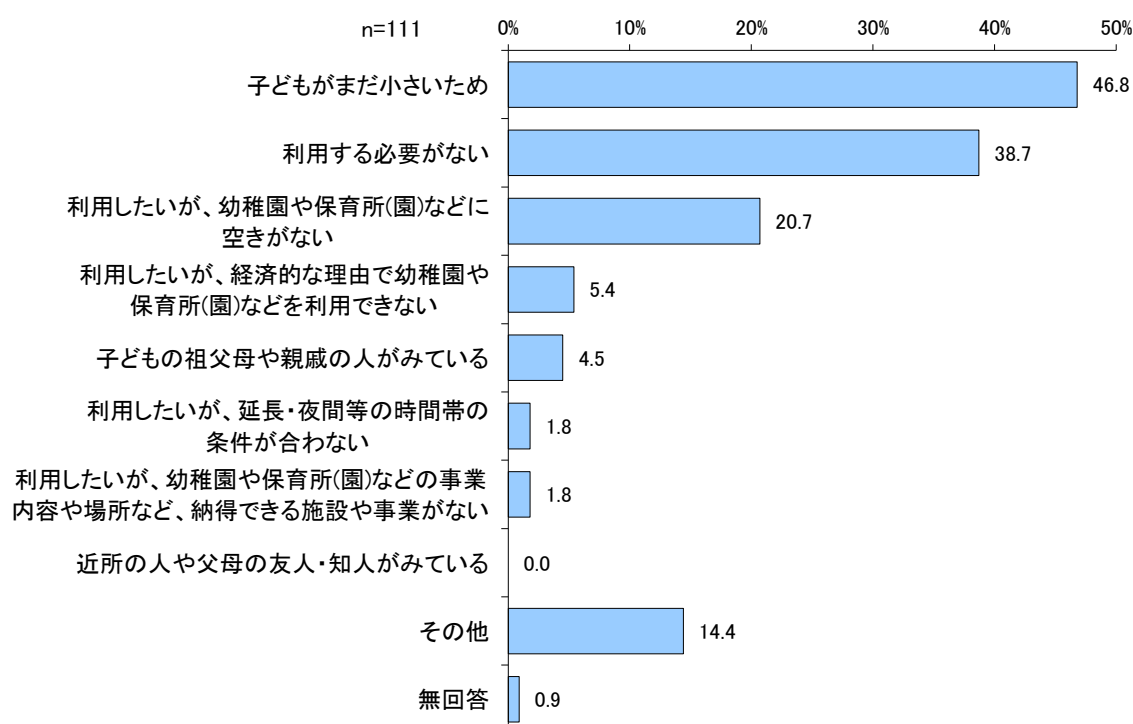
問 11 で「2」（幼稚園や保育所（園）などの事業を利用していない）と回答した人のみ回答

問 11-5 就学前児童

現在、幼稚園や保育所（園）などの教育・保育事業を利用していない理由を回答してください。

【〇は当てはまるものすべて】

【教育・保育事業を利用していない理由】



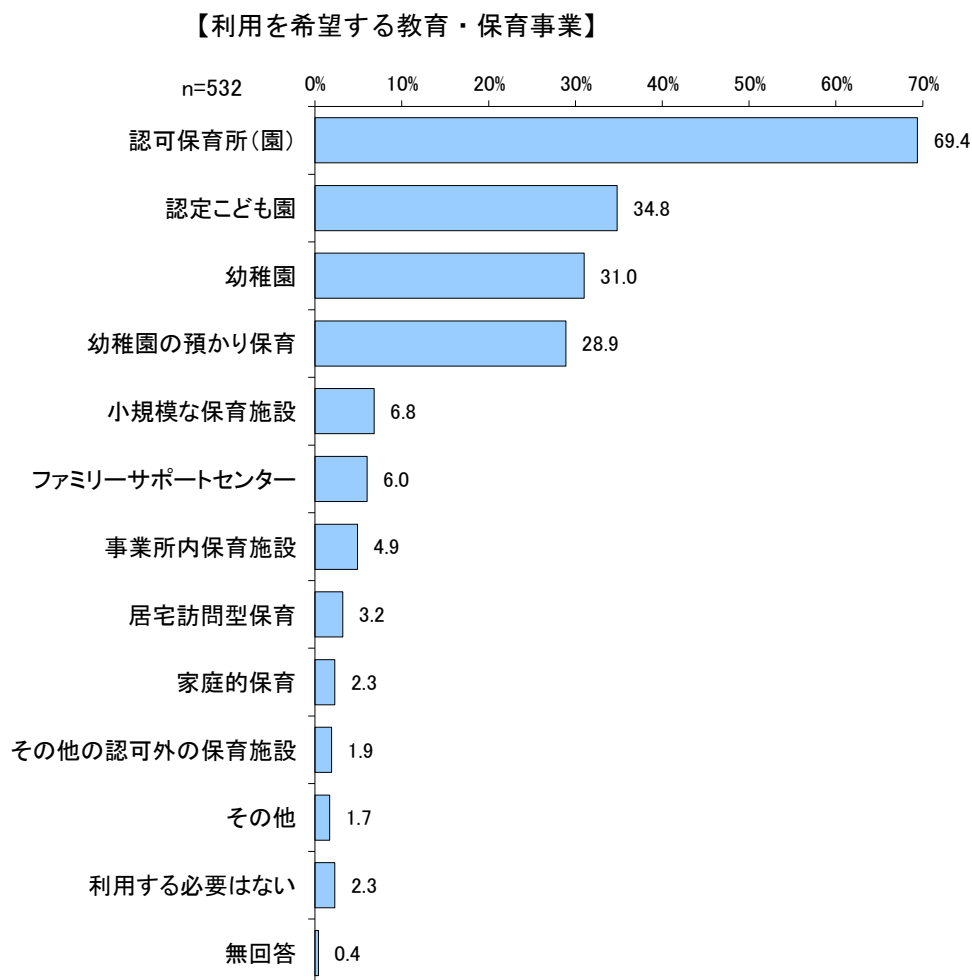
教育・保育事業を利用していない理由について、「利用したいが、幼稚園や保育所（園）などに空きがない」と回答した割合が20.7%、「利用したいが、経済的な理由で幼稚園や保育所（園）などを利用できない」と回答した割合が5.4%と、利用希望があるが利用できていない回答も挙がっている。

(2) 教育・保育事業の利用希望

問 12 就学前児童

あて名のお子さんについて、平日、定期的にどのような施設や事業を利用したいと思いますか。現在、利用している、利用していないにかかわらず回答してください。

【○は当てはまるものすべて】



利用を希望する教育・保育事業について、「認可保育所（園）」と回答した割合が 69.4%と最も高く、「認定こども園」（34.8%）、「幼稚園」（31.0%）が続いている。

【利用を希望する教育・保育事業（就学前児童・年齢別）】

	回答数	認可保育所(園)	認定こども園	幼稚園	幼稚園の預かり保育	小規模な保育施設	ファミリーサポートセンター	事業所内保育施設	居宅訪問型保育
0歳	79	75.9%	55.7%	27.8%	24.1%	12.7%	15.2%	5.1%	3.8%
1歳	77	77.9%	40.3%	26.0%	20.8%	10.4%	7.8%	7.8%	3.9%
2歳	69	72.5%	42.0%	30.4%	27.5%	4.3%	4.3%	8.7%	2.9%
3～5歳	304	64.5%	26.3%	33.6%	32.9%	4.9%	3.6%	3.3%	3.0%

	回答数	家庭的保育	その他の認可外の保育施設	その他	利用する必要はない	無回答
0歳	79	—	2.5%	5.1%	6.3%	—
1歳	77	2.6%	3.9%	—	3.9%	—
2歳	69	2.9%	—	1.4%	1.4%	2.9%
3～5歳	304	2.6%	1.6%	1.3%	1.0%	—

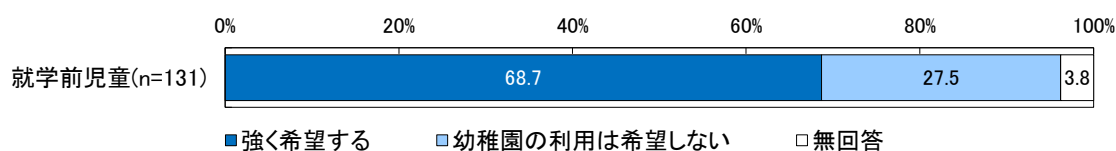
年齢別にみると、いずれの年齢層においても「認可保育所（園）」と回答した割合が最も高くなっている。

問12で「2 幼稚園」または「3 幼稚園の預かり保育」と回答し、かつ、その他の番号も回答した人のみ回答

問12-1 就学前児童

特に幼稚園の利用を強く希望しますか。【○は1つ】

【幼稚園の強い利用希望】

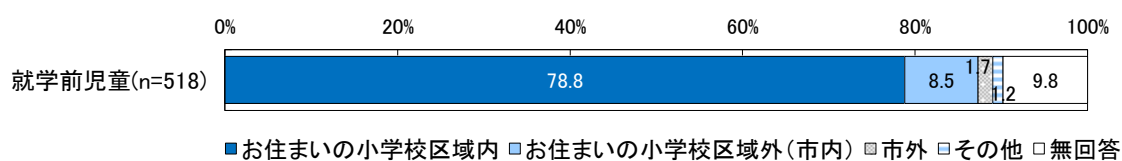


幼稚園と他の事業の複数の利用希望を回答したうち、幼稚園の利用を「強く希望する」と回答した割合が68.7%となっている。

問 12-2 就学前児童

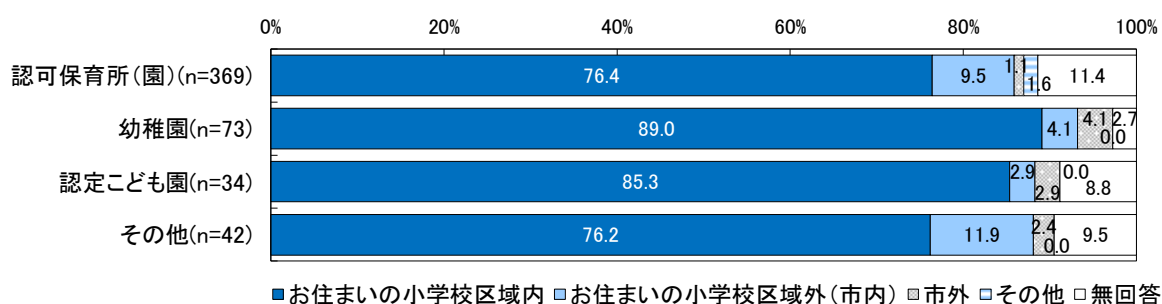
利用したいと思う幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業はどの地域ですか。【〇は1つ】

【教育・保育事業の利用希望地域】



教育・保育事業の利用希望地域について、「お住まいの小学校区域内」と回答した割合が78.8%となっている。

【教育・保育事業の利用希望地域（就学前児童・利用希望事業別）】

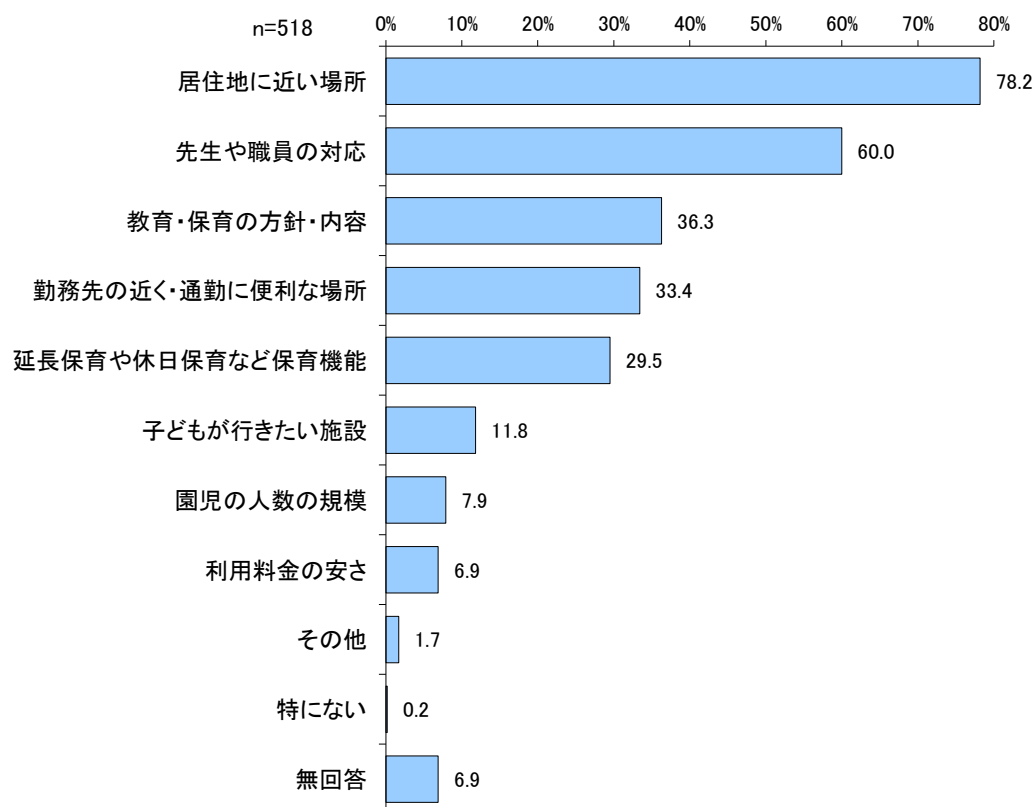


利用希望事業別にみると、「お住まいの小学校区域内」と回答した割合は、いずれの事業の利用を希望する家庭においても高くなっている。

問 12-3 就学前児童

幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を選ぶときに特に重視することを回答してください。【〇は3つまで】

【教育・保育事業を選ぶときに重視すること】

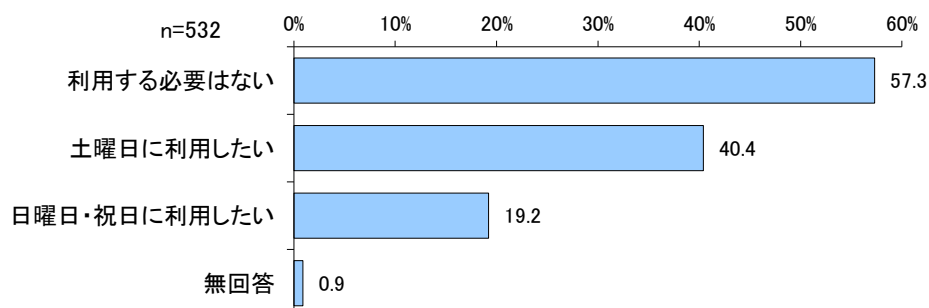


教育・保育事業を選ぶときに重視することについて、「居住地に近い場所」と回答した割合が78.2%と最も高く、「先生や職員の対応」(60.0%)、「教育・保育の方針・内容」(36.3%)、「勤務先の近く・通勤に便利な場所」(33.4%)、「延長保育や休日保育など保育機能」(29.5%)が続いている。

問 13 就学前児童

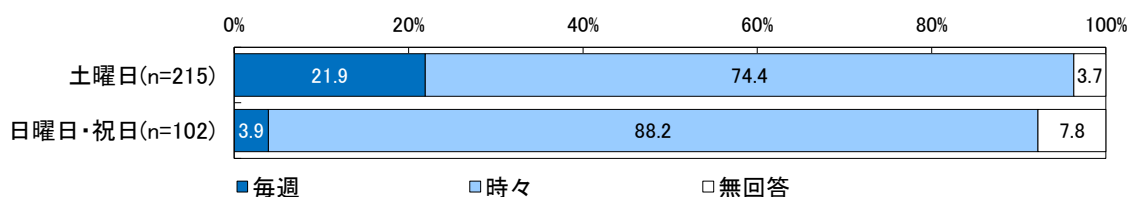
あて名のお子さんについて、土曜日や日曜日・祝日に、定期的に幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用したいですか。【○は当てはまるものすべて】

【土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望】



土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望について、「土曜日に利用したい」と回答した割合が 40.4%、「日曜日・祝日に利用したい」と回答した割合が 19.2%となっている。

【土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望頻度】



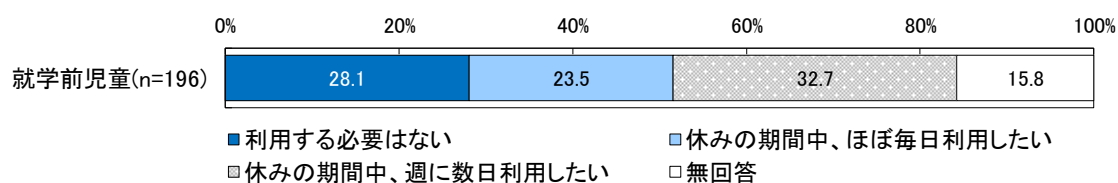
土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望頻度について、土曜日に毎週利用することを希望する割合が 21.9%、日曜日・祝日に毎週利用することを希望する割合が 3.9%となっている。

幼稚園を利用している人・利用を希望する人のみ回答

問 14 就学前児童

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に幼稚園や保育所(園)などの利用を希望しますか。【○は 1 つ】

【長期休暇中の教育・保育事業の利用希望】



幼稚園を利用している家庭、利用を希望する家庭の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と回答した割合が 23.5%、「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した割合が 32.7%となっている。

5 病気の際の対応

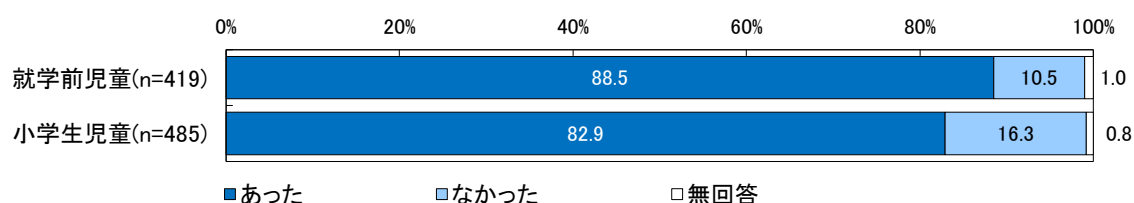
(1) 病気等により幼稚園や保育所(園), 学校を休んだ経験

平日に幼稚園や保育所(園)などを利用している人(問11で「1 利用している」と回答した人)と小学生児童のみ回答

問15 就学前児童・問13 小学生児童

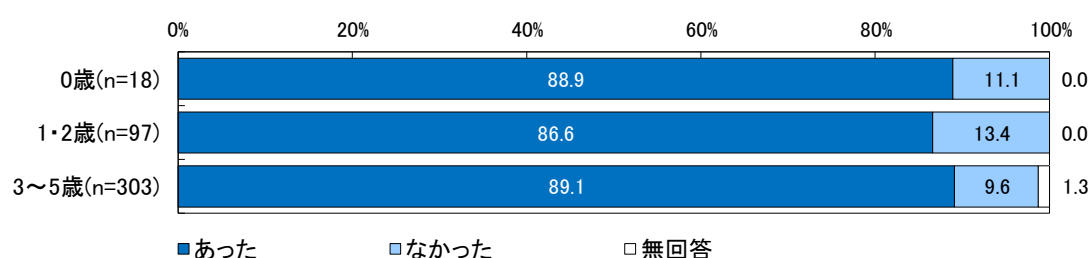
この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業や学校を利用できなかったことはありましたか。【〇は1つ】

【病気等により幼稚園や保育所(園), 学校を休んだ経験】



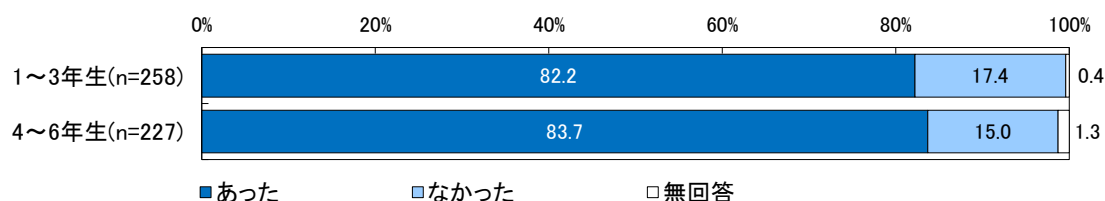
病気等により幼稚園や保育所(園), 学校を休んだ経験について、「あった」と回答した割合は就学前児童で88.5%, 小学生児童で82.9%となっている。

【病気等により幼稚園や保育所(園)を休んだ経験(就学前児童・年齢別)】



年齢別にみると、「あった」と回答した割合は、すべての年齢で約9割となっている。

【病気等により学校を休んだ経験(小学生児童・学年別)】



学年別にみると、「あった」と回答した割合は、いずれも8割台となっている。

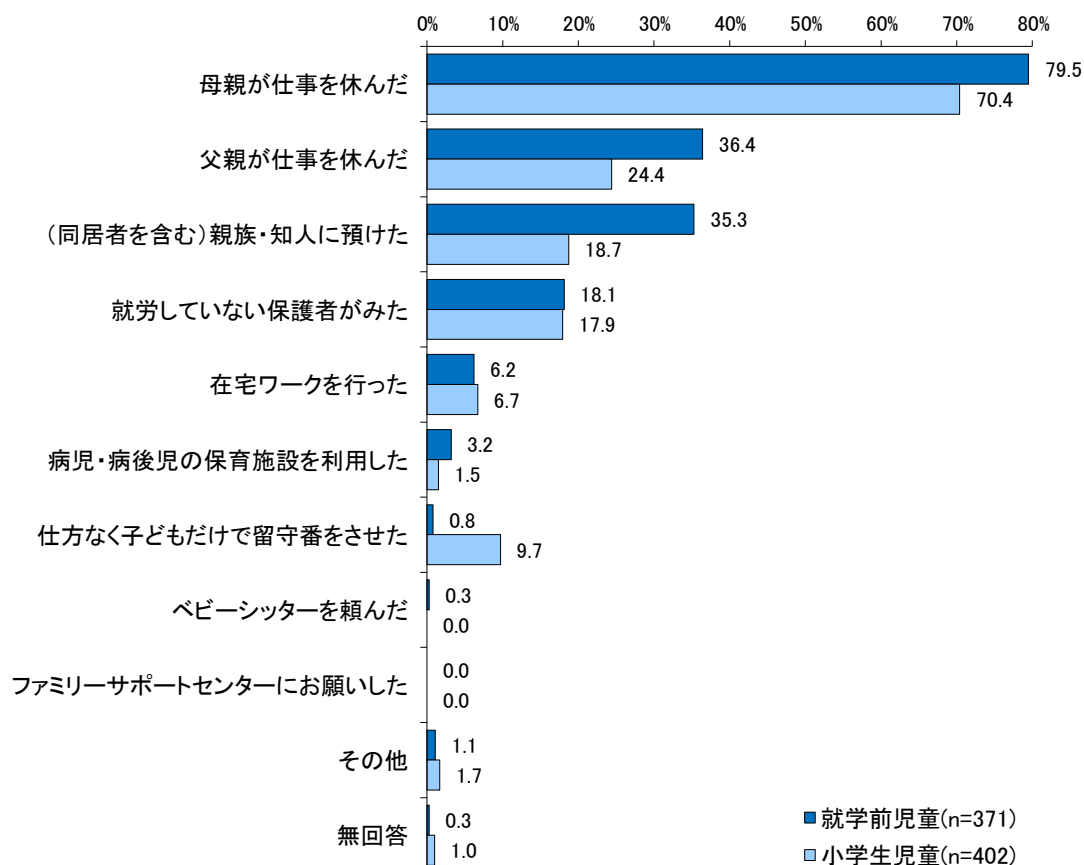
問 15・問 13 で「1 あった」と回答した人のみ回答

問 15-1 就学前児童・問 13-1 小学生児童

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業や学校を利用できなかった場合に、どのように対応しましたか。

【〇は当てはまるものすべて】

【病気等により幼稚園・保育所(園), 学校を休んだ際の対応方法】



病気等により幼稚園・保育所(園), 学校を休んだ際の対応方法について、「母親が仕事を休んだ」と回答した割合は就学前児童で 79.5%, 小学生児童で 70.4%, 「父親が仕事を休んだ」と回答した割合は就学前児童で 36.4%, 小学生児童で 24.4%となっている。

【病気等により幼稚園・保育所（園）、学校を休んだ際の年間対応日数（平均日数）】

	就学前児童		小学生児童	
	回答数	平均（日）	回答数	平均（日）
父親が仕事を休んだ	125	5.0	91	3.2
母親が仕事を休んだ	262	10.8	255	5.5
在宅ワークを行った	20	6.1	23	5.7
（同居者を含む）親族・知人に預けた	119	5.9	70	3.5
就労していない保護者がみた	60	9.2	61	7.7
病児・病後児の保育施設を利用した	12	5.3	6	1.8
ベビーシッターを頼んだ	1	1.0	-	-
ファミリーサポートセンターにお願いした	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	8.0	35	3.9
その他	4	5.5	5	5.2

病気等により幼稚園・保育所（園）、学校を休んだ際の年間対応日数について、「母親が仕事を休んだ」の平均日数は就学前児童で 10.8 日、小学生児童で 5.5 日、「父親が仕事を休んだ」の平均日数は就学前児童で 5.0 日、小学生児童で 3.2 日となっている。

（2）病児・病後児保育施設等の利用希望

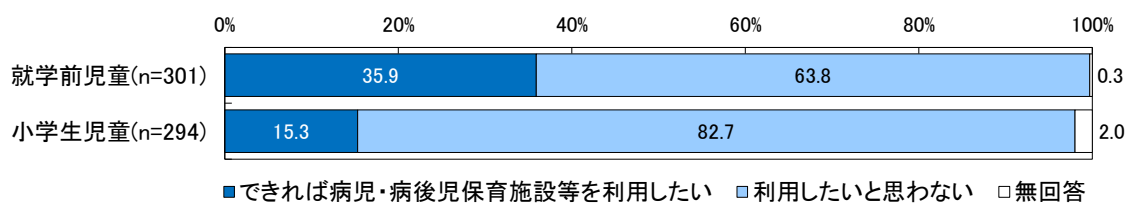
問 15-1・問 13-1 で「1」または「2」（父親・母親が仕事を休んだ）と回答した人のみ回答

問 15-2 就学前児童・問 13-2 小学生児童

父親，母親が休んだ際に，病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたか。

【〇は 1 つ】

【病児・病後児保育施設等の利用希望】



病児・病後児保育施設等の利用希望について、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した割合は就学前児童で 35.9%，小学生児童で 15.3%となっている。

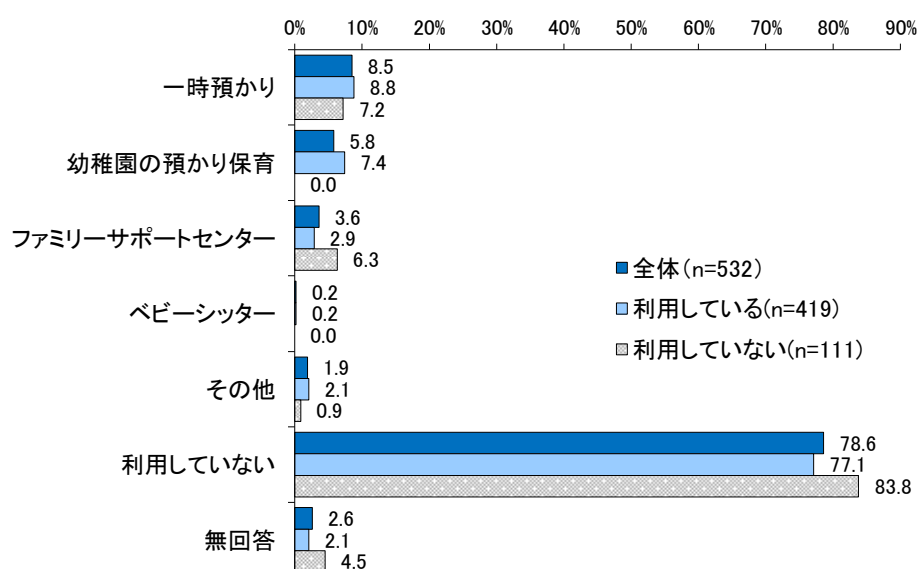
6 不定期の保育サービスの利用

(1) 不定期に利用したサービス

問 16 就学前児童

あて名のお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したサービスはありますか。【〇は当てはまるものすべて】

【不定期に利用したサービス（教育・保育事業の利用状況別）】



不定期に利用したサービスについて、「一時預かり」と回答した割合は教育・保育事業を利用している家庭で8.8%、利用していない家庭で7.2%、「幼稚園の預かり保育」と回答した割合は教育・保育事業を利用している家庭で7.4%、「ファミリーサポートセンター」と回答した割合は教育・保育事業を利用している家庭で2.9%、利用していない家庭で6.3%となっている。

【不定期のサービスの年間利用日数（平均日数）】

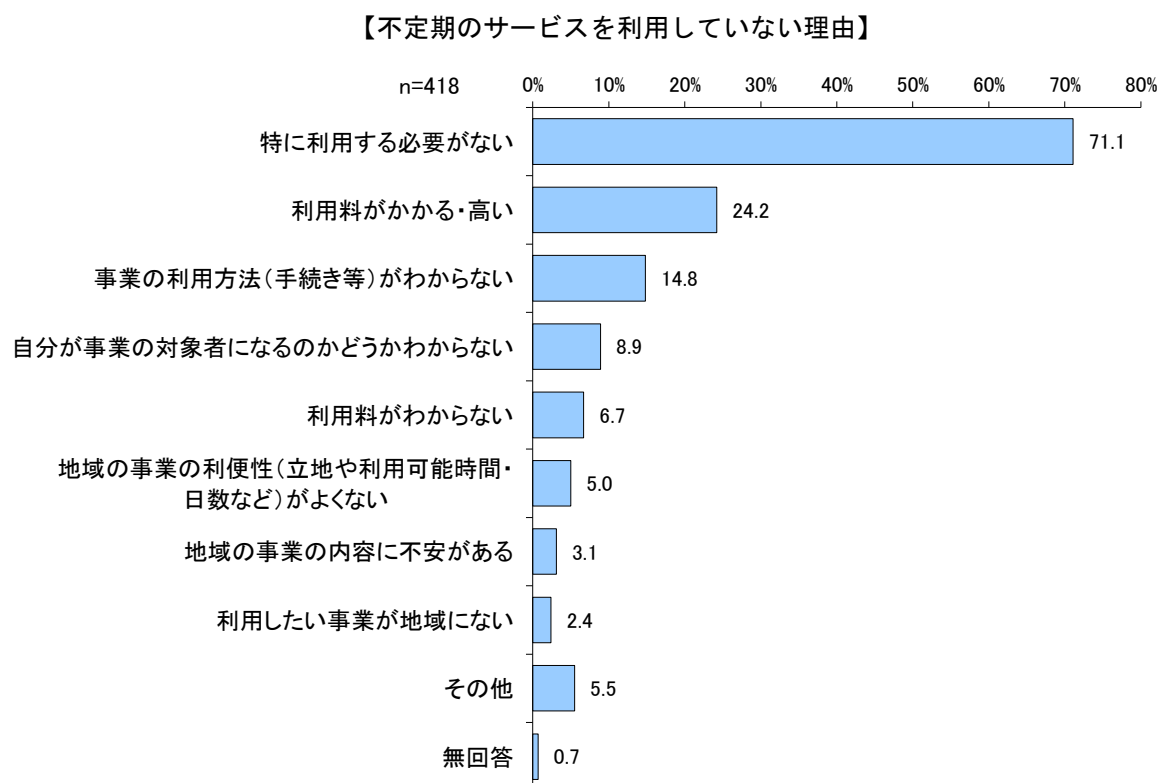
	就学前児童	
	回答数	平均（日）
一時預かり	43	24.3
幼稚園の預かり保育	29	18.1
ファミリーサポートセンター	18	13.1
ベビーシッター	1	3.0
その他のサービス	9	21.6

不定期のサービスの年間利用日数について、「一時預かり」の平均日数は24.3日となっている。

問 16 で「6 利用していない」と回答した人のみ回答

問 16-1 就学前児童

現在、利用していない理由を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】



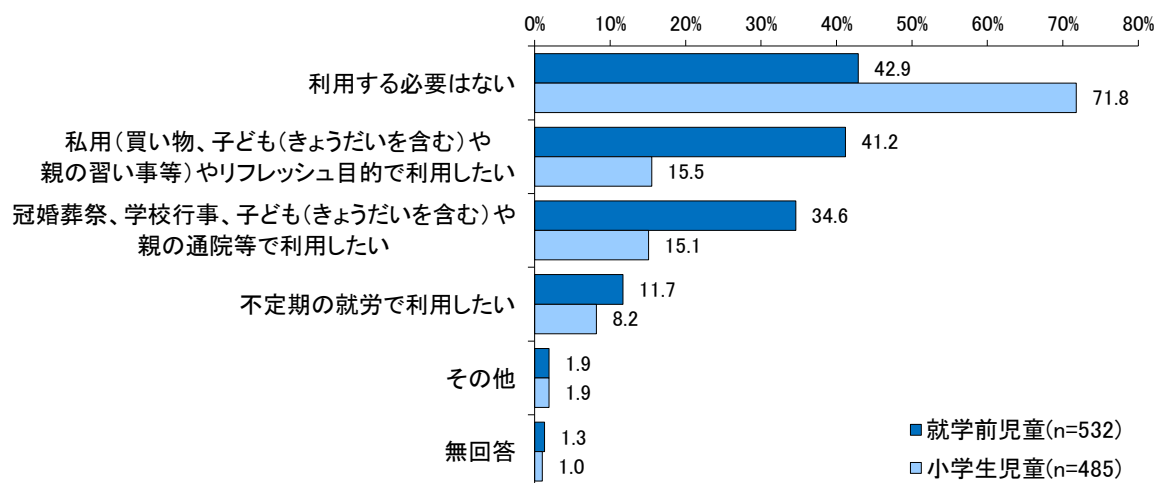
不定期のサービスを利用していない理由について、「特に利用する必要がない」を除くと、「利用料がかかる・高い」と回答した割合が 24.2%と最も高く、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(14.8%)、「自分が事業の対象者になるのかわからない」(8.9%)が続いている。

(2) 不定期的に子どもを預ける事業の利用希望

問 17 就学前児童・問 14 小学生児童

あて名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか（宿泊は伴わない）。【○は当てはまるものすべて】

【不定期的に子どもを預ける事業の利用希望】



不定期的に子どもを預ける事業の利用希望について、「私用（買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）やリフレッシュ目的で利用したい」と回答した割合は就学前児童で 41.2%，小学生児童で 15.5%，「冠婚葬祭，学校行事，子ども（きょうだいを含む）や親の通院等で利用したい」と回答した割合は就学前児童で 34.6%，小学生児童で 15.1%となっている。

【不定期的に子どもを預ける事業の年間利用希望日数（平均日数）】

	就学前児童		小学生児童	
	回答数	平均（日）	回答数	平均（日）
私用(買い物、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)やリフレッシュ目的で利用したい	198	11.4	70	13.8
冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や親の通院等で利用したい	169	8.7	66	9.6
不定期の就労で利用したい	53	43.1	35	25.7
その他	7	36.7	6	60.3

不定期的に子どもを預ける事業の年間利用希望日数について、「不定期の就労で利用したい」の平均日数は就学前児童で 43.1 日，小学生児童で 25.7 日と最も多くなっている。

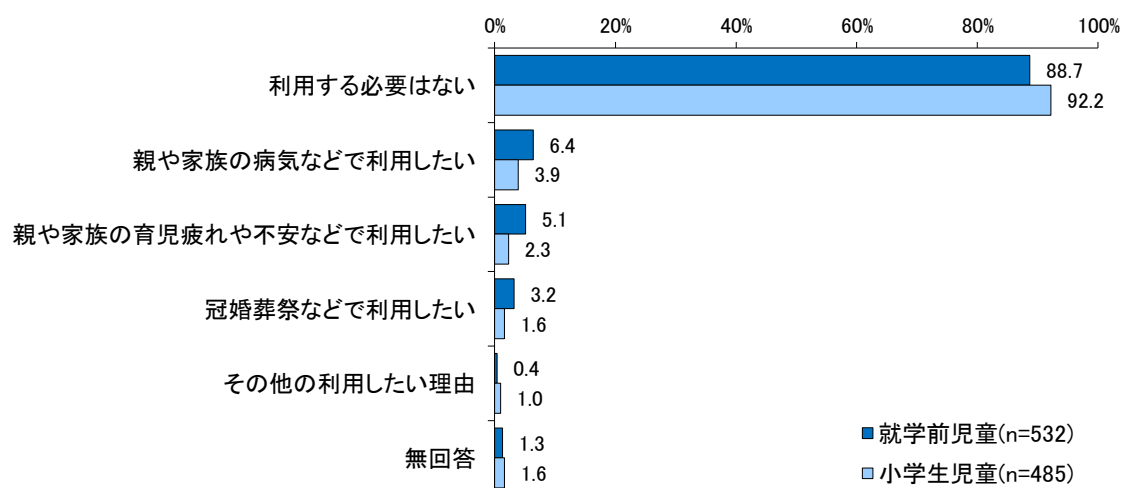
(3) ショートステイの利用希望

問 18 就学前児童・問 15 小学生児童

あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、泊まりがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。ショートステイ（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）を利用したいと思いますか。

【○は当てはまるものすべて】

【ショートステイの利用希望】



ショートステイの利用希望について、「利用する必要はない」、「無回答」を除くと、利用したいと回答した割合は就学前児童で 10.0%，小学生児童で 6.2%となっている。

【ショートステイの年間利用希望泊数（平均泊数）】

	就学前児童		小学生児童	
	回答数	平均（泊）	回答数	平均（泊）
冠婚葬祭など	16	3.3	6	1.8
親や家族の育児疲れ・不安など	27	3.4	9	7.2
親や家族の病気など	33	3.7	16	6.8
その他	2	5.5	2	12.0

ショートステイの年間利用希望泊数について、「親や家族の病気など」の平均泊数は就学前児童で 3.7 泊、「親や家族の育児疲れ・不安など」の平均泊数は小学生児童で 7.2 泊となっている。

7 地域子育て支援拠点事業

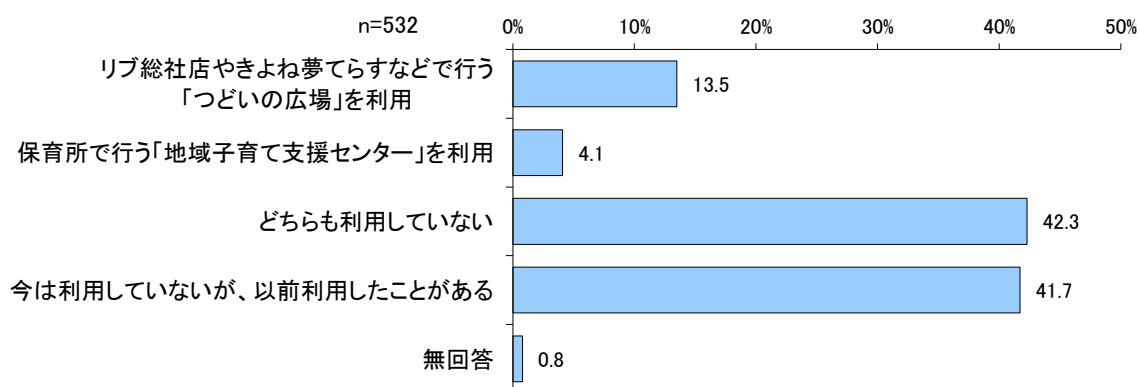
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 19 就学前児童

あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業などを利用していますか。

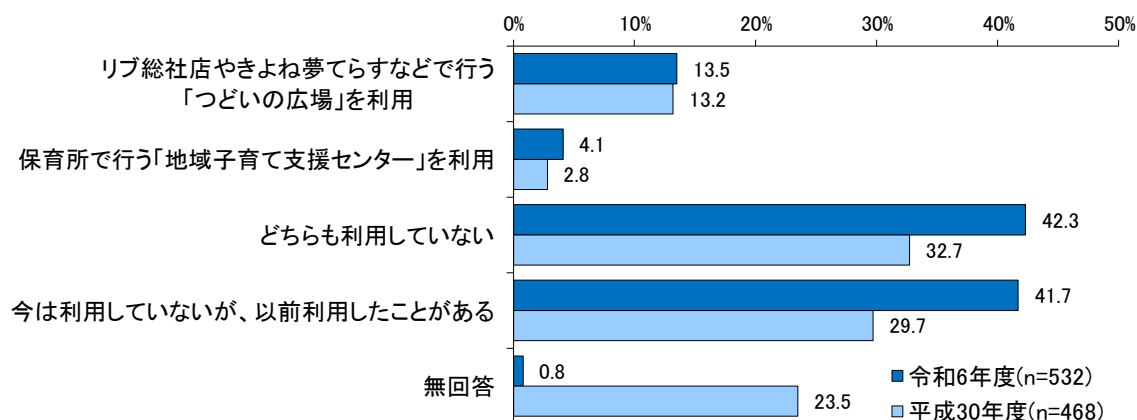
【○は当てはまるものすべて】

【地域子育て支援拠点事業の利用状況】



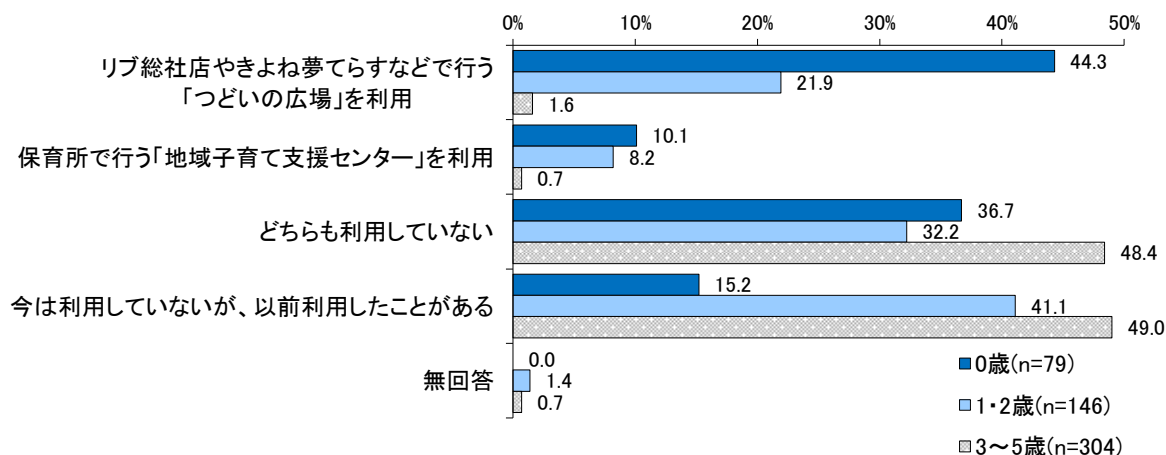
地域子育て支援拠点事業の利用状況について、「リブ総社店やきよね夢てらすなどで行う「つどいの広場」を利用」と回答した割合が 13.5% となっている。

【地域子育て支援拠点事業の利用状況（就学前児童・前回調査結果との比較）】



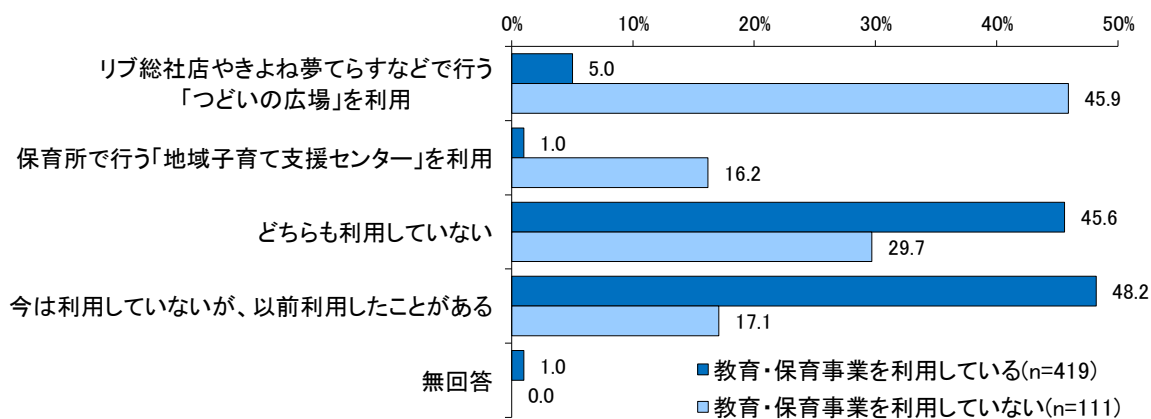
前回調査結果と比較すると、事業を利用した割合に特徴的な変化はみられない。

【地域子育て支援拠点事業の利用状況（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「リブ総社店やきよね夢てらすなどで行う「つどいの広場」を利用」と回答した割合は0歳で44.3%，1・2歳で21.9%，3～5歳で1.6%となっている。

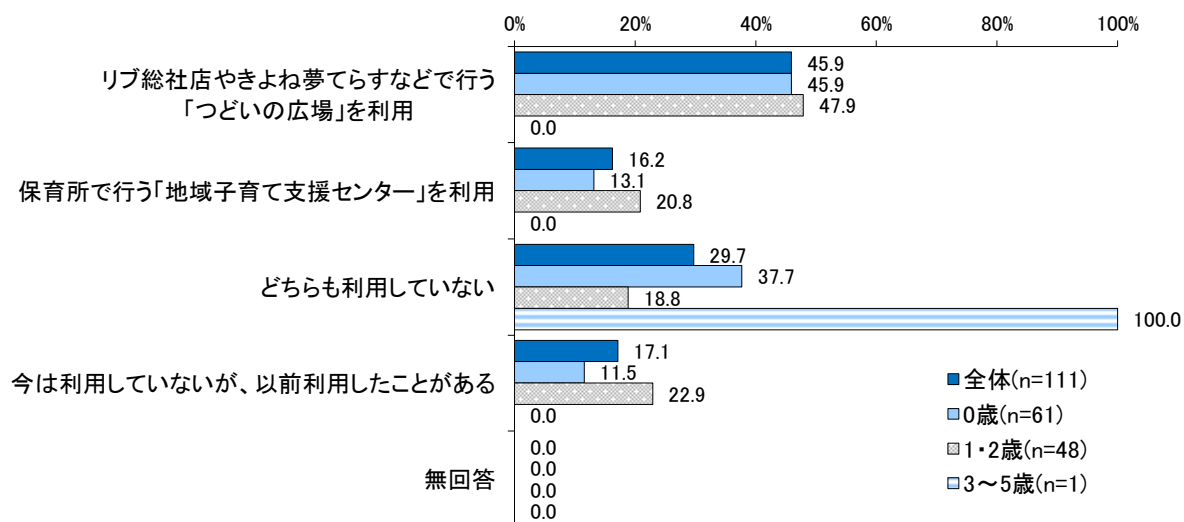
【地域子育て支援拠点事業の利用状況（就学前児童・教育・保育事業の利用状況別）】



教育・保育事業の利用状況別にみると、教育・保育事業を利用していない家庭では「リブ総社店やきよね夢てらすなどで行う「つどいの広場」を利用」と回答した割合が45.9%，「保育所で行う「地域子育て支援センター」を利用」と回答した割合が16.2%となっている。

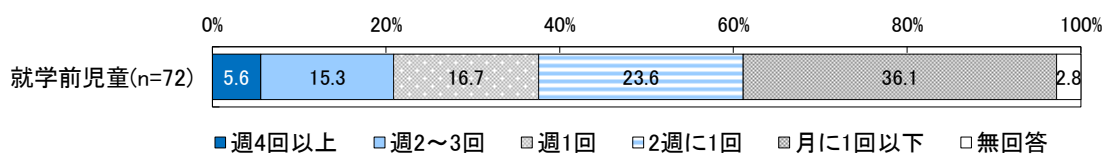
【地域子育て支援拠点事業の利用状況

(就学前児童（定期的な教育・保育事業を利用していない子ども）・年齢別)】



定期的な教育・保育事業を利用していない子どものみを年齢別にみると、「リブ総社店やきよね夢てらすなどで行う「つどいの広場」を利用」と回答した割合は全体で45.9%、0歳で45.9%、1・2歳で47.9%となっている。

【「つどいの広場」の利用回数】

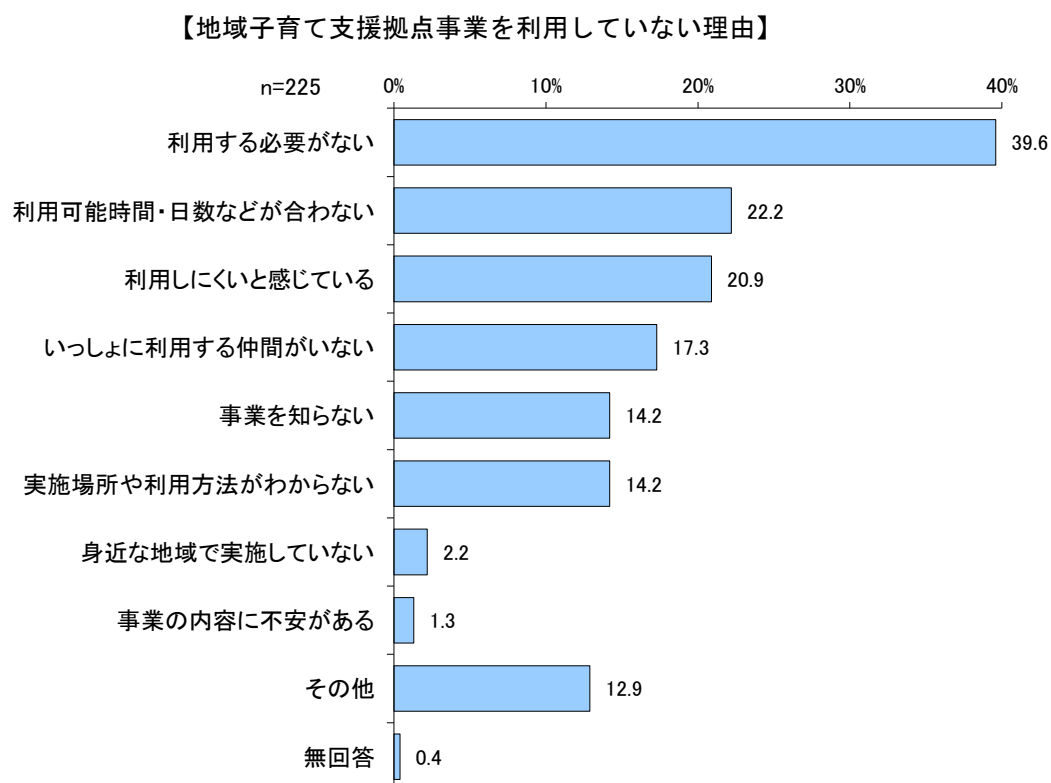


「つどいの広場」の利用回数について、『週1回以上』と回答した割合が37.6%となっている。

問 19 で「3 どちらも利用していない」と回答した人のみ回答

問 19－1 就学前児童

現在利用していない理由を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】



地域子育て支援拠点事業を利用していない理由について、「利用する必要がある」を除くと、「利用可能時間・日数などが合わない」と回答した割合が 22.2%と最も高く、「利用しにくいと感じている」(20.9%)、「いっしょに利用する仲間がいない」(17.3%)が続いている。

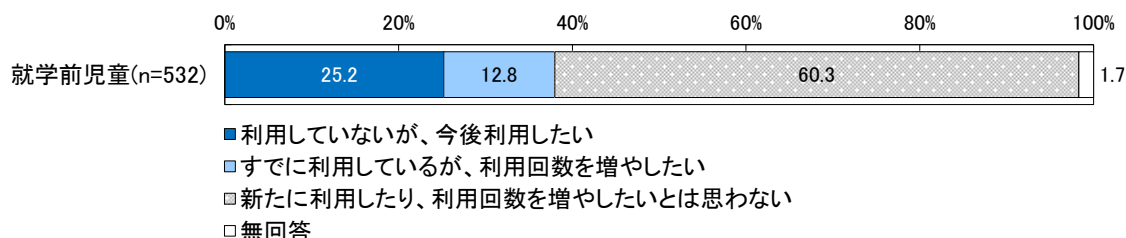
また、「事業をしらない」、「実施場所や利用方法がわからない」と回答した割合も 14.2%あり、事業が周知されていない状況も挙げられている。

(2) 地域子育て支援拠点事業利用希望

問 20 就学前児童

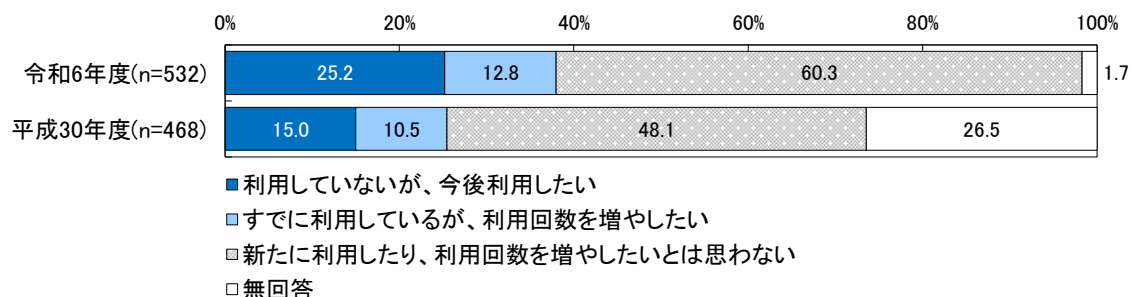
問 19 のような地域子育て支援拠点事業を、今後利用したり、利用回数を増やしたいと思いますか。【○は1つ】

【地域子育て支援拠点事業の利用希望】



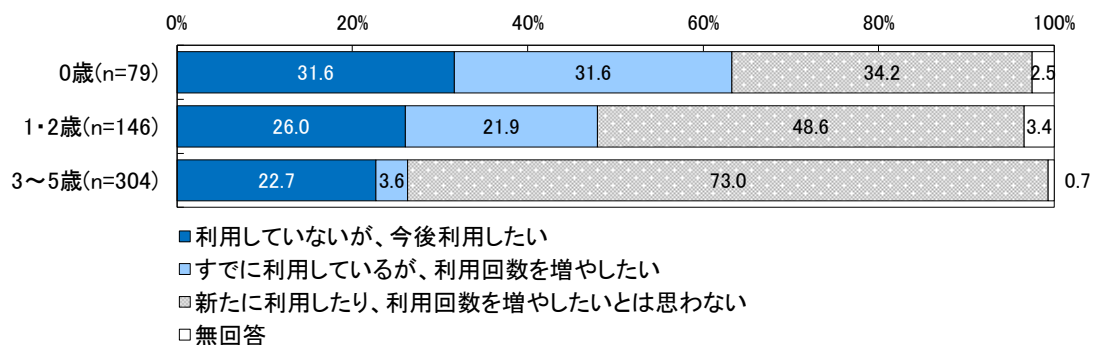
地域子育て支援拠点事業の利用希望について、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合が 25.2%、「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」と回答した割合が 12.8% となっている。

【地域子育て支援拠点事業の利用希望（就学前児童・前回調査結果との比較）】



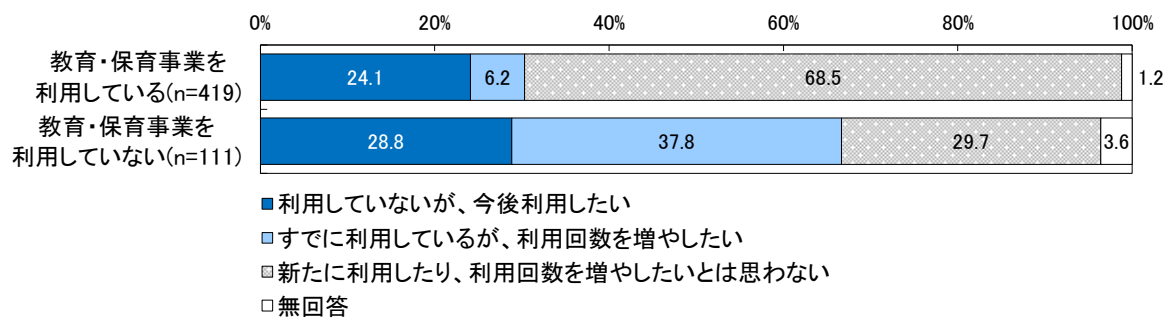
前回調査結果と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合は上昇している。

【地域子育て支援拠点事業の利用希望（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合は0歳で 31.6%、1・2歳で 26.0% となっている。

【地域子育て支援拠点事業の利用希望（就学前児童・教育・保育事業の利用状況別）】



教育・保育事業の利用状況別にみると、教育・保育事業を利用していない家庭では、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合が 28.8%、「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」と回答した割合が 37.8%となっている。

8 子育て全般

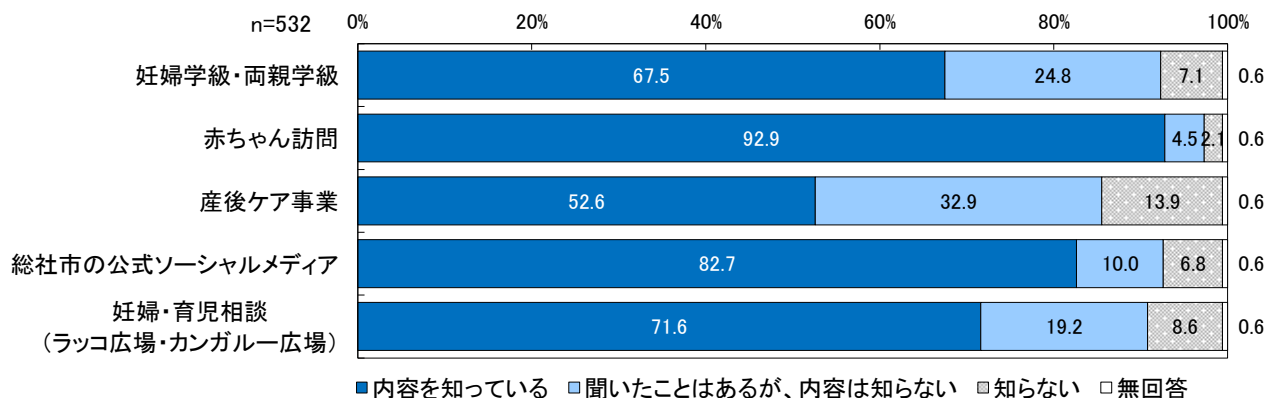
(1) 子育て支援サービスの認知度

問 21 就学前児童

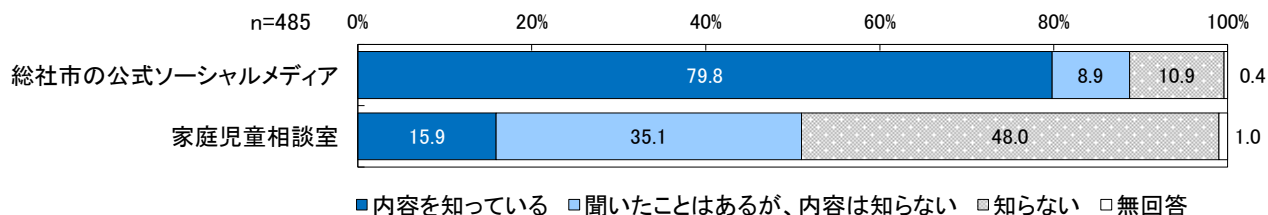
下記の①～⑤のサービスを知っていますか。【それぞれの項目に○は1つずつ】

【子育て支援サービスの認知度】

(就学前児童)



(小学生児童)



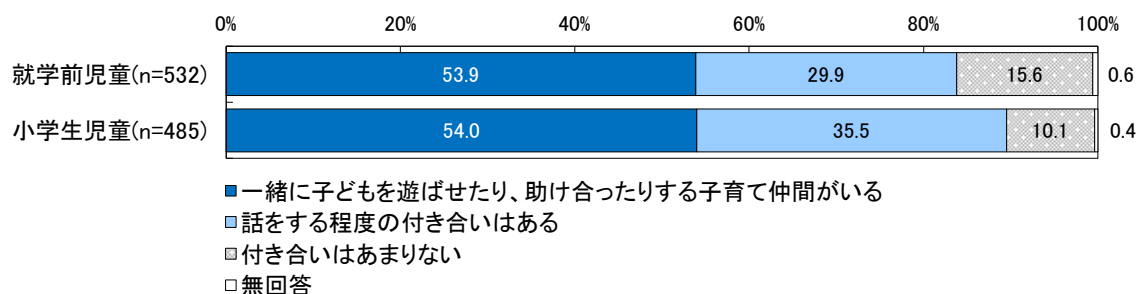
子育て支援サービスの認知度について、「内容を知っている」と回答した割合は、就学前児童では「妊婦学級・両親学級」で67.5%、「産後ケア事業」で52.6%、小学生児童では「家庭児童相談室」で15.9%と低くなっている。

(2) 子育て仲間の有無

問 22 就学前児童・問 17 小学生児童

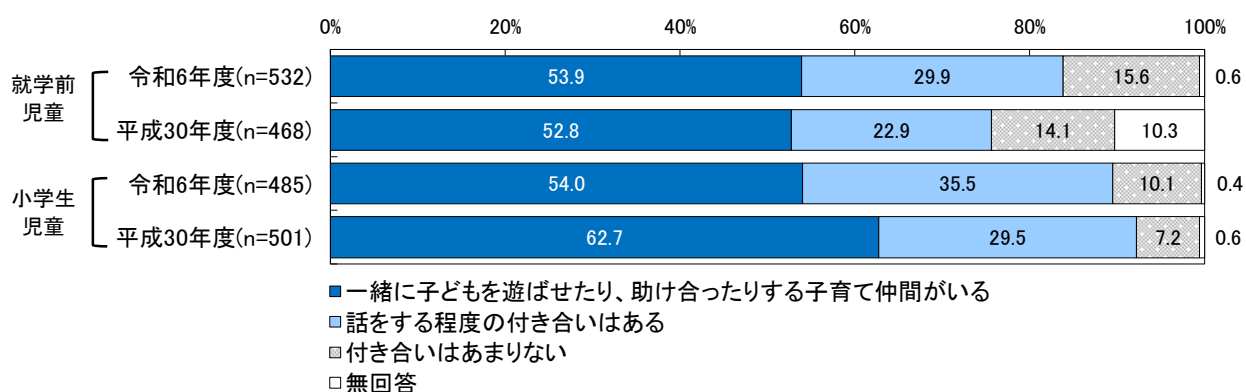
あなたは、同じぐらいの年齢の子どもをもつ親同士の付き合いがありますか。【〇は1つ】

【子育て仲間の有無】



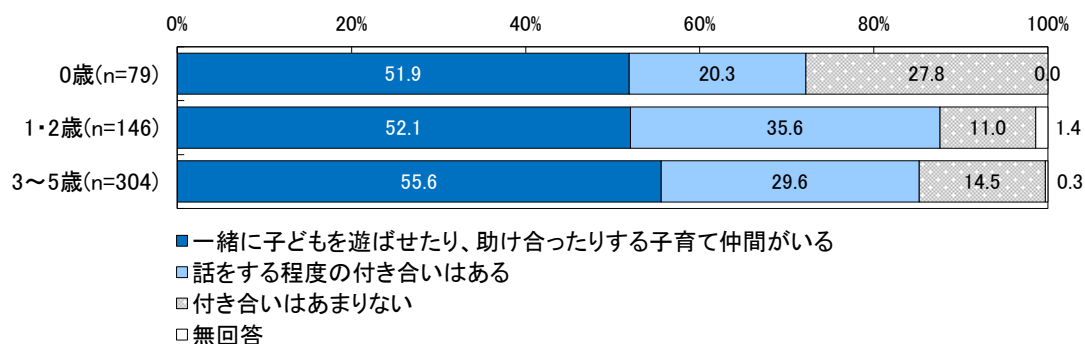
子育て仲間の有無について、「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」と回答した割合は就学前児童で 53.9%，小学生児童で 54.0%となっている。

【子育て仲間の有無（前回調査結果との比較）】



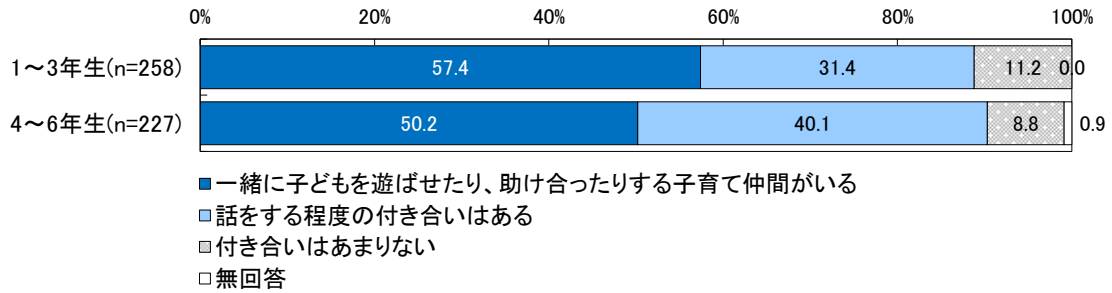
前回調査結果と比較すると、「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」と回答した割合は小学生児童で低下している。

【子育て仲間の有無（就学前児童・年齢別）】



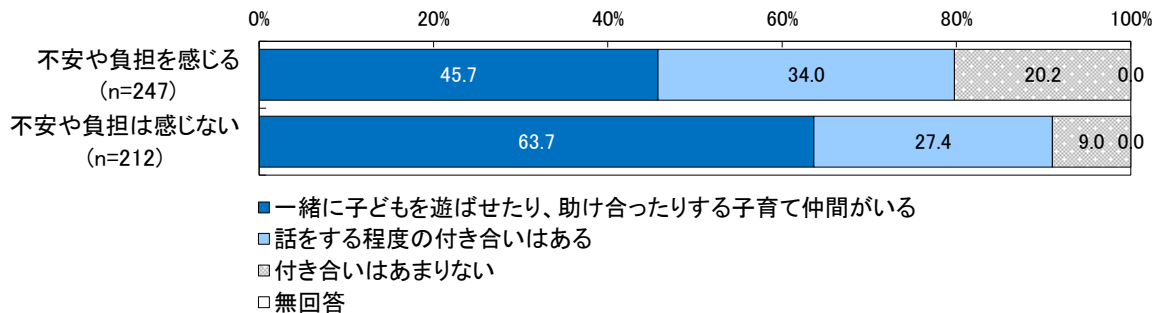
年齢別にみると、「付き合いはあまりない」と回答した割合は0歳で 27.8%となっている。

【子育て仲間の有無（小学生児童・学年別）】

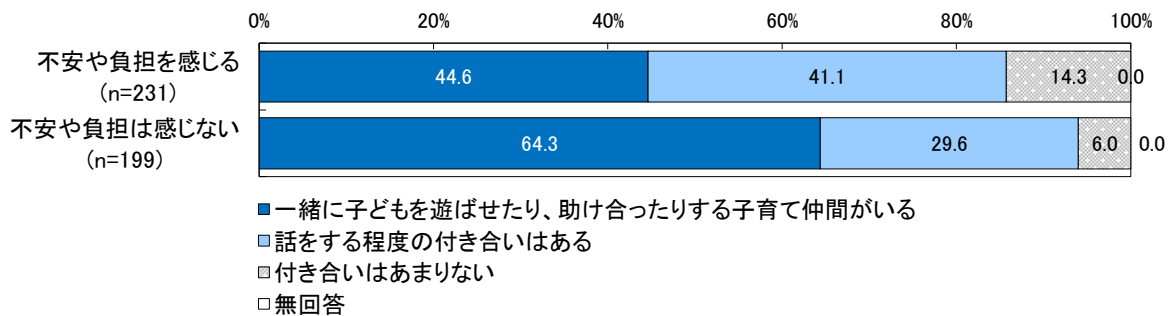


学年別にみると、「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」と回答した割合は4～6年生で50.2%であり、1～3年生よりも低くなっている。

【子育て仲間の有無（就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



【子育て仲間の有無（小学生児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



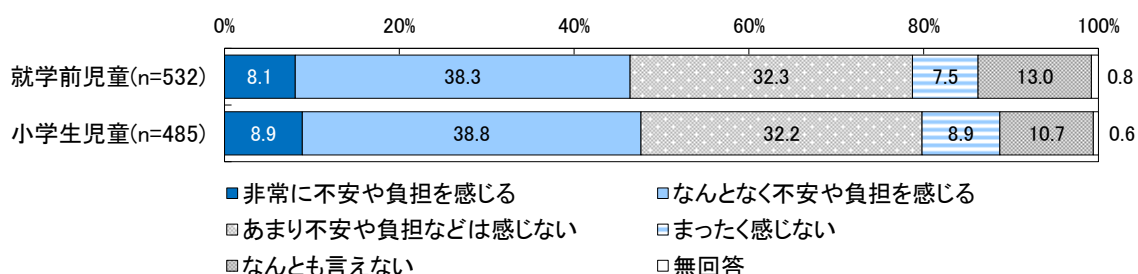
子育てに関する不安や負担の程度別にみると、「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」と回答した割合は就学前児童、小学生児童ともに不安や負担を感じる家庭で4割台であり、不安や負担を感じない家庭よりも低くなっている。

(3) 子育てに関する不安や負担の程度

問 23 就学前児童・問 18 小学生児童

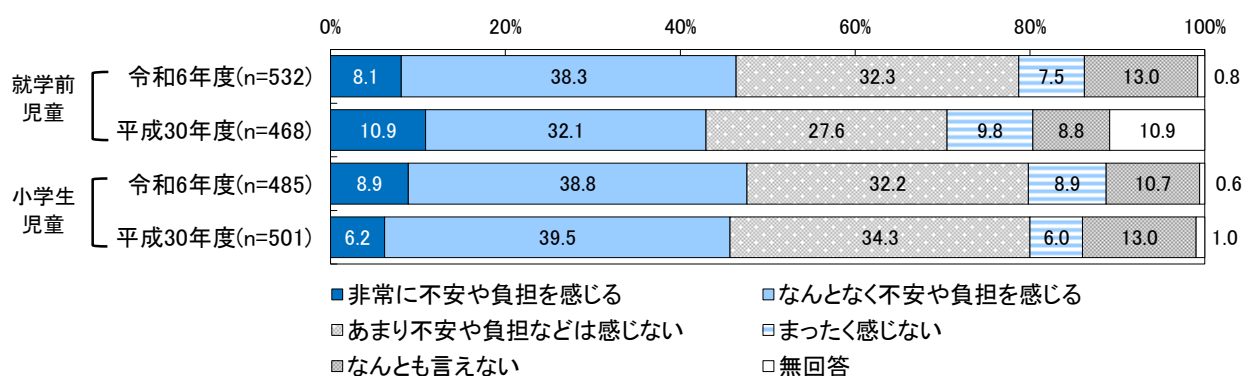
子育てに関して不安や負担を感じますか。【〇は 1 つ】

【子育てに関する不安や負担の程度】



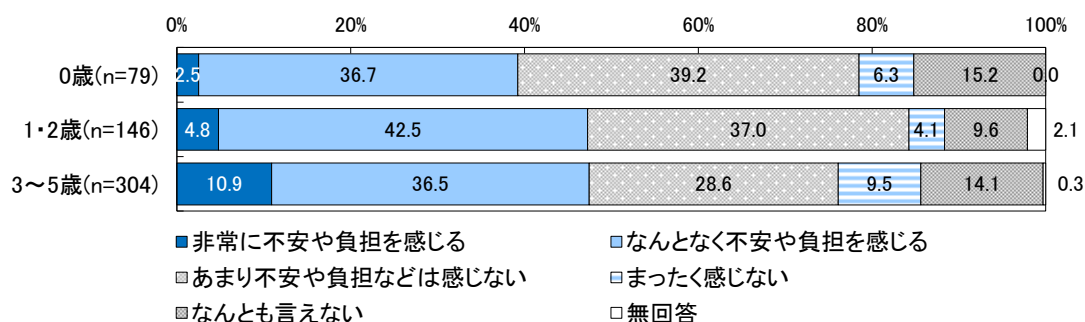
子育てに関する不安や負担の程度について、『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」＋「なんとなく不安や負担を感じる」）と回答した割合は就学前児童で 46.4%，小学生児童で 47.7%，『不安や負担は感じない』（「まったく感じない」＋「あまり不安や負担などは感じない」）と回答した割合は就学前児童で 39.8%，小学生児童で 41.1%となっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（前回調査結果との比較）】



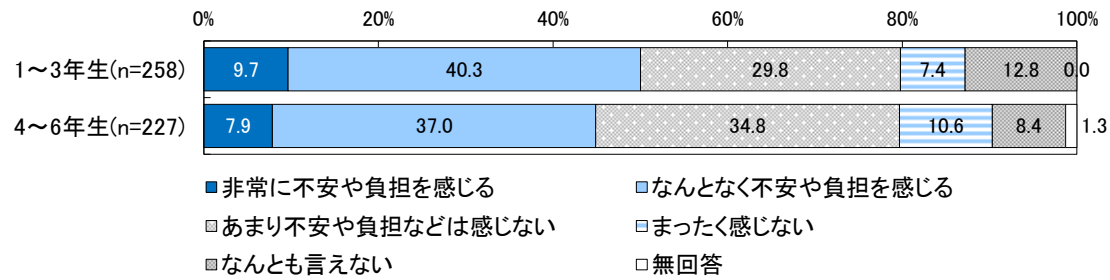
前回調査結果と比較すると、就学前児童、小学生児童ともに、特徴的な変化はみられない。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・年齢別）】



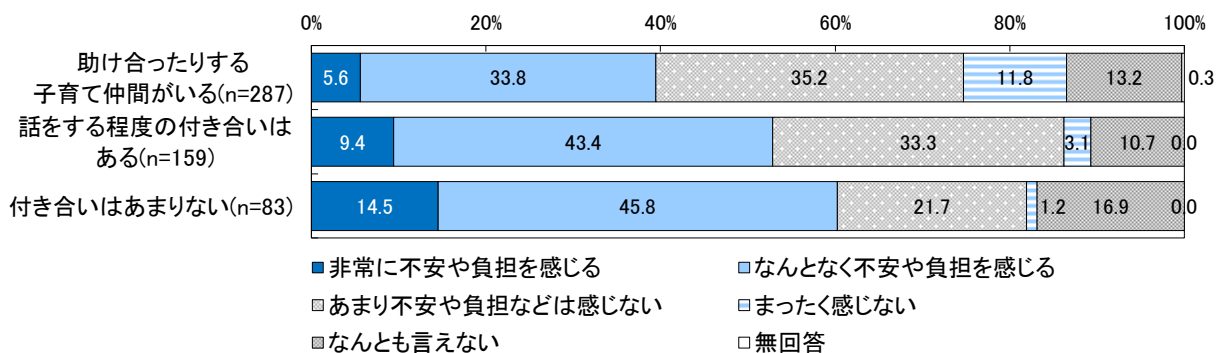
年齢別にみると、『不安や負担を感じる』と回答した割合は0歳で 39.2%，1・2歳で 47.3%，3～5歳で 47.4%となっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（小学生児童・学年別）】

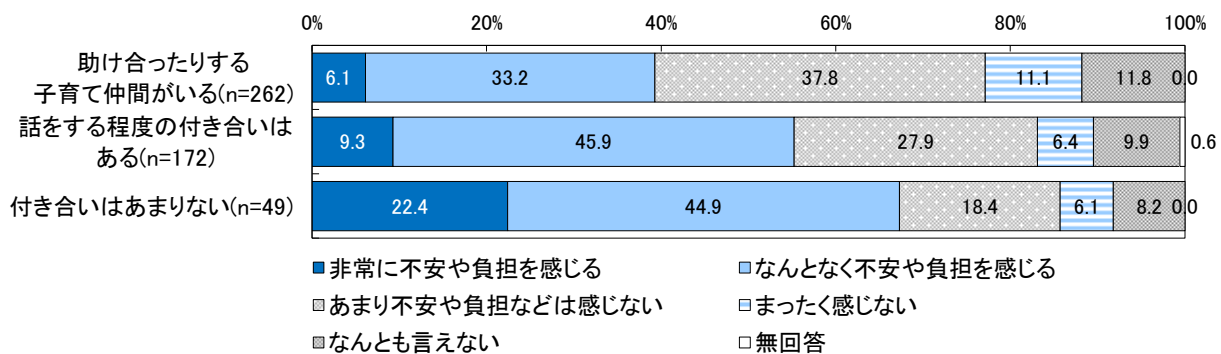


学年別にみると、『不安や負担を感じる』と回答した割合は1～3年生で50.0%、4～6年生で44.9%となっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・子育て仲間の有無別）】

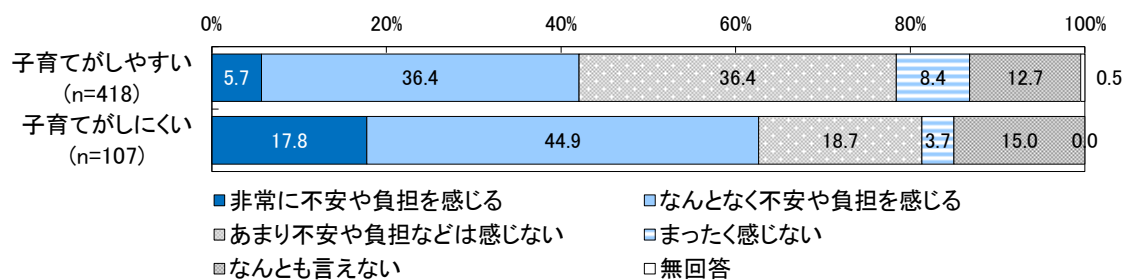


【子育てに関する不安や負担の程度（小学生児童・子育て仲間の有無別）】

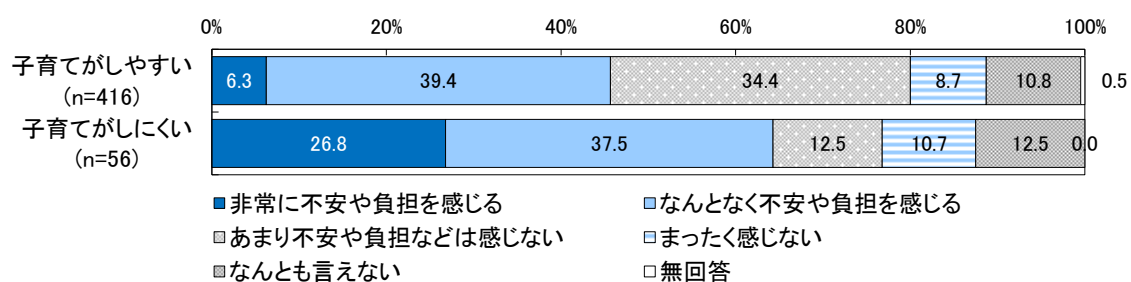


子育て仲間の有無別にみると、『不安や負担を感じる』と回答した割合は子育て仲間がいない家庭で高く、「付き合いはあまりない」家庭では、就学前児童で60.3%、小学生児童で67.3%となっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・総社市の子育てのしやすさの評価別）】



【子育てに関する不安や負担の程度（小学生児童・総社市の子育てのしやすさの評価別）】



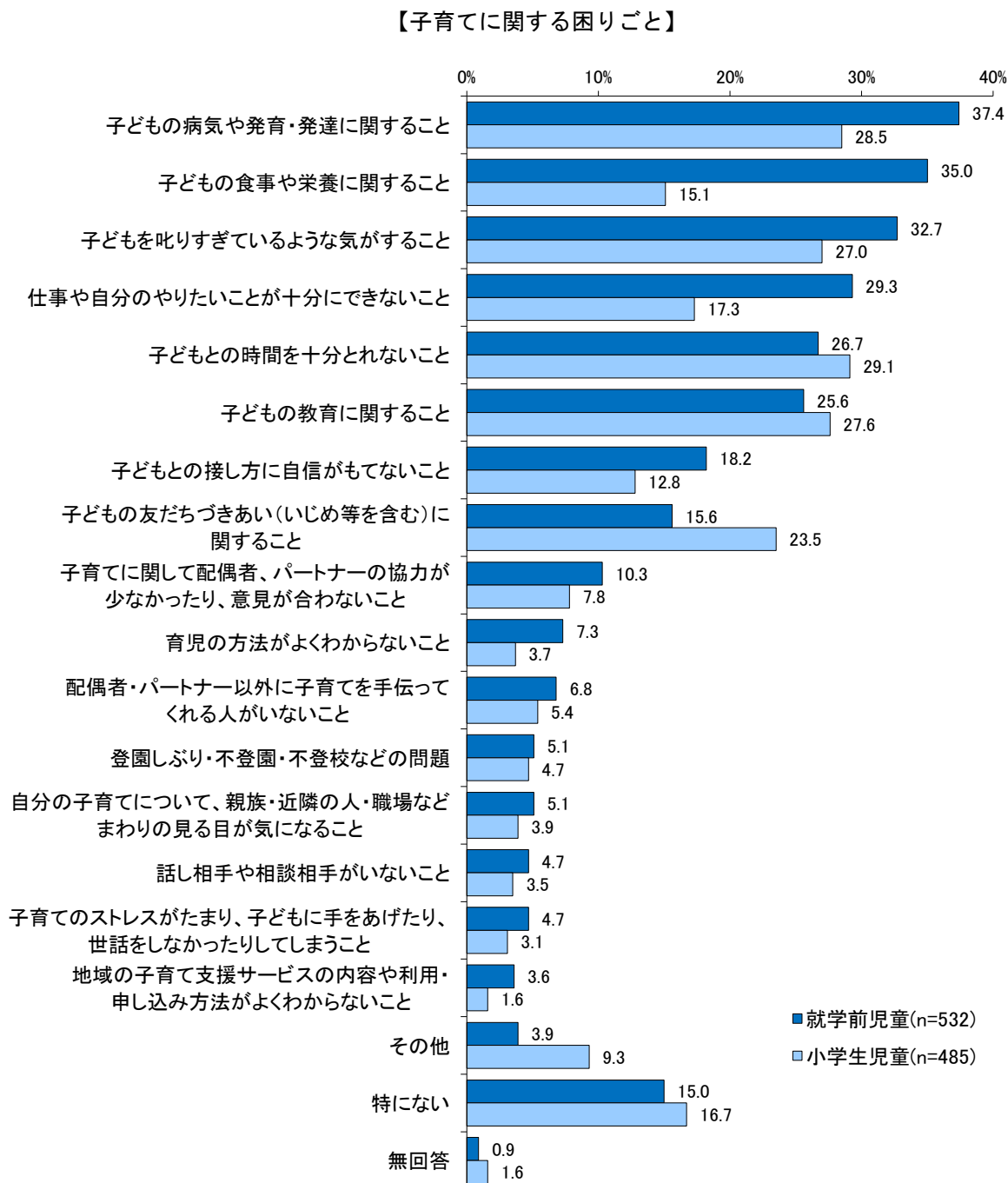
総社市の子育てのしやすさの評価別にみると、『不安や負担を感じる』と回答した割合は子育てがしにくいと思う家庭で高く、就学前児童で 62.7%，小学生児童 64.3%となっている。

(4) 子育てに関する困りごと

問 24 就学前児童・問 19 小学生児童

子育てに関して、困っていることや、悩んでいることはどのようなことですか。

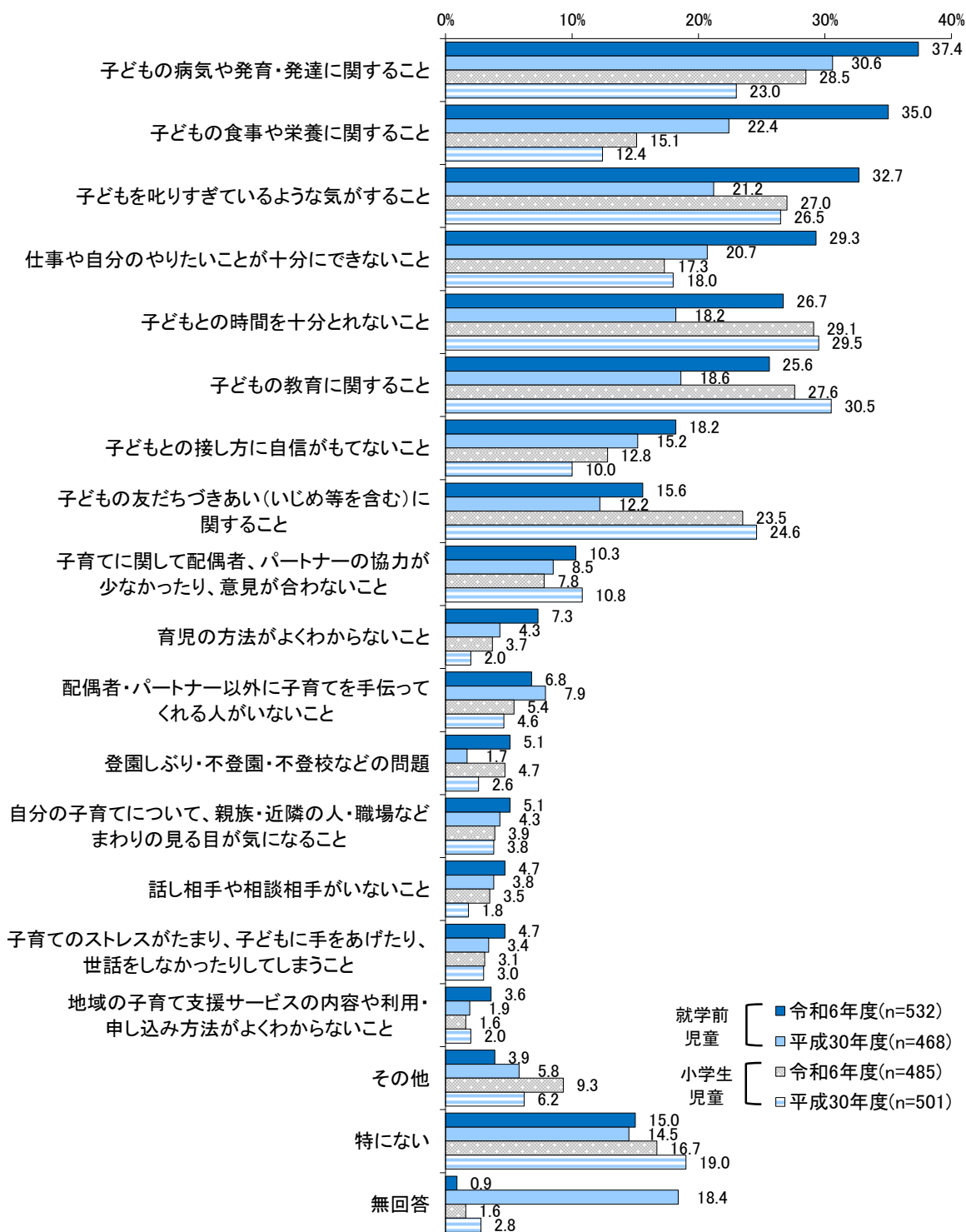
【〇は当てはまるものすべて】



子育てに関する困りごとについて、就学前児童では「子どもの病気や発育・発達に関する」と回答した割合が37.4%と最も高く、「子どもの食事や栄養に関すること」(35.0%)、「子どもを叱りすぎているような気がする」(32.7%)が続いている。

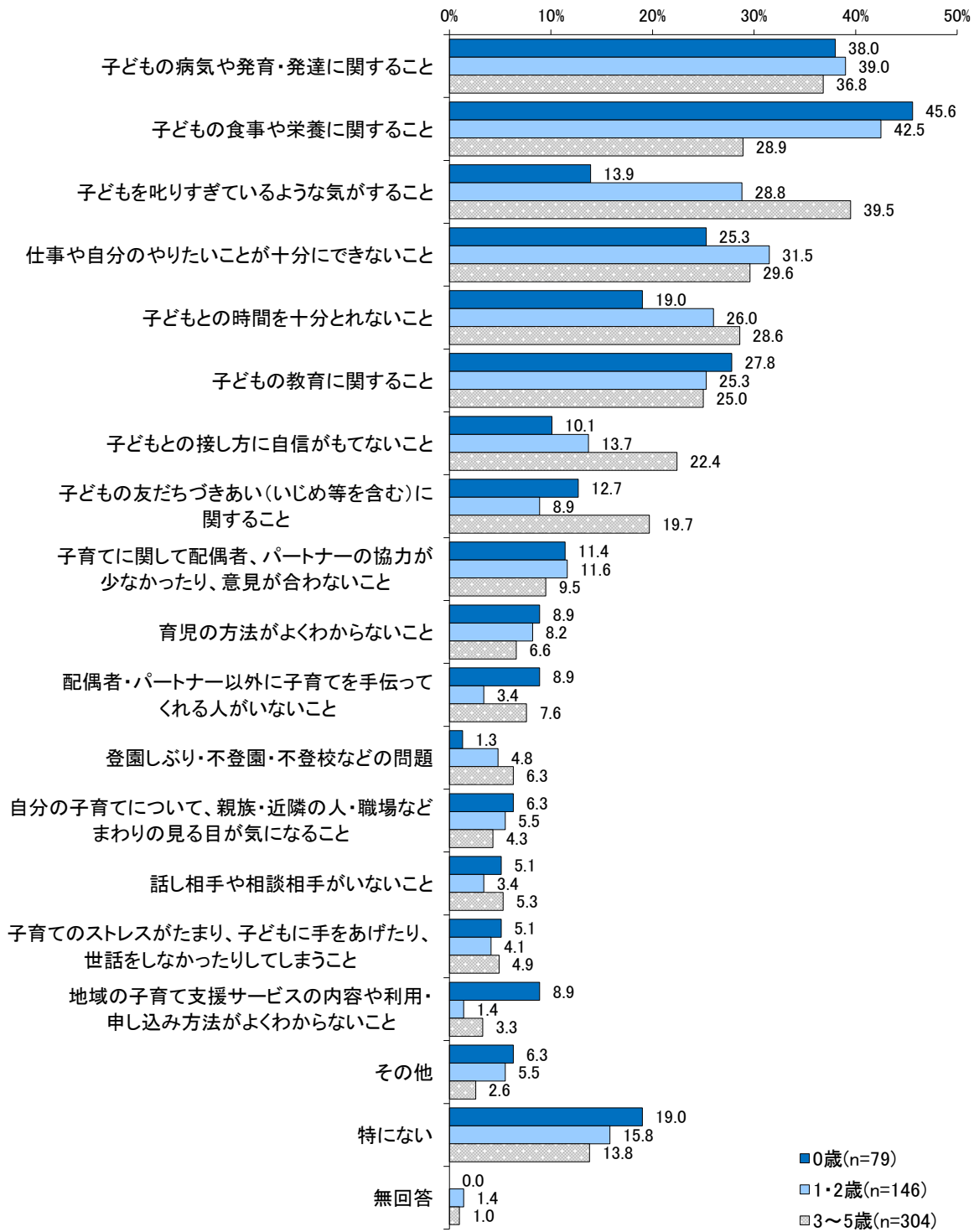
小学生児童では「子どもとの時間を十分にとれない」と回答した割合が29.1%と最も高く、「子どもの病気や発育・発達に関すること」(28.5%)、「子どもの教育に関すること」(27.6%)、「子どもを叱りすぎているような気がする」(27.0%)が続いている。

【子育てに関する困りごと（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、就学前児童では「子どもの食事や栄養に関すること」、「子どもを叱りすぎているような気がする」と回答した割合が大きく上昇している。

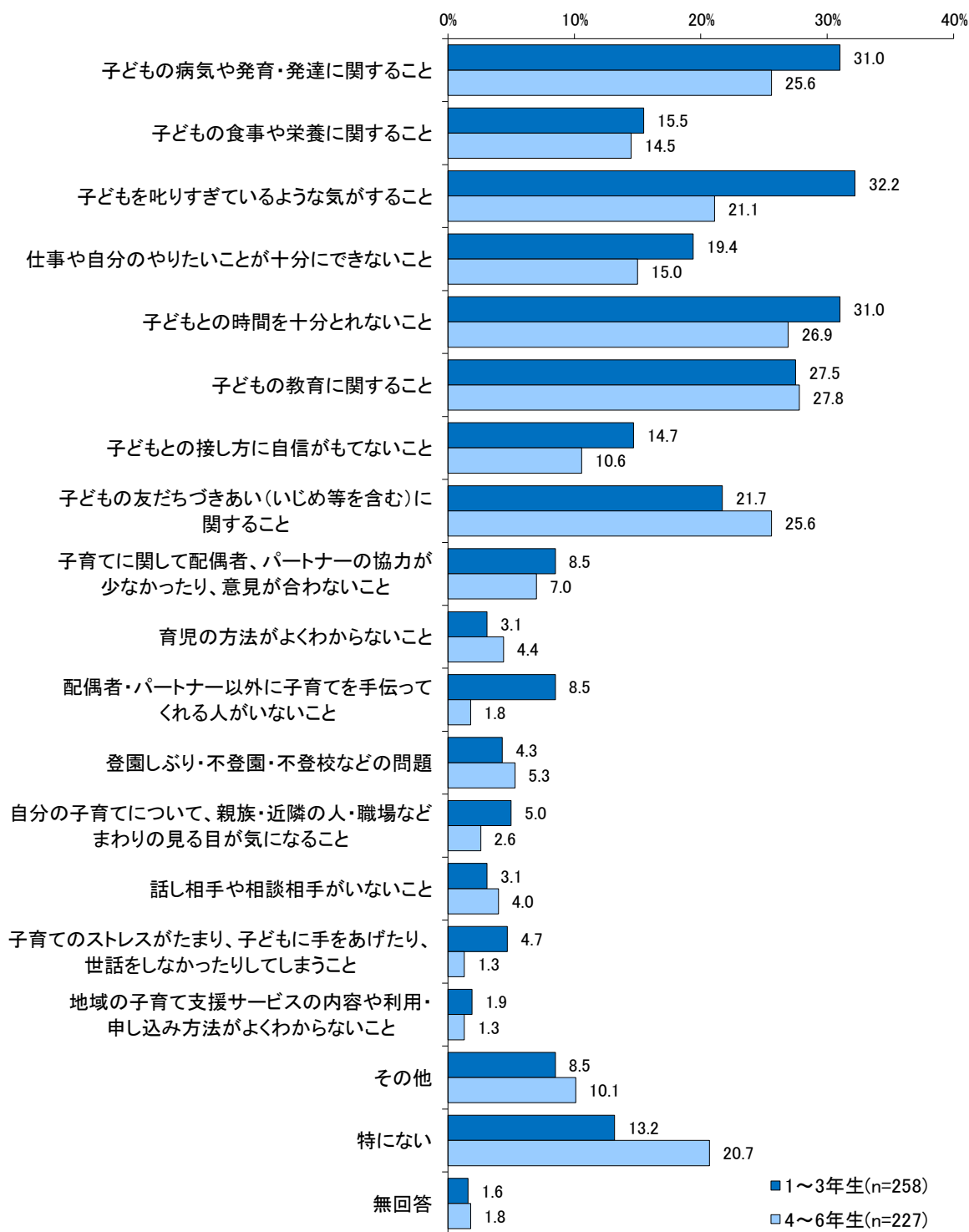
【子育てに関する困りごと（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「子どもの食事や栄養に関すること」と回答した割合は0歳，1・2歳で4割を超えている。

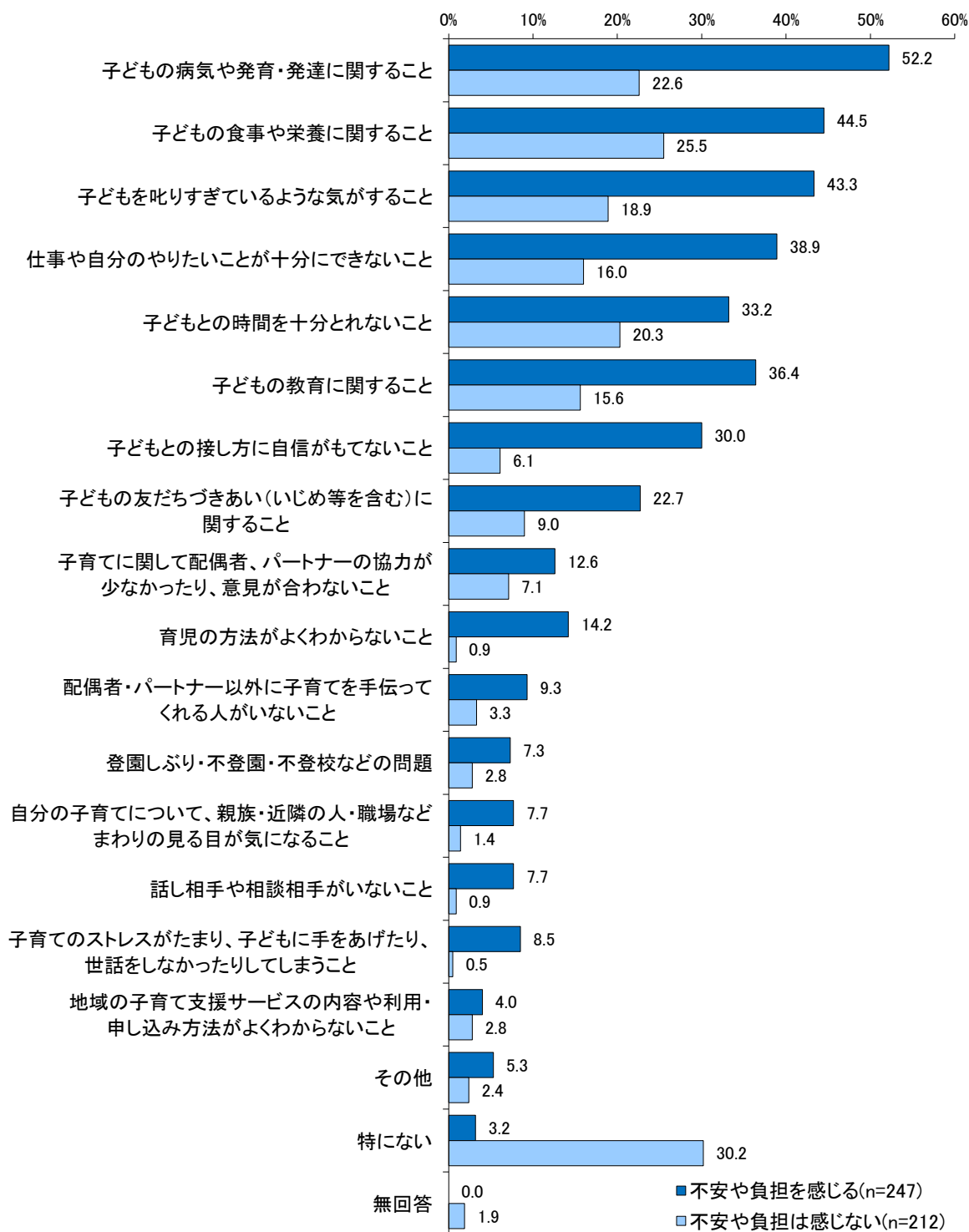
また、「子どもを叱りすぎているような気がする」と回答した割合は3～5歳で39.5%となっている。

【子育てに関する困りごと（小学生児童・学年別）】



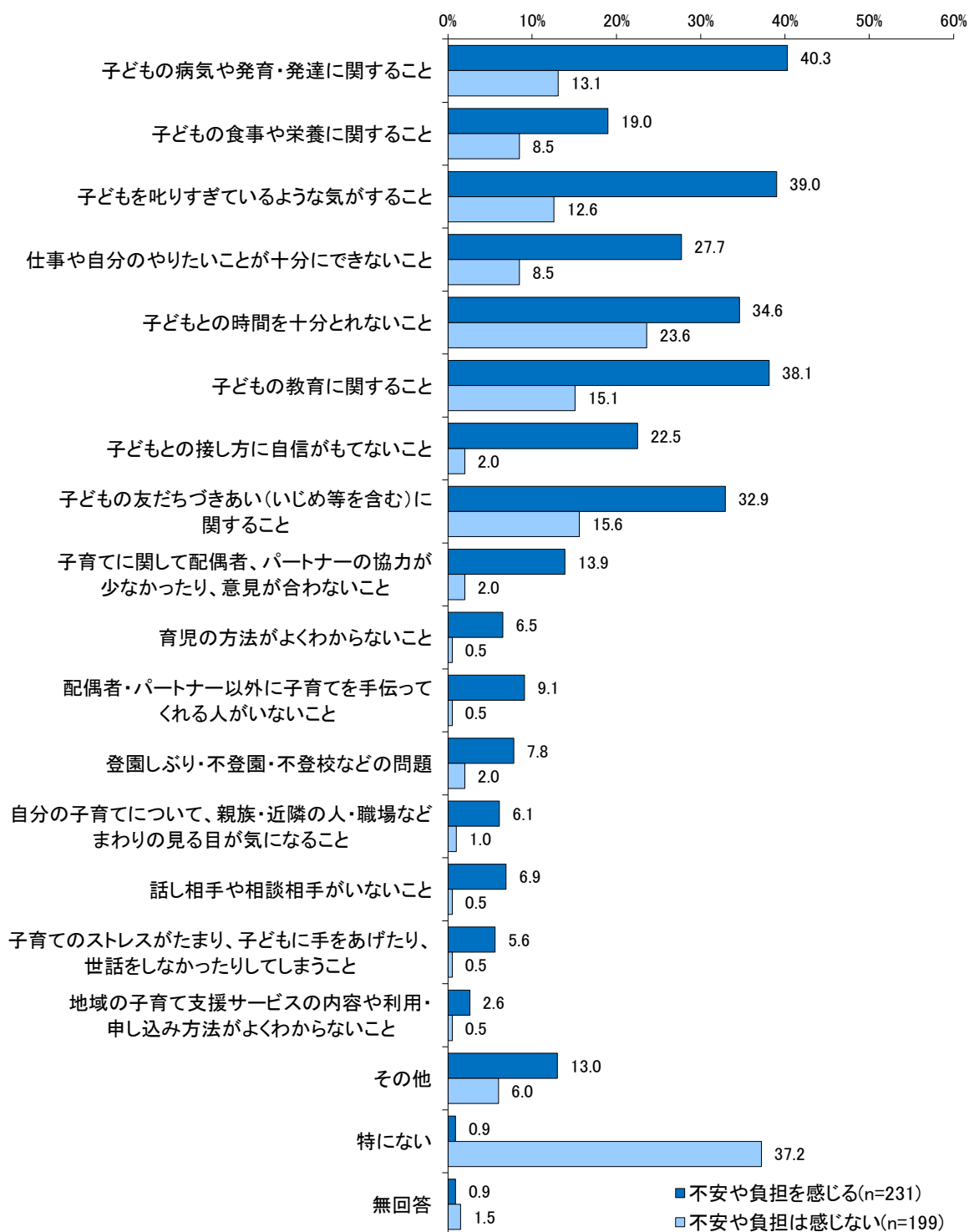
学年別にみると、「子どもの病気や発育・発達に関すること」、「子どもを叱りすぎているような気がする」、「子どもとの時間を十分とれない」と回答した割合は、1～3年生で3割を超えている。

【子育てに関する困りごと（就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



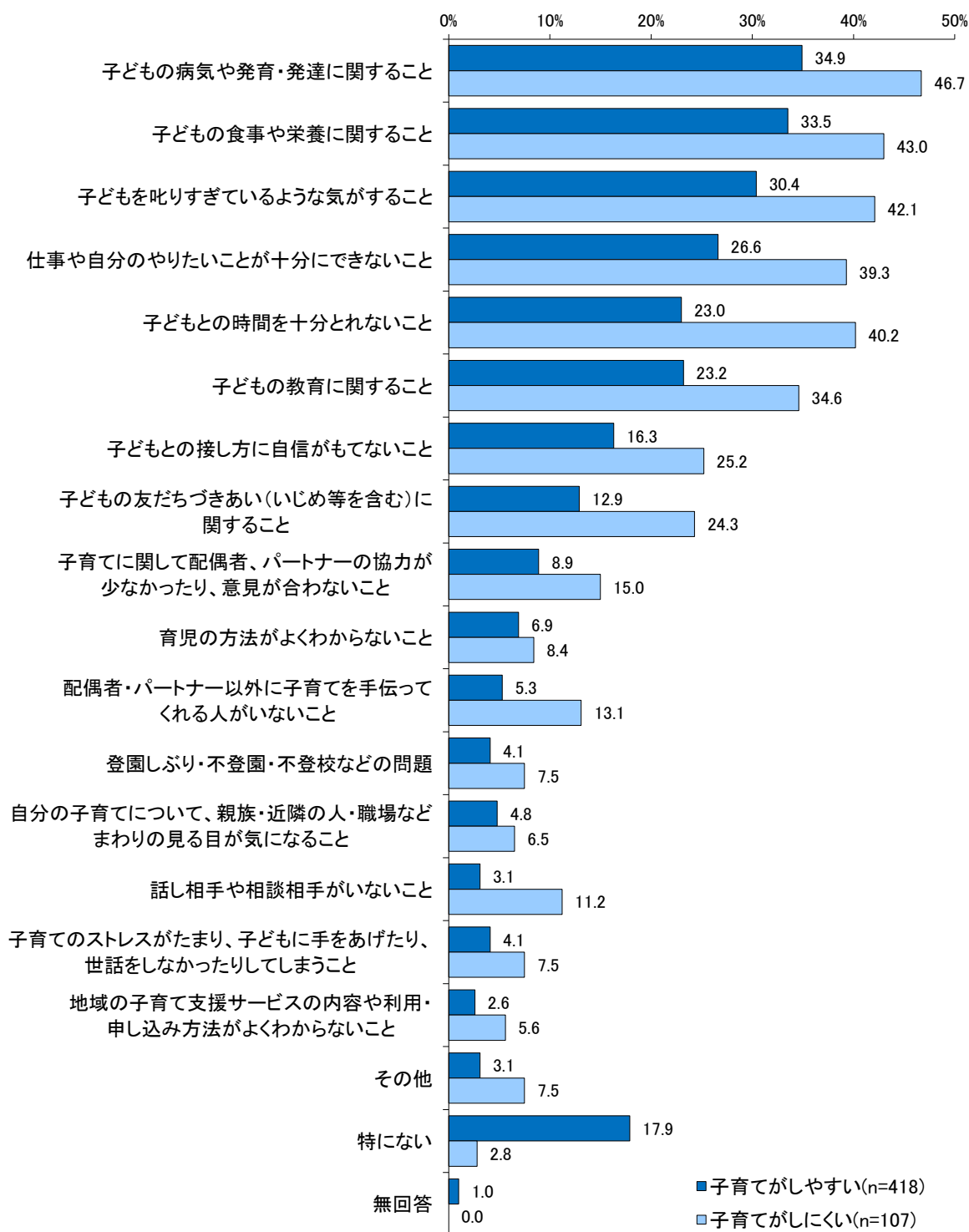
子育てに関する不安や負担の程度別にみると、就学前児童では、不安や負担を感じる家庭で「子どもの病気や発育・発達に関すること」と回答した割合が 52.2%、「子どもの食事や栄養に関すること」と回答した割合が 44.5%、「子どもを叱りすぎているような気がする」と回答した割合が 43.3%となっている。

【子育てに関する困りごと（小学生児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



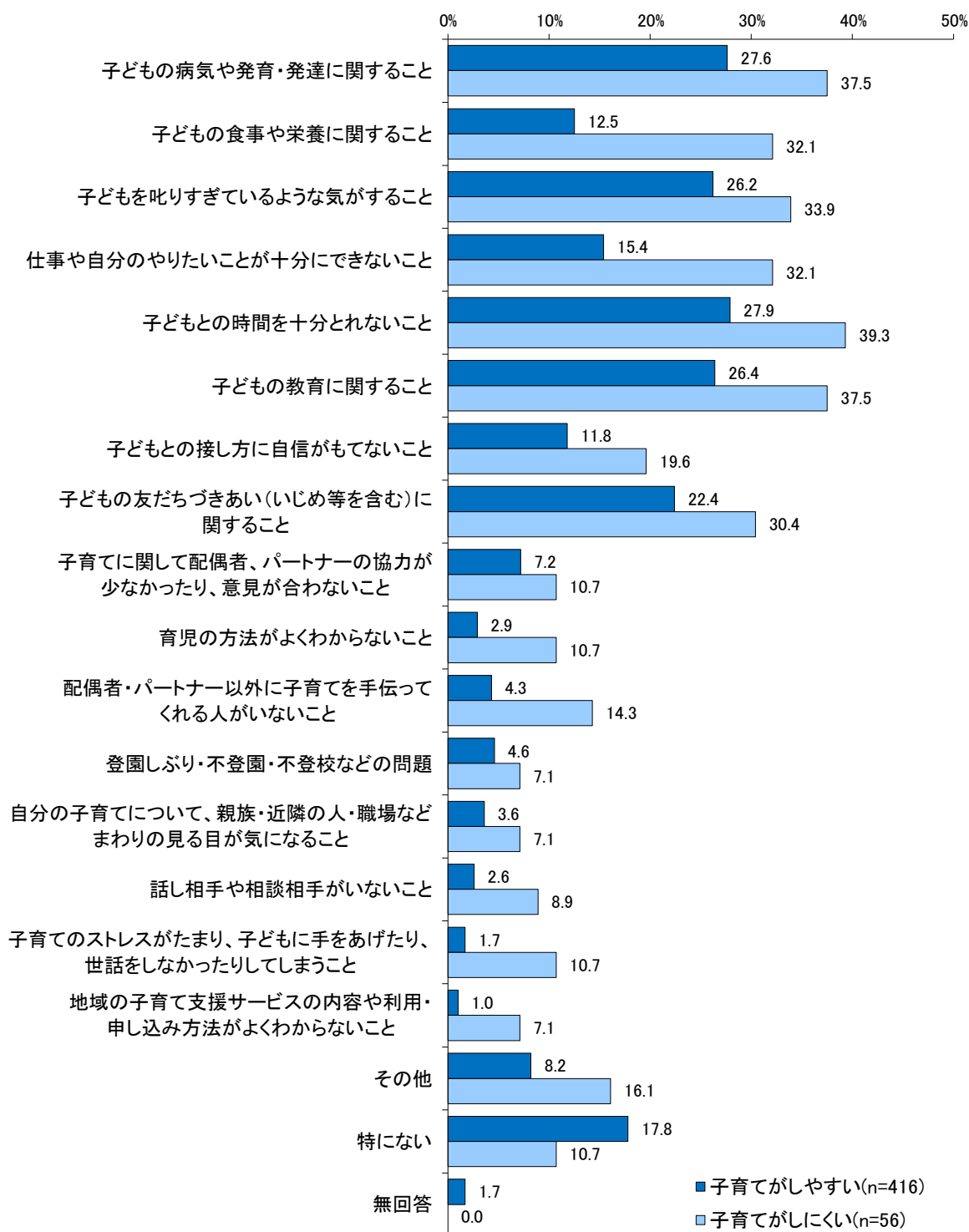
子育てに関する不安や負担の程度別にみると、小学生児童では、不安や負担を感じる家庭で「子どもの病気や発育・発達に関すること」と回答した割合が 40.3%、「子どもを叱りすぎているような気がする」と回答した割合が 39.0%、「子どもの教育に関すること」と回答した割合が 38.1%となっている。

【子育てに関する困りごと（就学前児童・総社市の子育てのしやすさの評価別）】



総社市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童では、子育てがしにくいと思う家庭で、「子どもの病気や発育・発達に関すること」、「子どもの食事や栄養に関すること」、「子どもを叱りすぎているような気がする」、「子どもとの時間を十分とれない」と回答した割合が4割を超えている。

【子育てに関する困りごと（小学生児童・総社市の子育てのしやすさの評価別）】



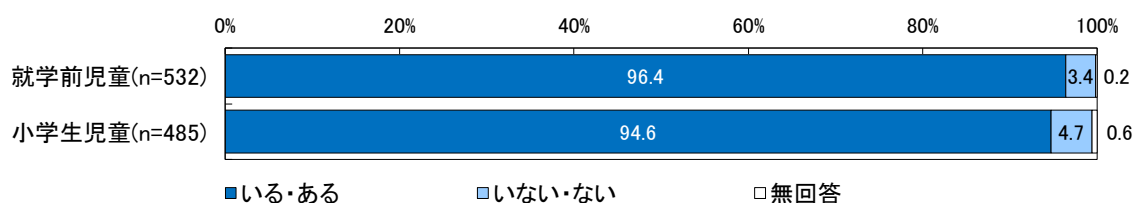
総社市の子育てのしやすさの評価別にみると、小学生児童では、子育てがしにくいと思う家庭で、「子どもとの時間を十分とれないこと」と回答した割合が 39.3%、「子どもの病気や発育・発達に関すること」、「子どもの教育に関すること」と回答した割合が 37.5%となっている。

(5) 子育てに関する相談先の有無

問 25 就学前児童・問 20 小学生児童

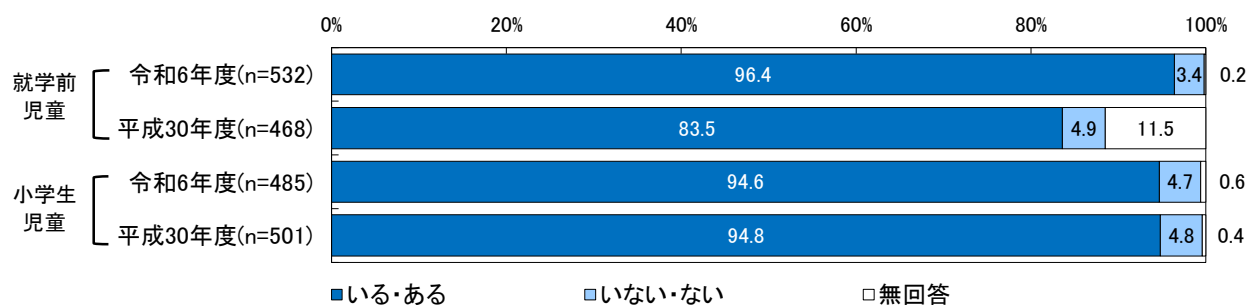
あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。【○は1つ】

【子育てに関する相談先の有無】



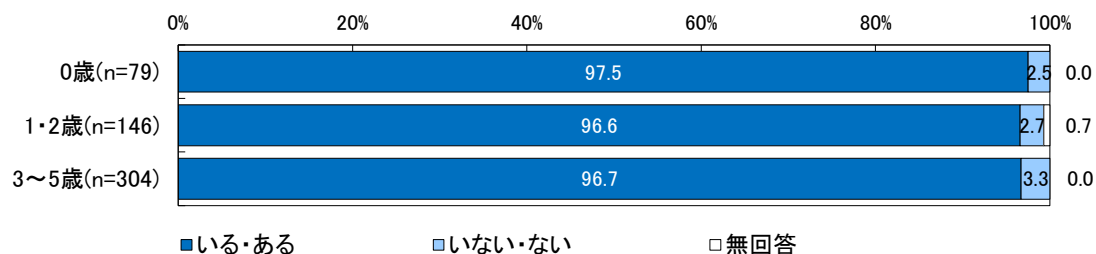
子育てに関する相談先の有無について、「いる・ある」と回答した割合は就学前児童で 96.4%，小学生児童で 94.6%，「いない・ない」と回答した割合は就学前児童で 3.4%，小学生児童で 4.7%となっている。

【子育てに関する相談先の有無（前回調査結果との比較）】



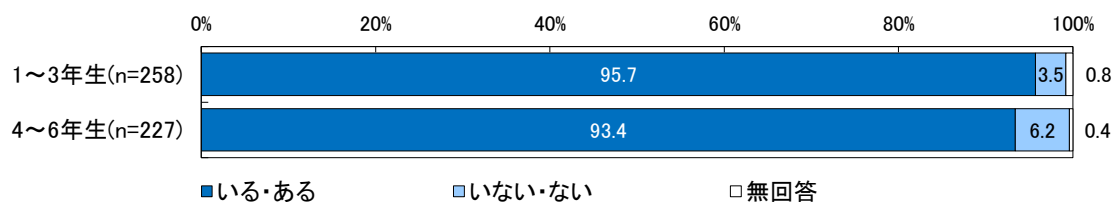
前回調査結果と比較すると、「いない・ない」と回答した割合に特徴的な変化はみられない。

【子育てに関する相談先の有無（就学前児童・年齢別）】



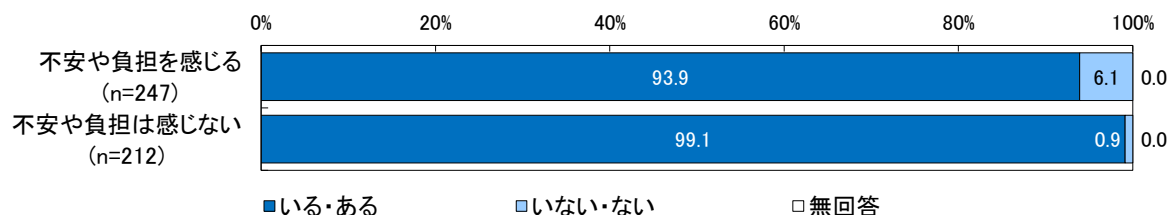
年齢別にみると、特徴的な差はみられない。

【子育てに関する相談先の有無（小学生児童・学年別）】

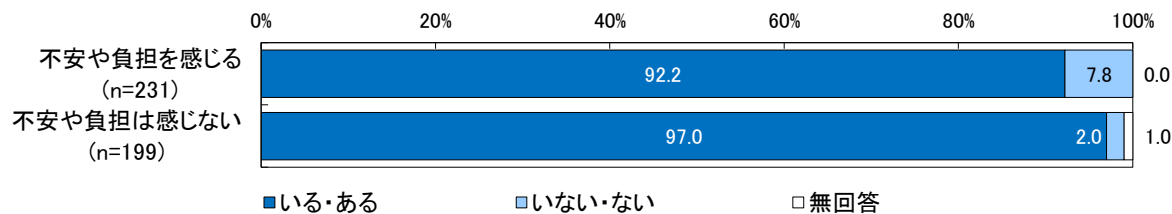


学年別にみると、特徴的な差はみられない。

【子育てに関する相談先の有無（就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】

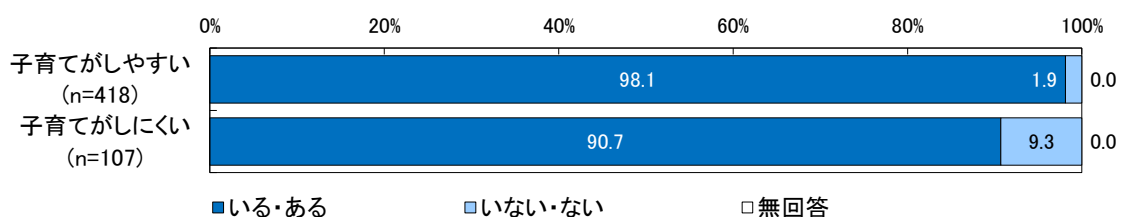


【子育てに関する相談先の有無（小学生児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】

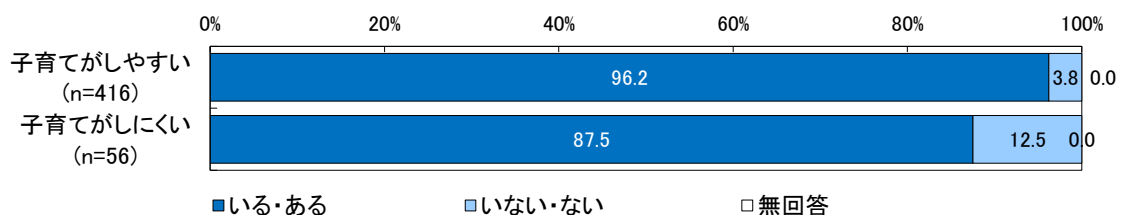


子育てに関する不安や負担の程度別にみると、「いない・ない」と回答した割合は不安や負担を感じる家庭で高く、就学前児童で6.1%，小学生児童で7.8%となっている。

【子育てに関する相談先の有無（就学前児童・総社市の子育てのしやすさの評価別）】



【子育てに関する相談先の有無（小学生児童・総社市の子育てのしやすさの評価別）】



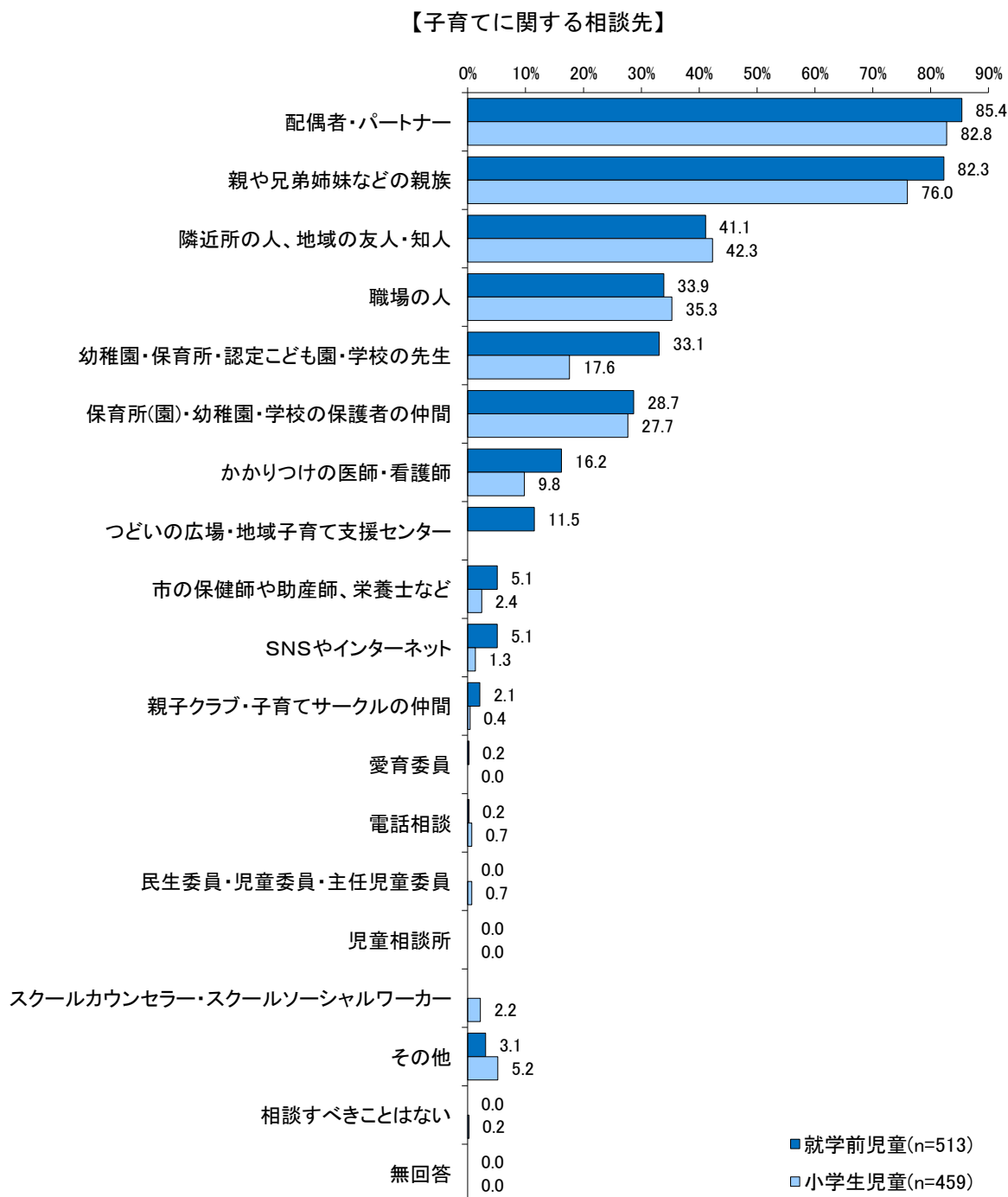
総社市の子育てのしやすさの評価別にみると、「いない・ない」と回答した割合は子育てがしにくいと思う家庭で高く、就学前児童で9.3%，小学生児童で12.5%となっている。

問 25・問 20 で「1 いる・ある」と回答した人のみ回答

問 25-1 就学前児童・問 20-1 小学生児童

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

【〇は当てはまるものすべて】



子育てに関する相談先について、就学前児童では「配偶者・パートナー」と回答した割合が85.4%と最も高く、次いで「親や兄弟姉妹などの親族」（82.3%）となっている。

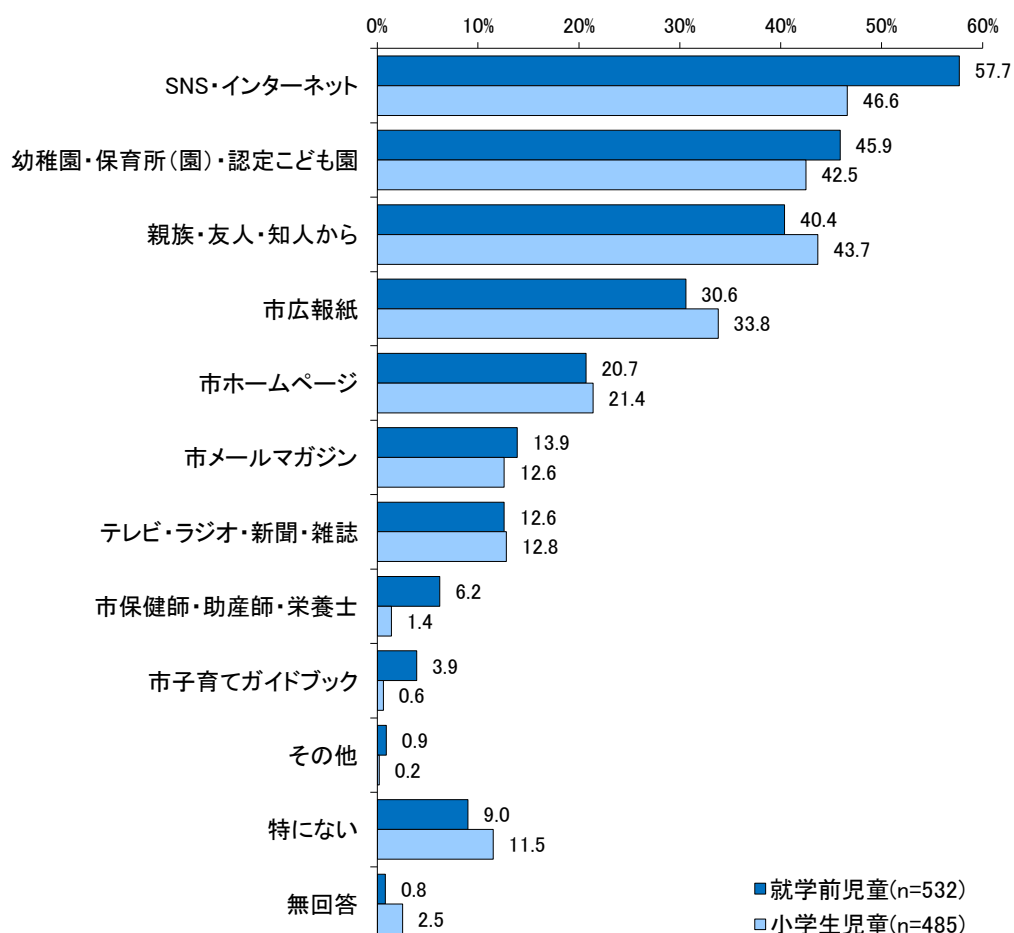
小学生児童では「配偶者・パートナー」と回答した割合が82.8%と最も高く、次いで「親や兄弟姉妹などの親族」（76.0%）となっている。

(6) 子育て支援に関する情報の入手先

問 26 就学前児童・問 21 小学生児童

どのようにして子育て支援に関する情報を入手していますか。【○は当てはまるものすべて】

【子育て支援に関する情報の入手先】



子育て支援に関する情報の入手先について、就学前児童では「SNS・インターネット」と回答した割合が 57.7%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所(園)・認定こども園」(45.9%)となっている。

小学生児童では「SNS・インターネット」と回答した割合が 46.6%と最も高く、「親族・友人・知人から」(43.7%)、「幼稚園・保育所(園)・認定こども園」(42.5%)が続いている。

(7) 地域の子育て環境

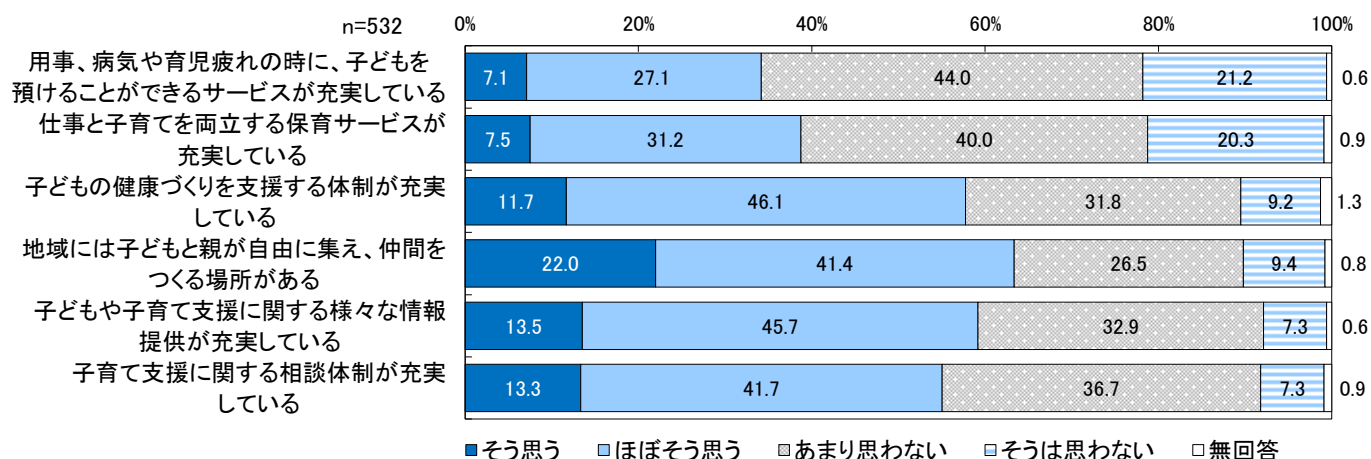
問 27 就学前児童・問 22 小学生児童

あなたが住んでいる地域の子育て環境について、あなたの意見を回答してください。

【それぞれの項目に○は1つずつ】

【地域の子育て環境について】

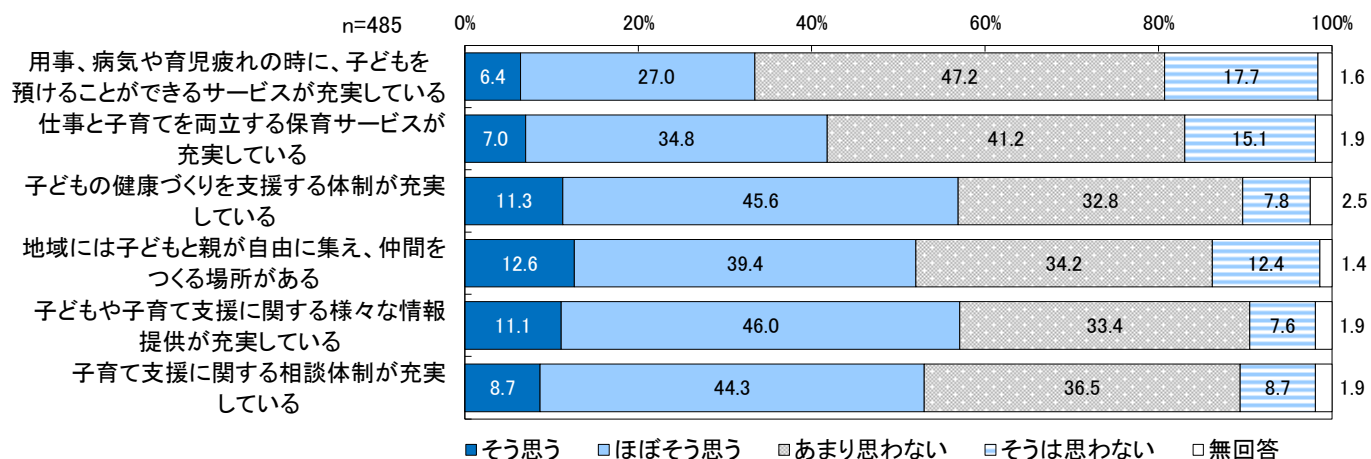
(就学前児童)



地域の子育て環境について、就学前児童では、「子どもの健康づくりを支援する体制が充実している」、「地域には子どもと親が自由に集え、仲間をつくる場所がある」、「子どもや子育て支援に関する様々な情報提供が充実している」、「子育て支援に関する相談体制が充実している」で『思う』（「そう思う」＋「ほぼそう思う」）と回答した割合が『思わない』（「そうは思わない」＋「あまり思わない」）と回答した割合を上回り、5～6割台となっている。

一方、「用事、病気や育児疲れの時に、子どもを預けることができるサービスが充実している」、「仕事と子育てを両立する保育サービスが充実している」で『思う』回答した割合が『思わない』と回答した割合を下回り、3割台となっている。

(小学生児童)

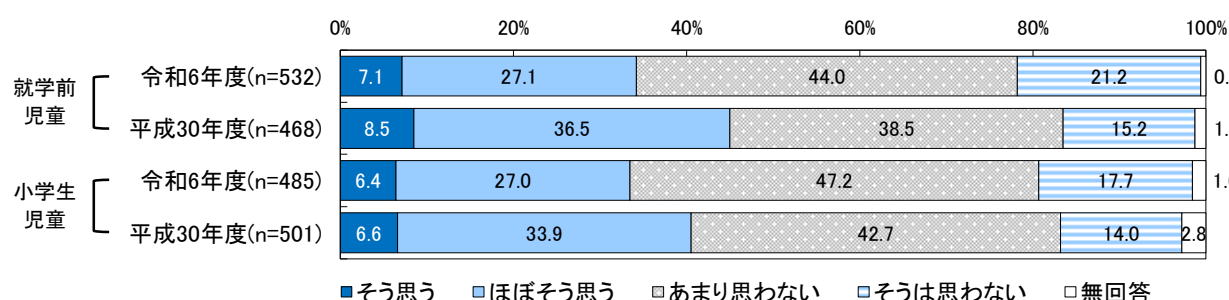


小学生児童では、「子どもの健康づくりを支援する体制が充実している」、「地域には子どもと親が自由に集え、仲間をつくる場所がある」、「子どもや子育て支援に関する様々な情報提供が充実している」、「子育て支援に関する相談体制が充実している」で『思う』と回答した割合が『思わない』と回答した割合を上回り、5割台となっている。

一方、「用事、病気や育児疲れの時に、子どもを預けることができるサービスが充実している」、「仕事と子育てを両立する保育サービスが充実している」で『思う』回答した割合が『思わない』と回答した割合を下回り、3～4割台となっている。

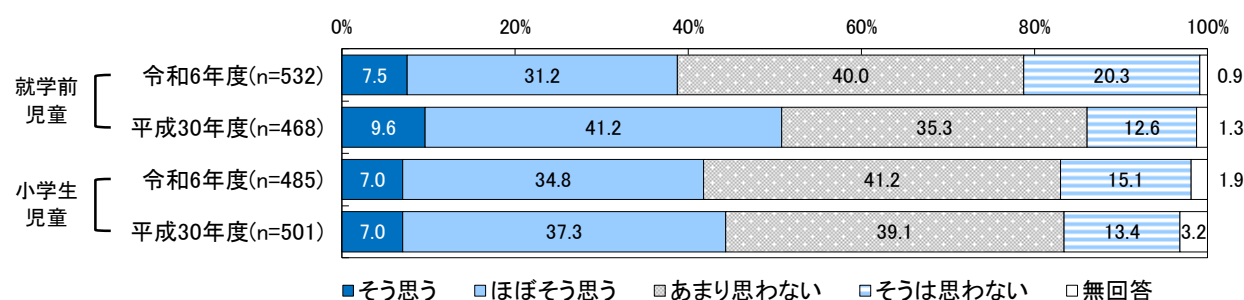
【①用事、病気や育児疲れの時に、子どもを預けることができるサービスが充実している

(前回調査結果との比較)



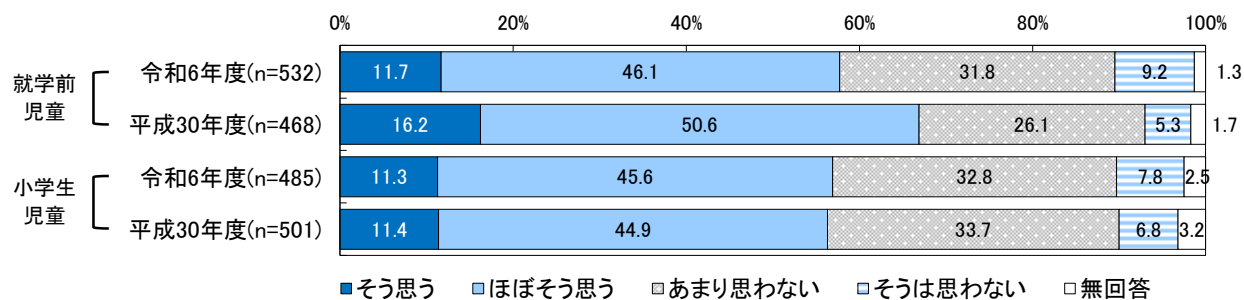
前回調査結果と比較すると、用事、病気や育児疲れの時に、子どもを預けることができるサービスが充実していると『思う』と回答した割合は、就学前児童、小学生児童ともに低下している。

【②仕事と子育てを両立する保育サービスが充実している (前回調査結果との比較)】



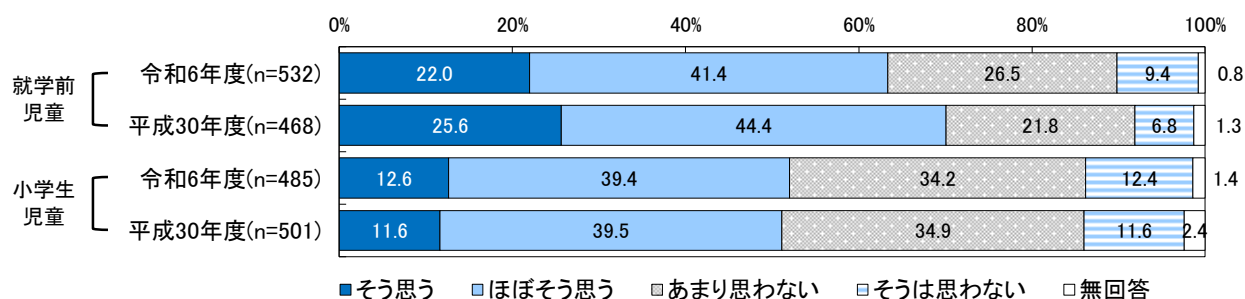
前回調査結果と比較すると、仕事と子育てを両立する保育サービスが充実していると『思う』と回答した割合は、就学前児童で低下している。

【③子どもの健康づくりを支援する体制が充実している（前回調査結果との比較）】



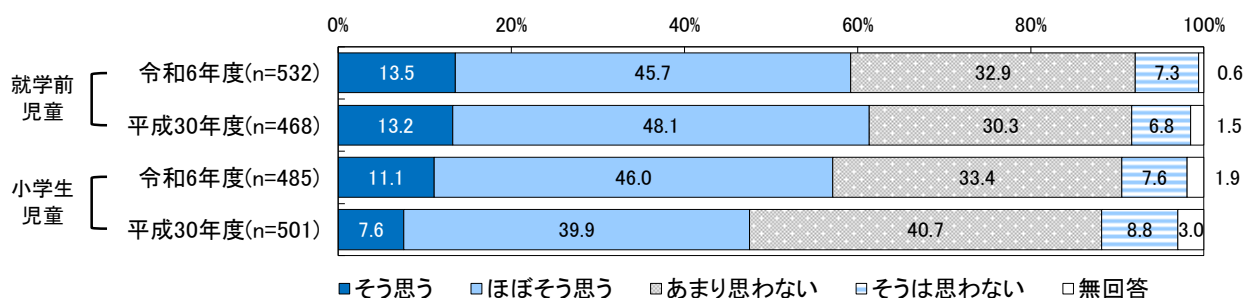
前回調査結果と比較すると、子どもの健康づくりを支援する体制が充実していると『思う』と回答した割合は、就学前児童で低下している。

【④地域には子どもと親が自由に集え、仲間をつくる場所がある（前回調査結果との比較）】



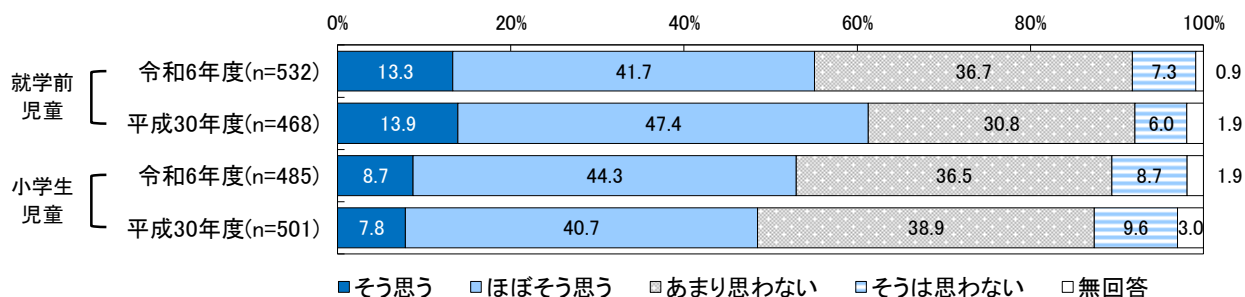
前回調査結果と比較すると、地域には子どもと親が自由に集え、仲間をつくる場所があると『思う』と回答した割合は、就学前児童で低下している。

【⑤子どもや子育て支援に関する様々な情報提供が充実している（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、子どもや子育て支援に関する様々な情報提供が充実していると『思う』と回答した割合は、小学生児童で上昇している。

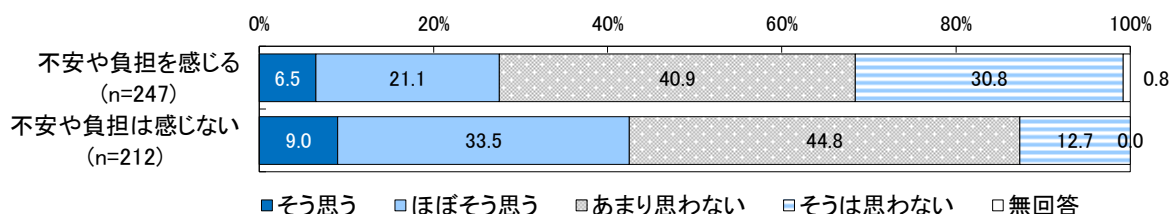
【⑥子育て支援に関する相談体制が充実している（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、子育て支援に関する相談体制が充実していると『思う』と回答した割合は、就学前児童で低下している。

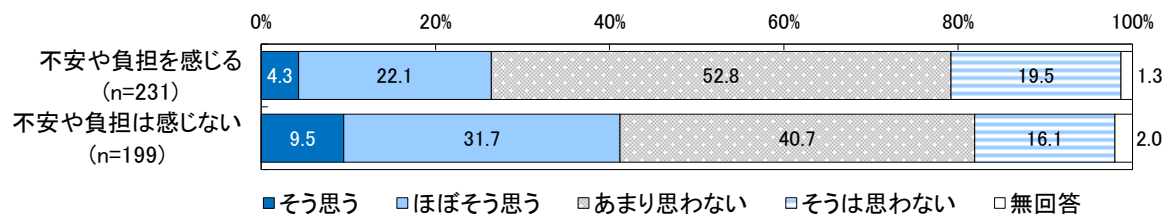
【①用事、病気や育児疲れの時に、子どもを預けることができるサービスが充実している

（就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



【①用事、病気や育児疲れの時に、子どもを預けることができるサービスが充実している

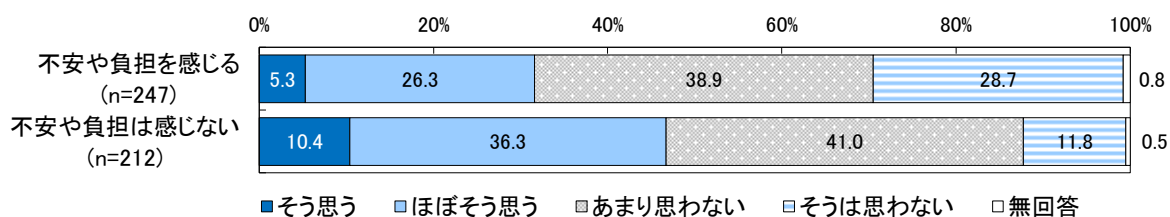
（小学生児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



子育てに関する不安や負担の程度別にみると、用事、病気や育児疲れの時に、子どもを預けることができるサービスが充実していると『思わない』と回答した割合は不安や負担を感じる家庭で高く、就学前児童で71.7%，小学生児童で72.3%となっている。

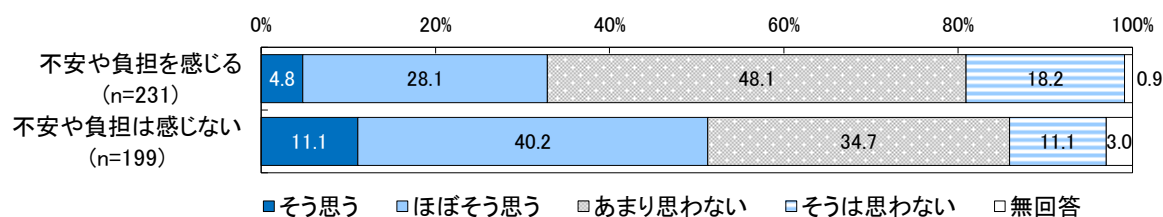
【②仕事と子育てを両立する保育サービスが充実している

(就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別)



【②仕事と子育てを両立する保育サービスが充実している

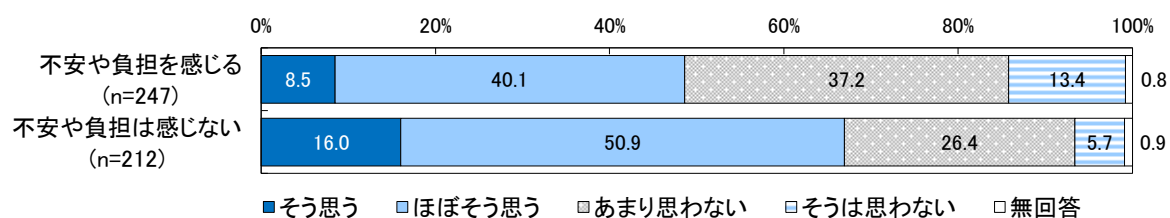
(小学生児童・子育てに関する不安や負担の程度別)



子育てに関する不安や負担の程度別にみると、仕事と子育てを両立する保育サービスが充実していると『思わない』と回答した割合は不安や負担を感じる家庭で高く、就学前児童で 67.6%、小学生児童で 66.3%となっている。

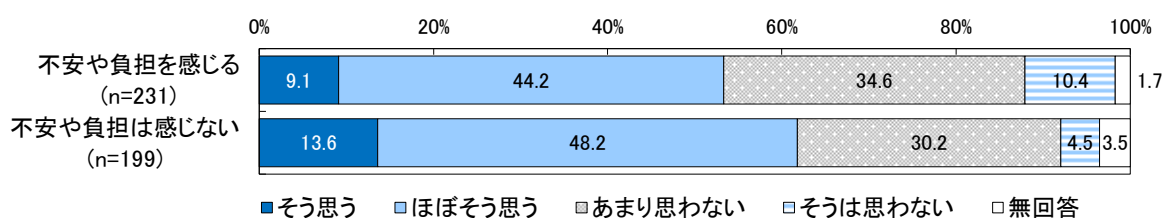
【③子どもの健康づくりを支援する体制が充実している

(就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別)



【③子どもの健康づくりを支援する体制が充実している

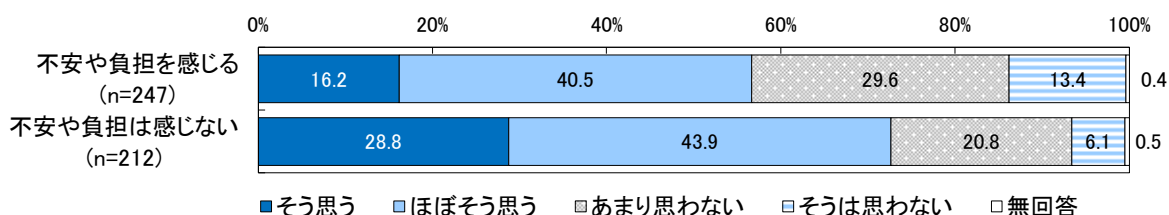
(小学生児童・子育てに関する不安や負担の程度別)



子育てに関する不安や負担の程度別にみると、子どもの健康づくりを支援する体制が充実していると『思わない』と回答した割合は不安や負担を感じる家庭で高く、就学前児童で 50.6%、小学生児童で 45.0%となっている。

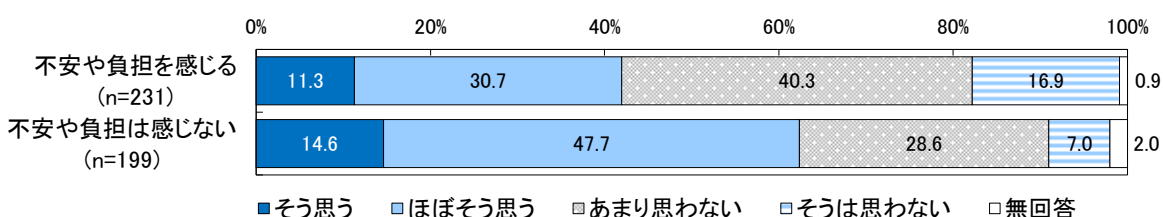
【④地域には子どもと親が自由に集え、仲間をつくる場所がある

(就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別)



【④地域には子どもと親が自由に集え、仲間をつくる場所がある

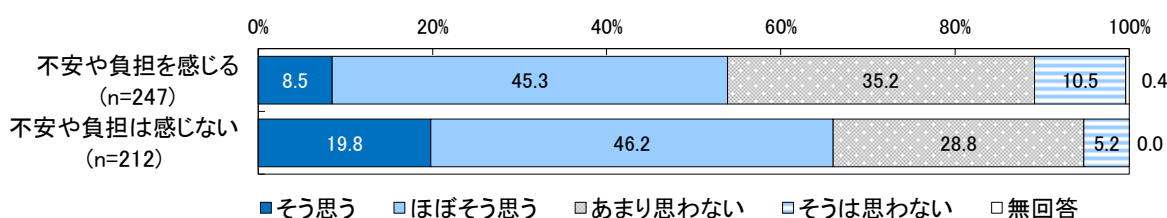
(小学生児童・子育てに関する不安や負担の程度別)



子育てに関する不安や負担の程度別にみると、地域には子どもと親が自由に集え、仲間をつくる場所があると『思わない』と回答した割合は不安や負担を感じる家庭で高く、就学前児童で43.0%，小学生児童で57.2%となっている。

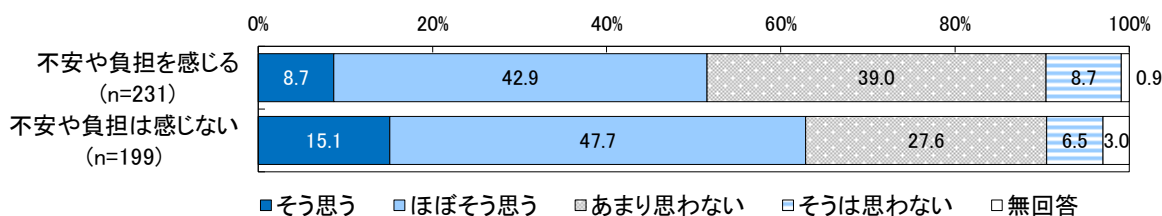
【⑤子どもや子育て支援に関する様々な情報提供が充実している

(就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別)



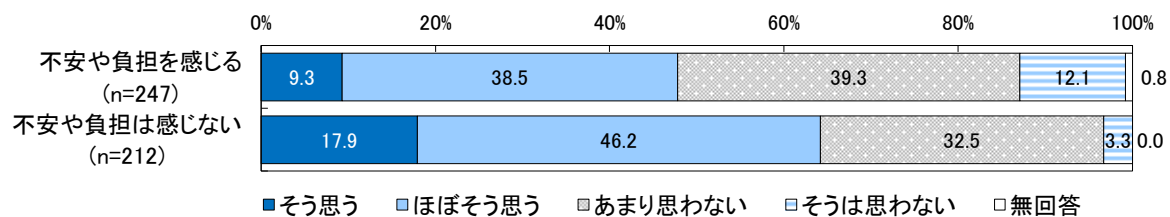
【⑤子どもや子育て支援に関する様々な情報提供が充実している

(小学生児童・子育てに関する不安や負担の程度別)

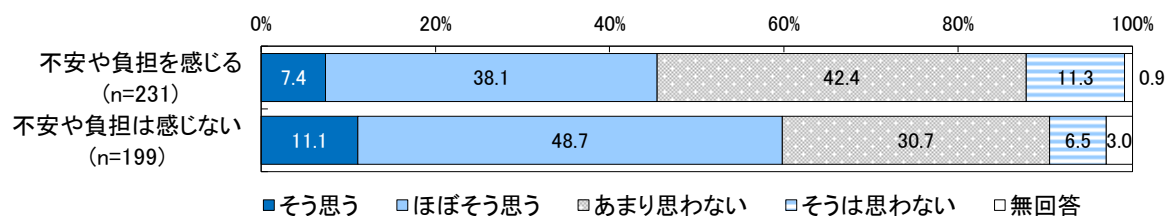


子育てに関する不安や負担の程度別にみると、子どもや子育て支援に関する様々な情報提供が充実していると『思わない』と回答した割合は不安や負担を感じる家庭で高く、就学前児童で45.7%，小学生児童で47.7%となっている。

【⑥子育て支援に関する相談体制が充実している（就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



【⑥子育て支援に関する相談体制が充実している（小学生児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



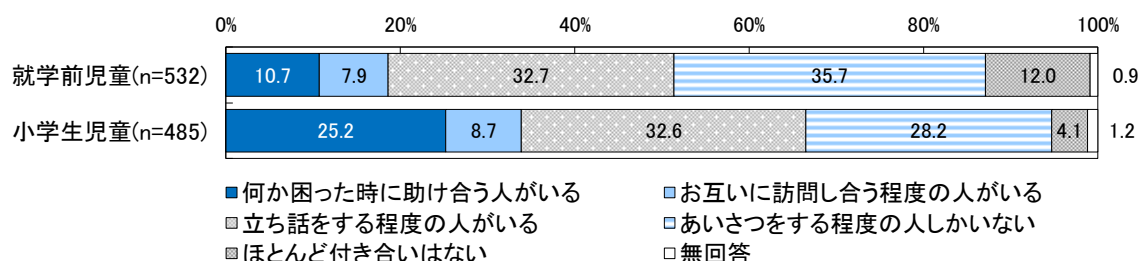
子育てに関する不安や負担の程度別にみると、子育て支援に関する相談体制が充実している『思わない』と回答した割合は不安や負担を感じる家庭で高く、就学前児童で51.4%、小学生児童で53.7%となっている。

(8) 近所付き合いの程度

問 28 就学前児童・問 23 小学生児童

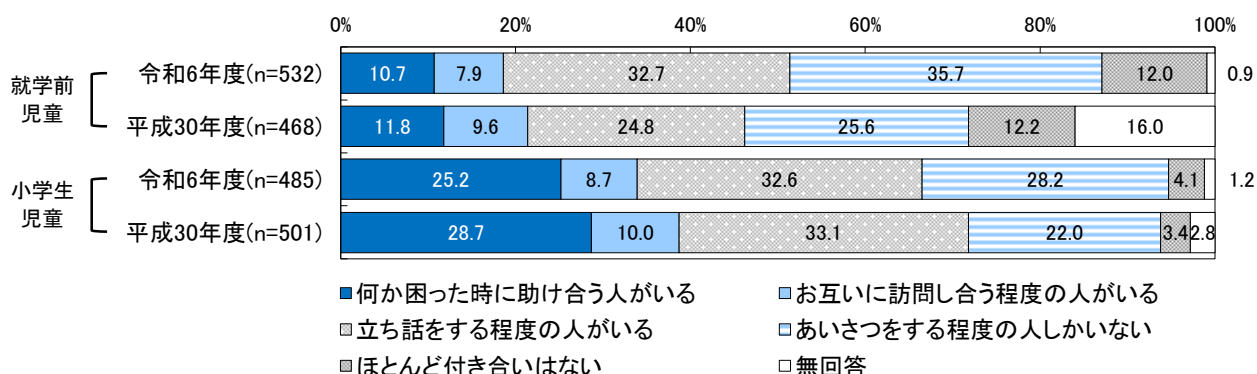
あて名のお子さんのご家族は、近所の人とどの程度付き合いがありますか。【〇は1つ】

【近所付き合いの程度】



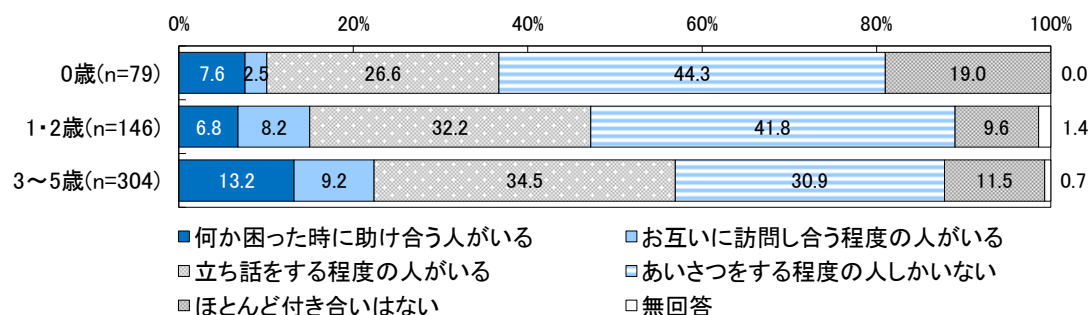
近所付き合いの程度について、「何か困った時に助け合う人がいる」と回答した割合は就学前児童で10.7%、小学生児童で25.2%となっている。また、就学前児童では「ほとんど付き合いはない」と回答した割合が12.0%となっている。

【近所付き合いの程度（前回調査結果との比較）】



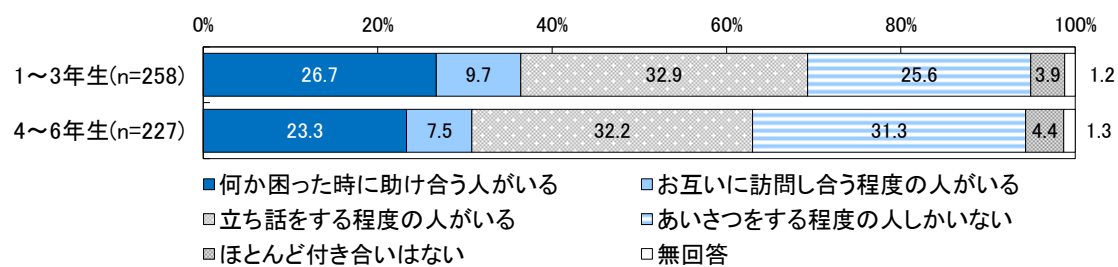
前回調査結果と比較すると、付き合いの浅い（「あいさつをする程度の人しかいない」＋「ほとんど付き合いはない」）割合は就学前児童，小学生児童ともに上昇している。

【近所付き合いの程度（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、付き合いの浅い割合は年齢が低いほど高く、0歳で63.3%となっている。

【近所付き合いの程度（小学生児童・学年別）】



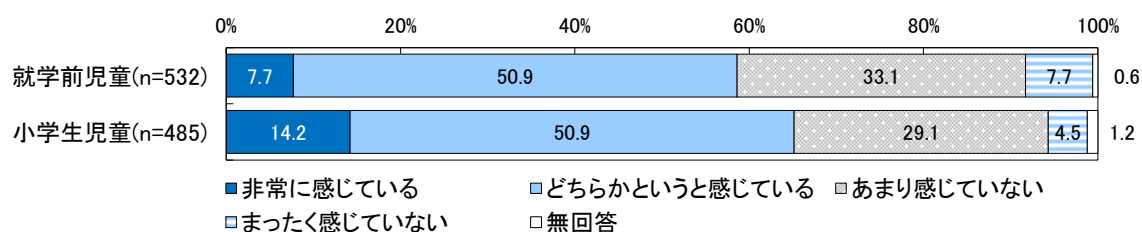
学年別にみると、付き合いの浅い割合は、4～6年生で35.7%となっている。

(9) 地域の人々や社会全体の支えの感じ方

問 29 就学前児童・問 24 小学生児童

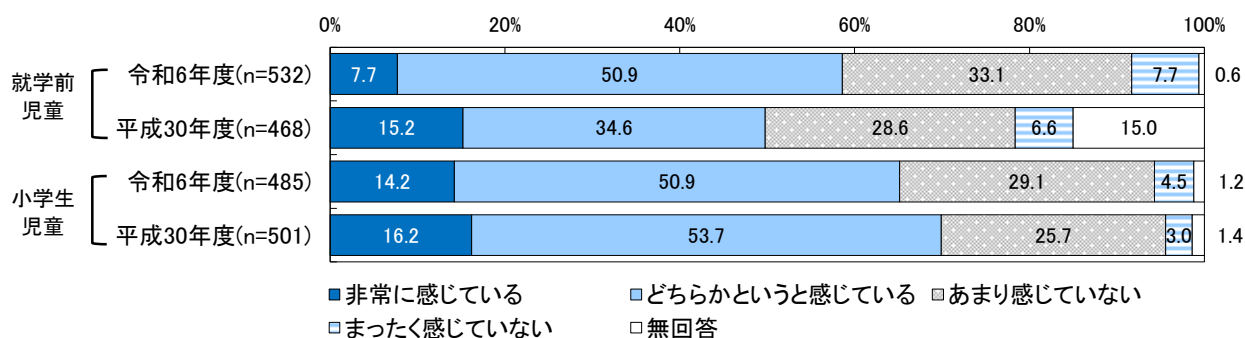
自分自身の子育てが地域の人々や社会全体に支えられていると感じますか。【〇は1つ】

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方】



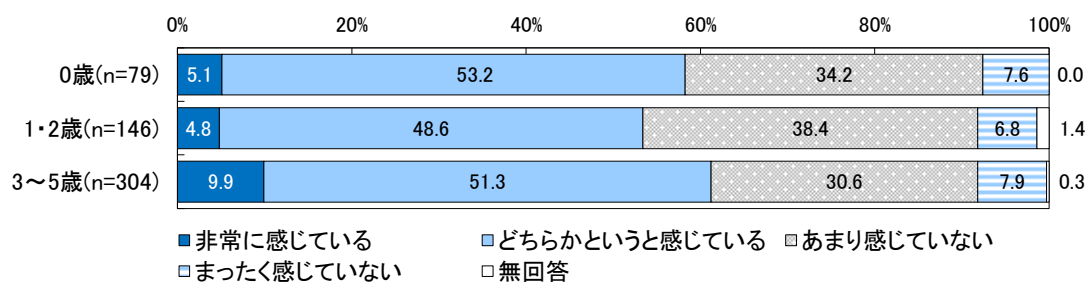
地域の人々や社会全体の支えの感じ方について、『支えを感じている』（「非常に感じている」+「どちらかというと感じている」）と回答した割合は就学前児童で58.6%, 小学生児童で65.1%, 『支えを感じていない』（「まったく感じていない」+「あまり感じていない」）と回答した割合は就学前児童で40.8%, 小学生児童で33.6%, となっている。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（前回調査結果との比較）】



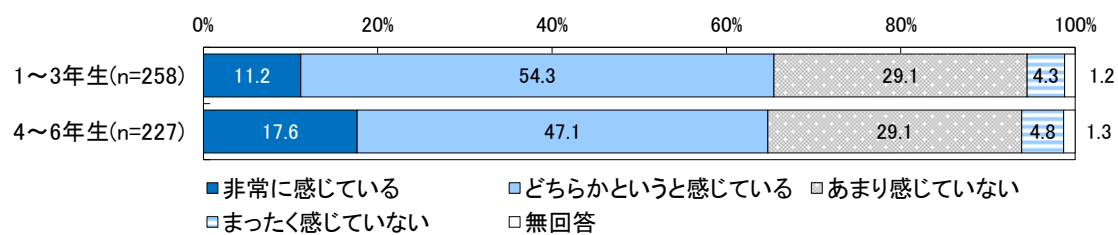
前回調査結果と比較すると、『支えを感じている』と回答した割合は就学前児童で上昇している。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、『支えを感じている』と回答した割合は、0歳で58.3%, 1・2歳で53.4%, 3～5歳で61.2%となっている。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（小学生児童・学年別）】



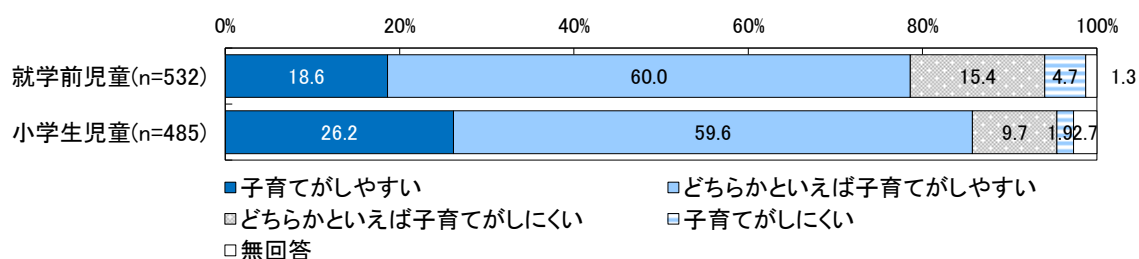
学年別にみると、『支えを感じている』と回答した割合は、1～3年生で 65.5%，4～6年生で 64.7%となっている。

(10) 総社市の子育てのしやすさの評価

問 30 就学前児童・問 25 小学生児童

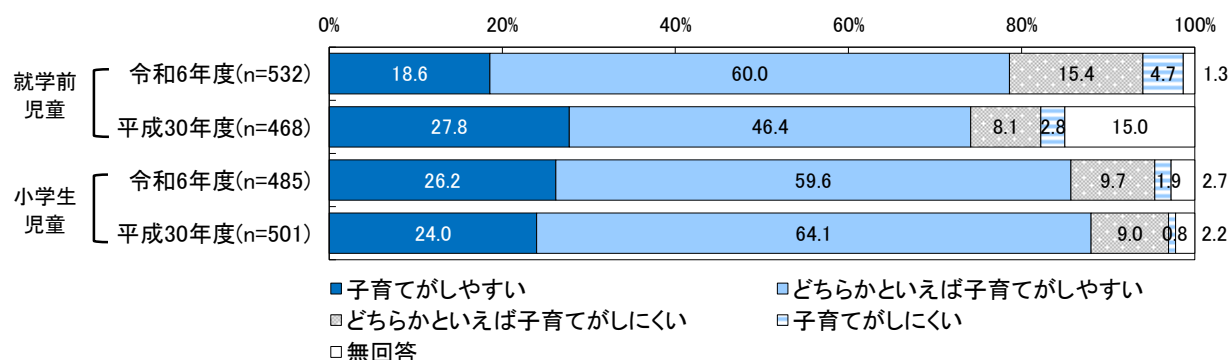
いろいろなことを総合して、総社市は子育てがしやすいと思いますか。【〇は1つ】

【総社市の子育てのしやすさの評価】



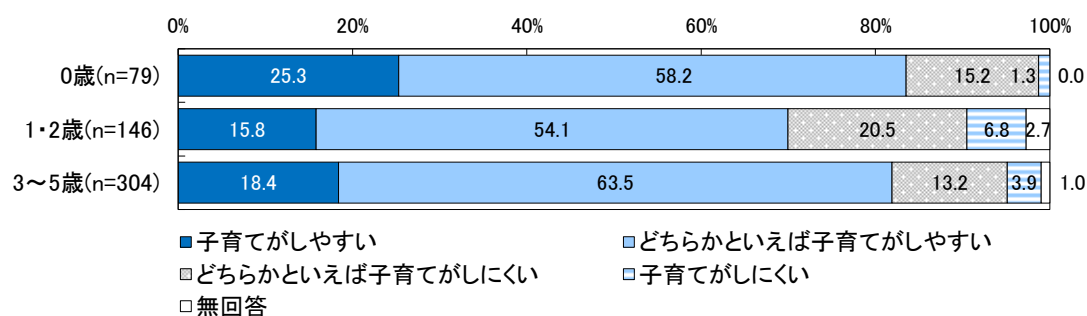
総社市の子育てのしやすさの評価について、『子育てがしやすい』（「子育てがしやすい」＋「どちらかといえば子育てがしやすい」）と回答した割合は就学前児童で 78.6%，小学生児童で 85.8%，『子育てがしにくい』（「子育てがしにくい」＋「どちらかといえば子育てがしにくい」）と回答した割合は就学前児童で 20.1%，小学生児童で 11.6%となっている。

【総社市の子育てのしやすさの評価（前回調査結果との比較）】



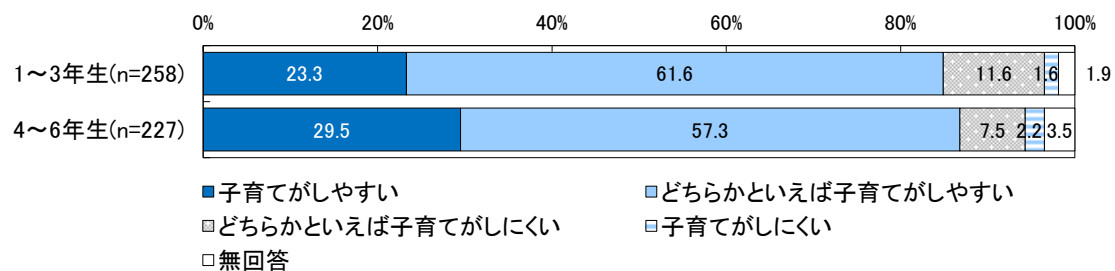
前回調査結果と比較すると、就学前児童で「子育てがしやすい」と回答した割合が低下している。

【総社市の子育てのしやすさの評価（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、『子育てがしやすい』と回答した割合は0歳で 83.5%，1～2歳で 69.9%，3～5歳で 81.9%となっている。

【総社市の子育てのしやすさの評価（小学生児童・学年別）】



学年別にみると、『子育てがしやすい』と回答した割合は1～3年生で84.9%、4～6年生で86.8%となっている。

9 放課後の過ごし方

(1) 放課後の過ごし方

5歳以上の就学前児童・小学生児童のみ回答

問 31 就学前児童（5歳以上）

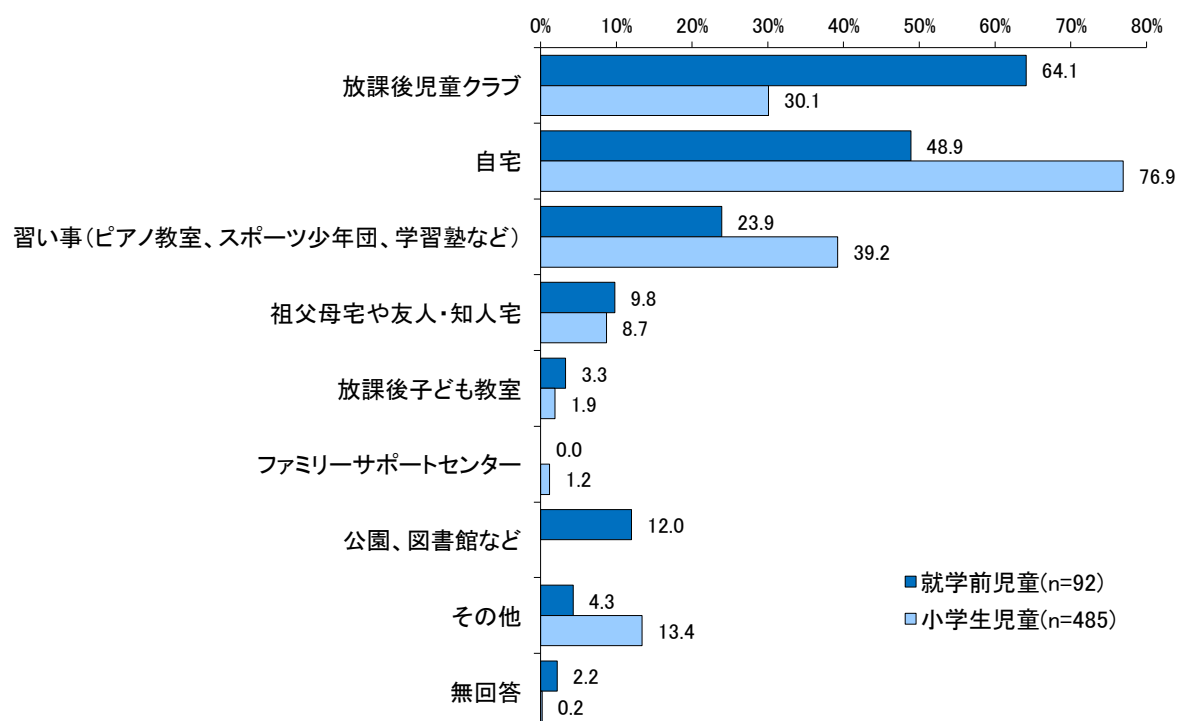
あて名のお子さんについて、小学校1年生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか、または過ごされていますか。

問 11 小学生児童

現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。

【〇は当てはまるものすべて】

【放課後に過ごさせたい場所・過ごしている場所】



放課後に過ごさせたい場所について、就学前児童（5歳以上）では「放課後児童クラブ」と回答した割合が64.1%と最も高く、次いで「自宅」（48.9%）となっている。

放課後に過ごしている場所について、小学生児童では「自宅」と回答した割合が76.9%と最も高く、「習い事（ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾など）」（39.2%）,「放課後児童クラブ」（30.1%）が続いている。

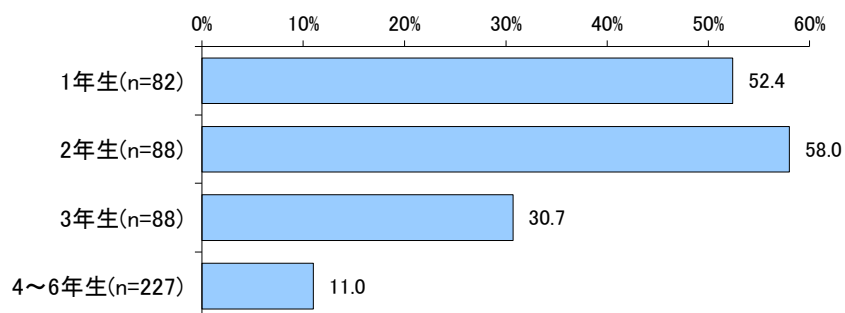
【放課後に過ごさせたい（過ごしている）場所の1週当たりの利用希望日数（平均日数）】

	就学前児童		小学生児童	
	回答数	平均 (日)	回答数	平均 (日)
自宅	45	3.6	354	3.9
祖父母宅や友人・知人宅	9	2.4	53	2.2
習い事(ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾など)	22	1.9	189	2.3
放課後児童クラブ	57	4.3	131	4.1
放課後子ども教室	2	2.5	8	1.8
ファミリーサポートセンター	-	-	6	2.3
公園、図書館など	11	2.5		
その他	4	3.5	63	2.4

放課後に過ごさせたい（過ごしている）場所の1週当たりの利用希望日数について、「放課後児童クラブ」の平均日数は就学前児童で4.3日、小学生児童で4.1日となっている。

(2) 放課後児童クラブの利用状況

【放課後児童クラブの利用状況（小学生児童・学年別）】



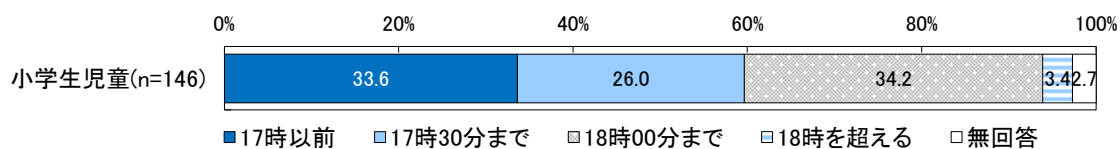
放課後児童クラブの利用状況について、学年別にみると、利用している割合は、1年生で52.4%、2年生で58.0%、3年生で30.7%、4～6年生で11.0%となっている。

問 11 で「4 放課後児童クラブ」と回答した人のみ回答

問 11-1 小学生児童

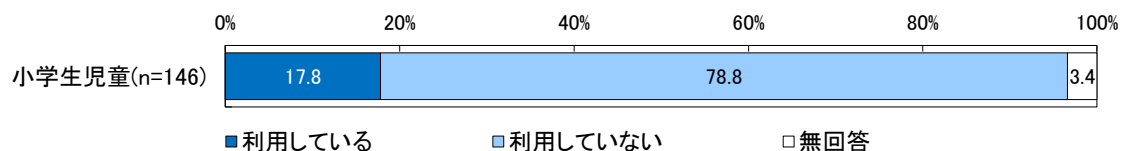
放課後児童クラブの利用の状況を回答してください。

【放課後児童クラブの利用終了時間】



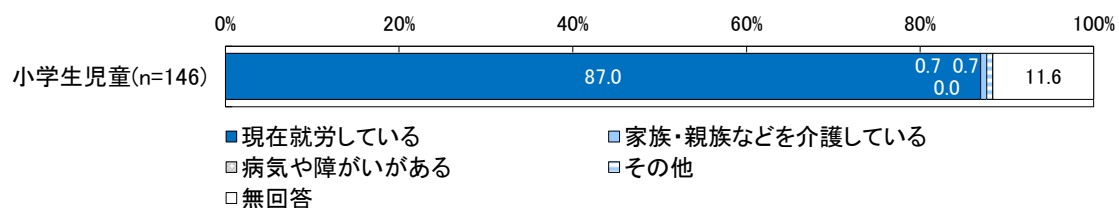
平日の放課後児童クラブの利用終了時間について、『18時まで』（「17時以前」+「17時30分まで」+「18時00分まで」）と回答した割合が93.8%、「18時を超える」と回答した割合が3.4%となっている。

【土曜日の放課後児童クラブの利用状況】



土曜日の放課後児童クラブの利用状況について、「利用している」と回答した割合が17.8%となっている。

【放課後児童クラブを利用している理由】



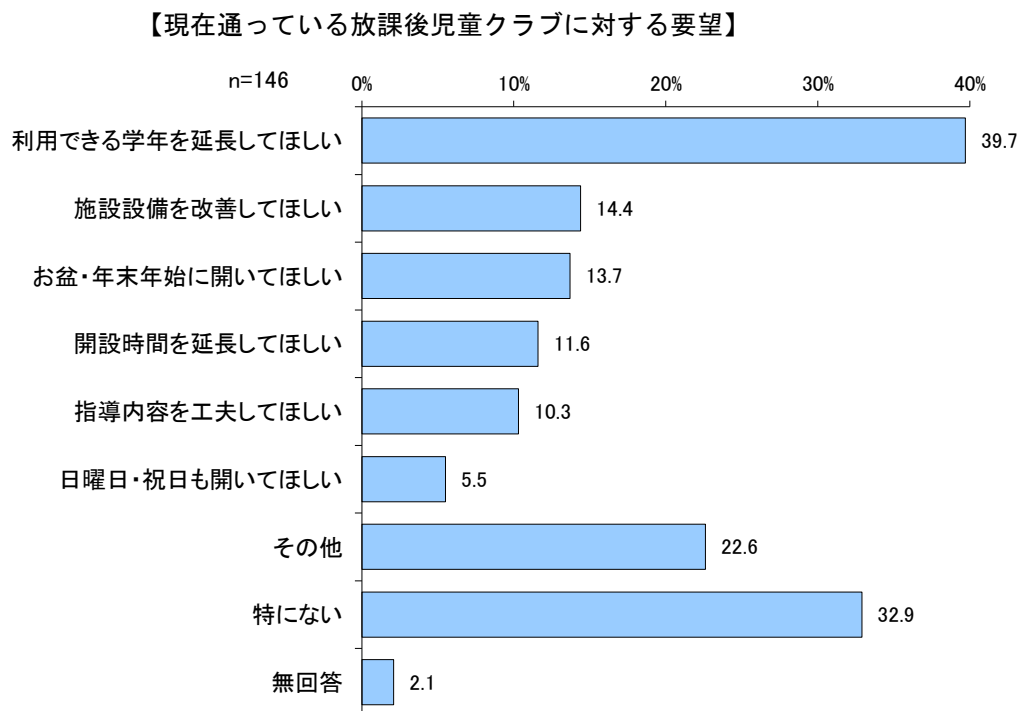
放課後児童クラブを利用している理由について、「現在就労している」と回答した割合が87.0%となっている。

(3) 放課後児童クラブに対する要望

問 11-2 小学生児童

現在通っている放課後児童クラブに対してどのような要望がありますか。

【○は当てはまるものすべて】

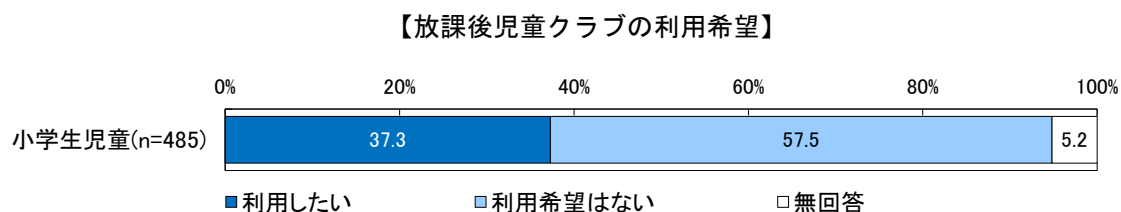


現在通っている放課後児童クラブに対する要望について、「利用できる学年を延長してほしい」と回答した割合が39.7%と最も高く、次いで「施設設備を改善してほしい」(14.4%)、「お盆・年末年始に開いてほしい」(13.7%)、「開設時間を延長してほしい」(11.6%)、「指導内容を工夫してほしい」(10.3%)となっている。

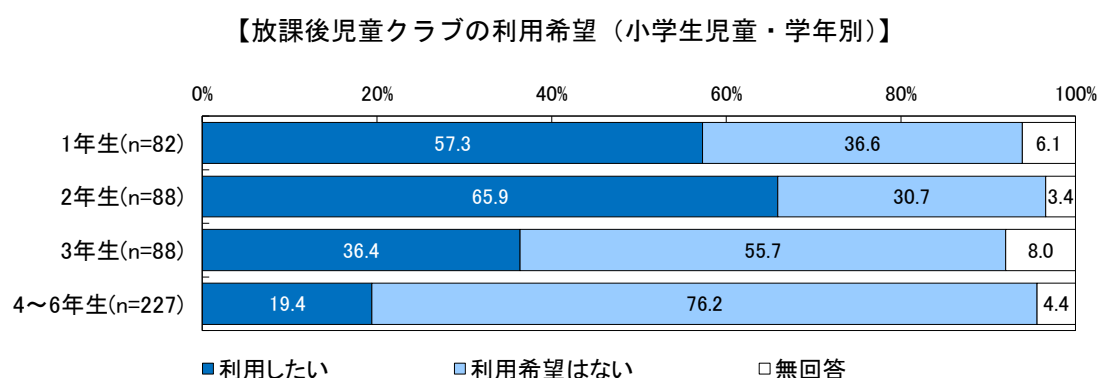
(4) 放課後児童クラブの利用希望

問 12 小学生児童

あて名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。【○は1つ】



放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 37.3%となっている。



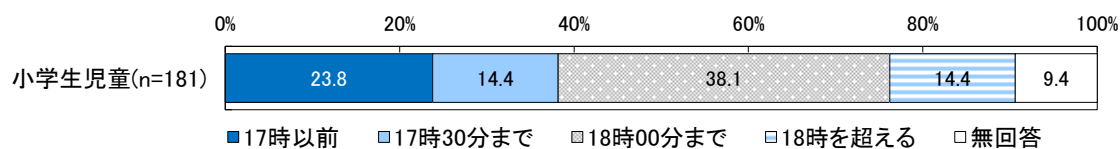
学年別にみると、「利用したい」と回答した割合は、1年生で 57.3%，2年生で 65.9%，3年生で 36.4%，4～6年生で 19.4%となっている。

問 12 で「1 利用したい」と回答した人のみ回答

問 12-1 小学生児童

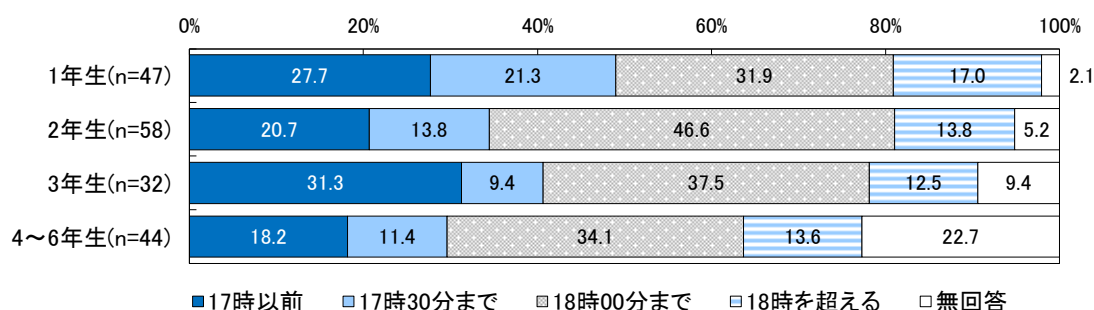
利用したい日数、時間などを回答してください。

【平日の放課後児童クラブの利用希望終了時間】



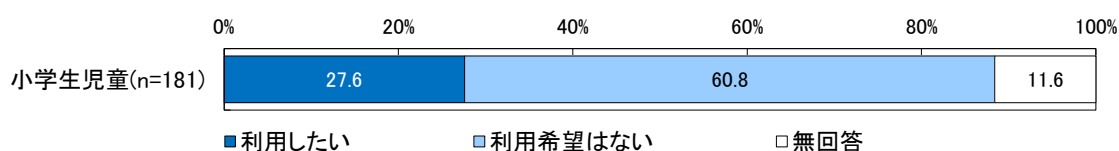
平日の放課後児童クラブの利用希望終了時間について、「18 時を超える」と回答した割合が 14.4%となっている。

【平日の放課後児童クラブの利用希望終了時間（小学生児童・学年別）】



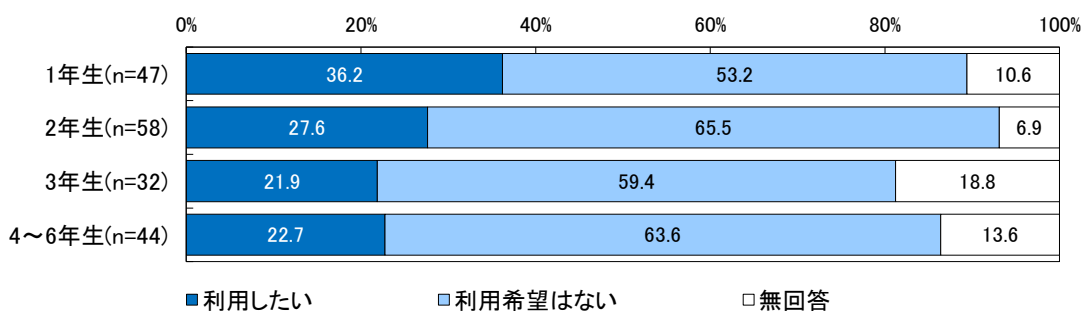
学年別にみると、「18 時を超える」と回答した割合は、全ての学年で 1 割を超えている。

【土曜日の放課後児童クラブの利用希望】



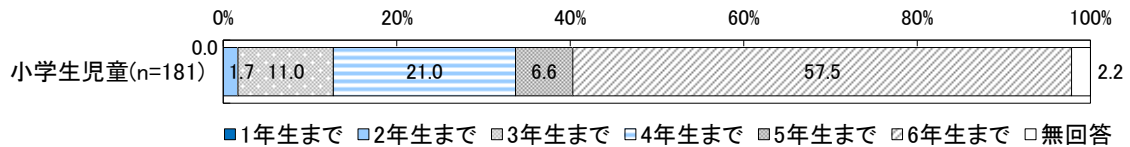
土曜日の放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 27.6%となっている。

【土曜日の放課後児童クラブの利用希望（小学生児童・学年別）】



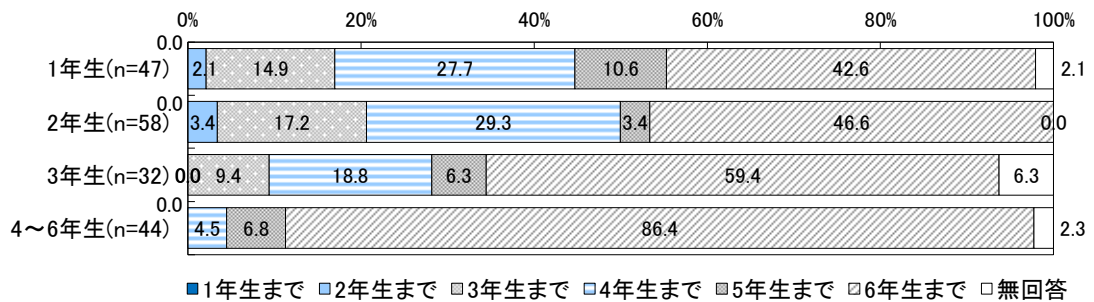
学年別にみると、「利用したい」と回答した割合は、1 年生で 36.2%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了学年】



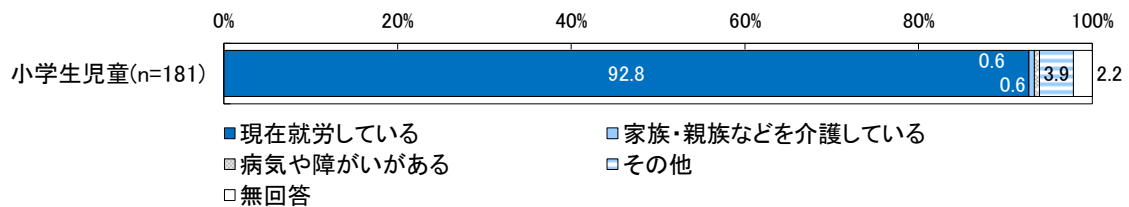
放課後児童クラブの利用希望終了学年について、「6年生まで」と回答した割合が 57.5%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了学年（小学生児童・学年別）】



学年別にみると、「6年生まで」と回答した割合は、4～6年生で 86.4%となっている。

【放課後児童クラブの利用を希望する理由】



放課後児童クラブの利用を希望する理由について、「現在就労している」と回答した割合が 92.8%となっている。

10 育児休業・育児休暇

(1) 育児休業取得状況

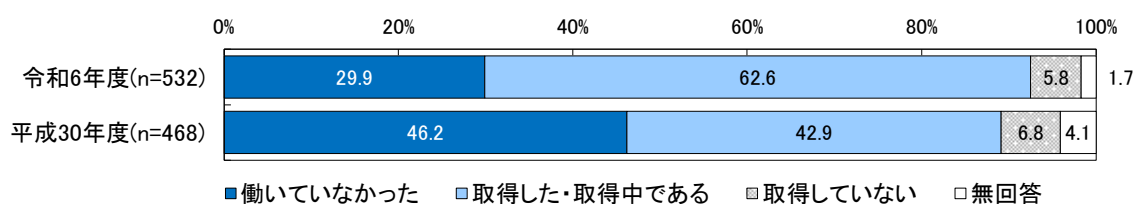
問 32 就学前児童

あて名のお子さんが生まれた時、お母さん、お父さんは育児休業を取得しましたか。【○は1つ】

問 32-1 就学前児童

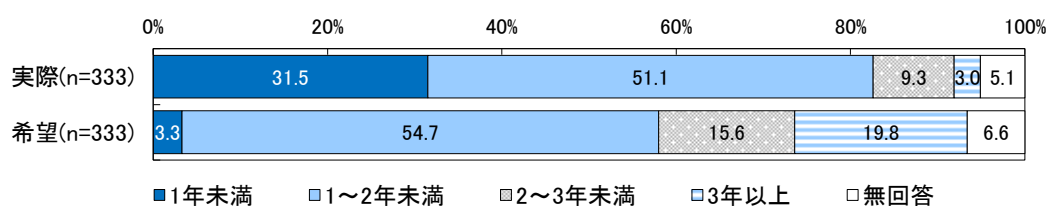
育児休業の実際の期間と希望の期間を記入してください。【数字を記入】

【育児休業の取得状況（母親）（前回調査結果との比較）】



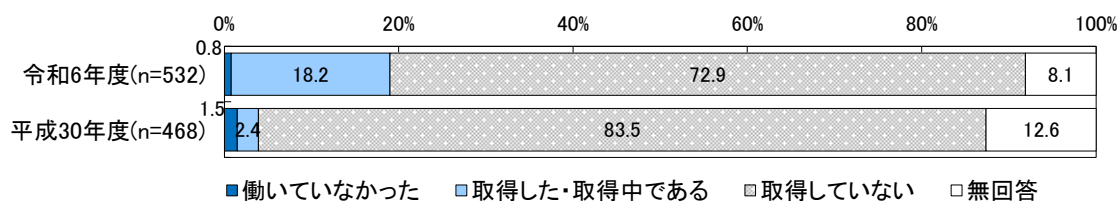
母親の育児休業の取得状況について、「取得した・取得中である」と回答した割合が 62.6% となっており、前回調査結果と比較すると上昇している。

【育児休業の取得期間（母親）】



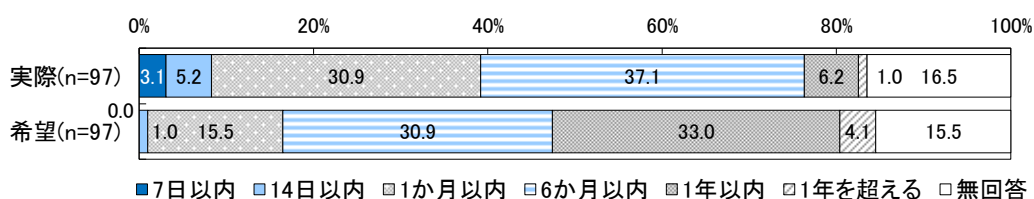
母親の育児休業の取得期間について、実際の取得期間では「1年未満」と回答した割合が 31.5%、「1～2年未満」と回答した割合が 51.1%となっているが、希望の取得期間では「1年未満」と回答した割合が 3.3%であり、『2年以上』と回答した割合が 35.4%となっている。

【育児休業の取得状況（父親）（前回調査結果との比較）】



父親の育児休業の取得状況について、「取得した・取得中である」と回答した割合が 18.2% となっており、前回調査結果と比較すると上昇している。

【育児休業の取得期間（父親）】



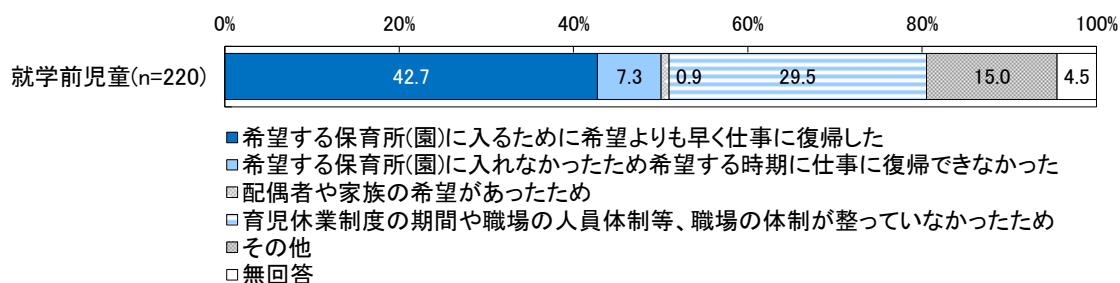
父親の育児休業の取得期間について、実際の取得期間では『1か月以内』（「7日以内」+「14日以内」+「1か月以内」）と回答した割合が 39.2%、「6か月以内」と回答した割合が 37.1%、『6か月を超える』（「1年以内」+「1年を超える」）と回答した割合が 7.2%となっているが、希望の取得期間では、『1か月以内』と回答した割合は 16.5%であり、『6か月を超える』と回答した割合は 37.1%となっている。

問 32-1 で育児休業の実際の期間と希望の期間が異なる人のみ回答

問 32-2 就学前児童

希望の期間を取得できなかったのはどのような理由ですか。【○は1つ】

【希望の期間を取得できなかった理由】



希望の期間を取得できなかった理由について、「希望する保育所(園)に入るために希望よりも早く仕事に復帰した」と回答した割合が 42.7%と最も高く、次いで「育児休業制度の期間や職場の人員体制等、職場の体制が整っていなかったため」(29.5%) となっている。

11 子育て支援

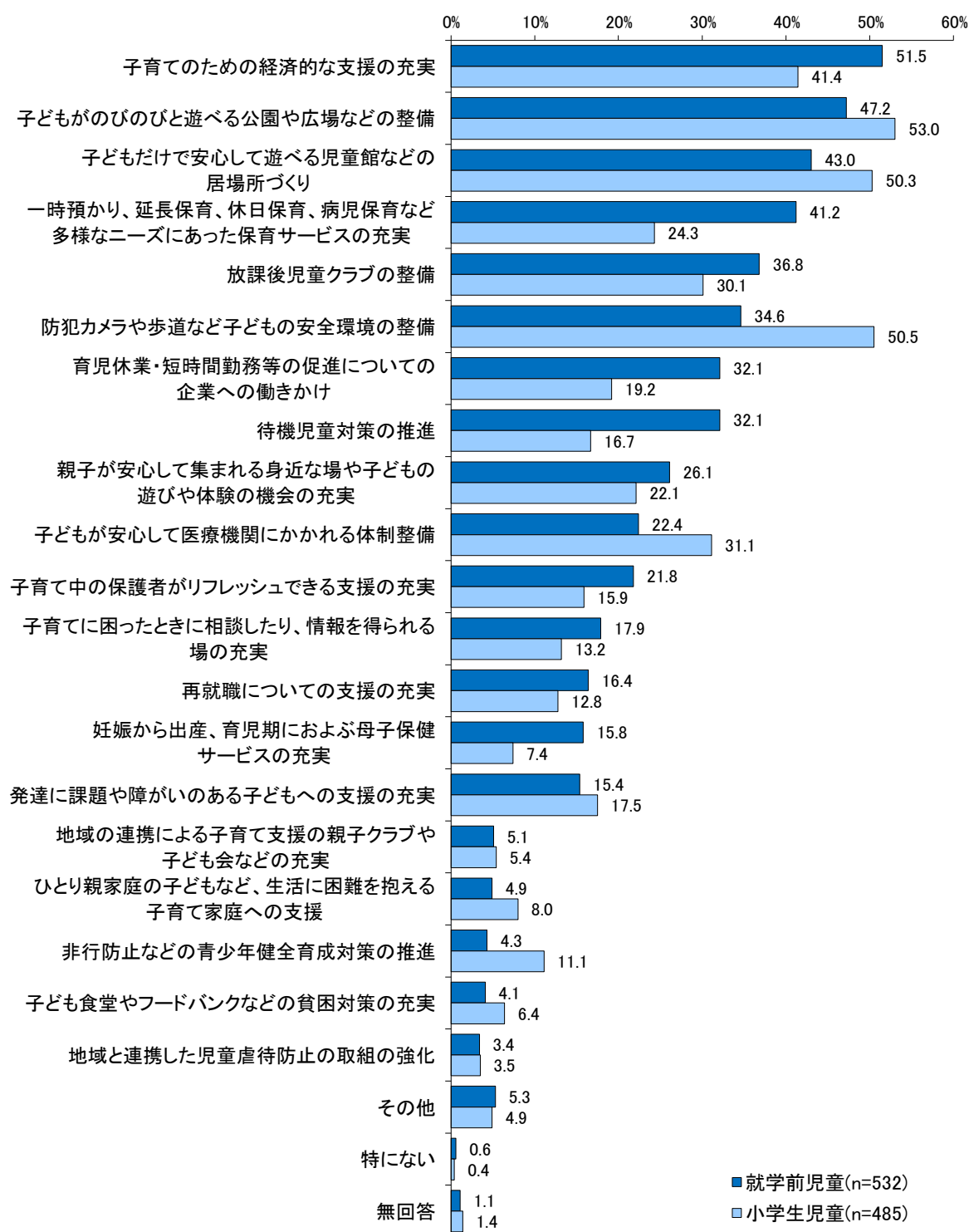
(1) 将来、必要としていることや重要だと思う支援

問 33 就学前児童・問 26 小学生

あなたが現在または将来必要としていること、重要だと思う支援はどのようなものですか。

【当てはまる番号5つまでに○】

【必要としていることや重要だと思う支援】



必要としていることや重要だと思う支援について、就学前児童では「子育てのための経済的な支援の充実」と回答した割合が 51.5%と最も高く、「子どもがのびのびと遊べる公園や広場などの整備」(47.2%),「子どもだけで安心して遊べる児童館などの居場所づくり」(43.0%),「一時預かり, 延長保育, 休日保育, 病児保育など多様なニーズにあった保育サービスの充実」(41.2%)が続いている。

小学生児童では「子どもがのびのびと遊べる公園や広場などの整備」と回答した割合が 53.0%と最も高く、「防犯カメラや歩道など子どもの安全環境の整備」(50.5%),「子どもだけで安心して遊べる児童館などの居場所づくり」(50.3%)が続いている。

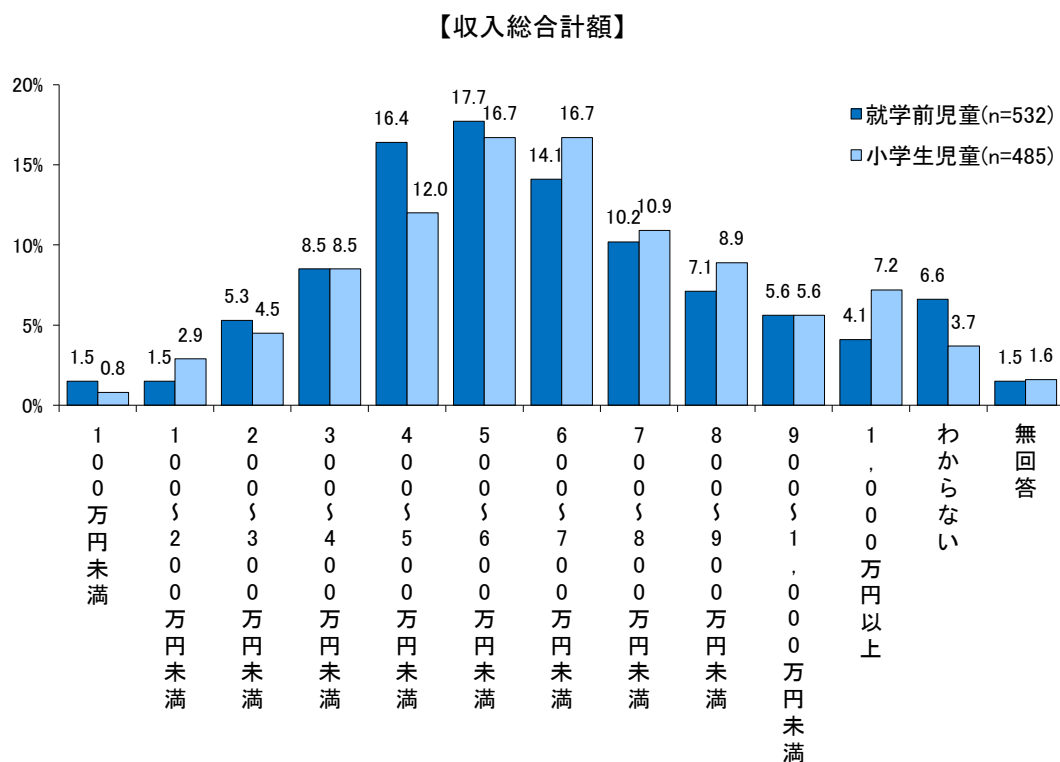
12 生活実態

(1) 収入総合計額

問 34 就学前児童・問 27 小学生児童

過去 1 年間の、家族全員の収入の総合計額は、おおよそいくらでしたか。【○は 1 つ】

※収入には、月給や賞与などの働いて得た収入だけでなく、株式配当や副収入を合計してください。ただし、児童手当や児童扶養手当、公的年金などは除いてください。



収入総合計額について、就学前児童では「500～600 万円未満」と回答した割合が 17.7%と最も高く、次いで「400～500 万円未満」(16.4%)となっている。

小学生児童では「500～600 万円未満」, 「600～700 万円未満」と回答した割合が 16.7%と最も高くなっている。

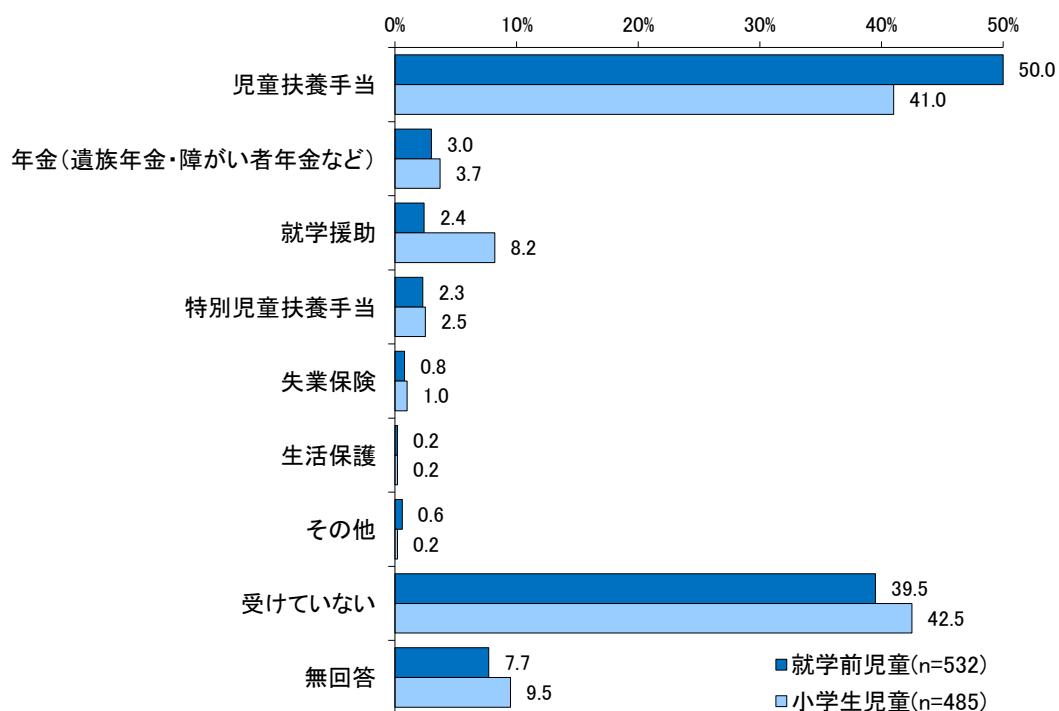
(2) 公的年金や社会保障給付金の受給の有無

問 35 就学前児童・問 28 小学生児童

あなたの世帯で、次の公的年金，社会保障給付金を受けていますか。

【○は当てはまるものすべて】

【公的年金や社会保障給付金の受給の有無】



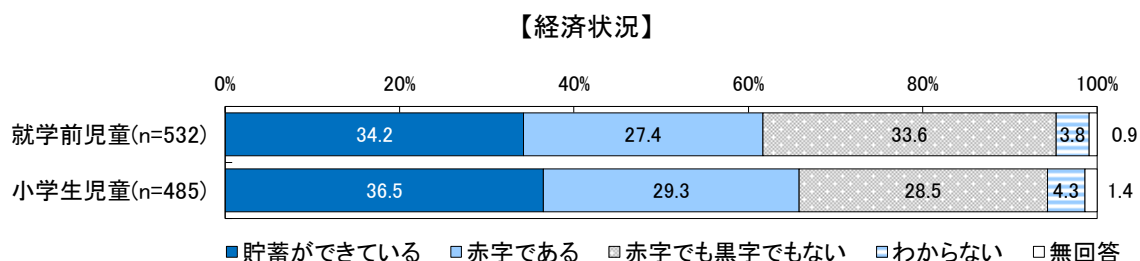
公的年金や社会保障給付金の受給の有無について、就学前児童では「児童扶養手当」と回答した割合が 50.0%と最も高くなっている。また、「受けていない」と回答した割合が 39.5%となっている。

小学生児童では「児童扶養手当」と回答した割合が 41.0%と最も高くなっている。また、「受けていない」と回答した割合が 42.5%となっている。

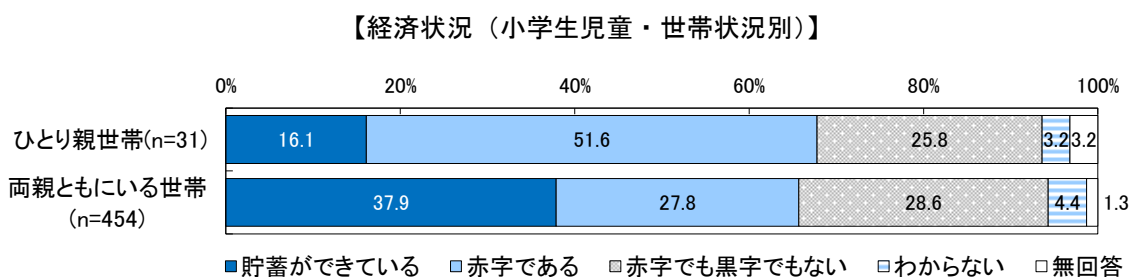
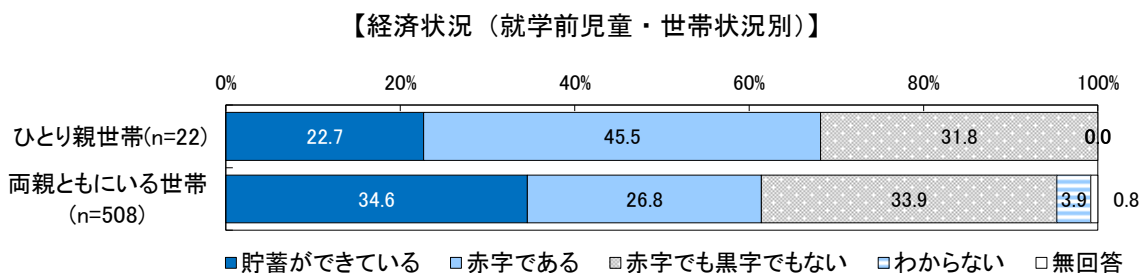
(3) 経済状況

問 36 就学前児童・問 29 小学生児童

過去 1 年間のあなたの家計の経済状況はどうでしたか。【○は 1 つ】



経済状況について、「貯蓄ができています」と回答した割合は就学前児童で 34.2%，小学生児童で 36.5%，「赤字である」と回答した割合は就学前児童で 27.4%，小学生児童で 29.3%となっている。



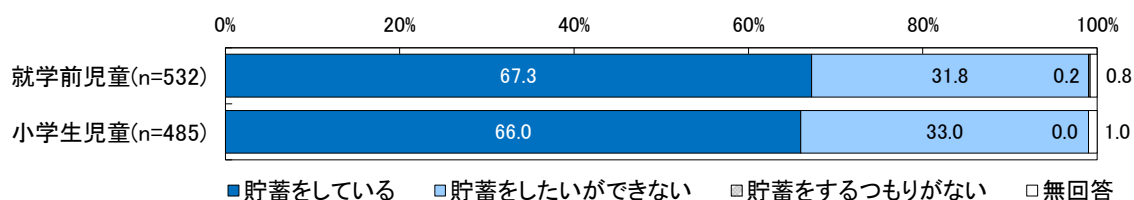
世帯状況別にみると、ひとり親世帯で「赤字である」と回答した割合は就学前児童で 45.5%，小学生児童で 51.6%となっている。

(4) 子どもの将来のための貯蓄の有無

問 37 就学前児童・問 30 小学生児童

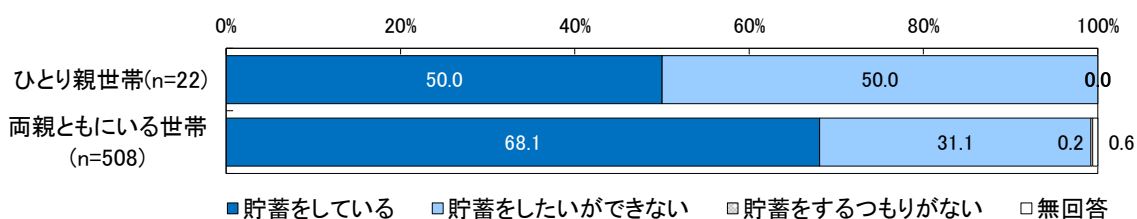
お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。【〇は1つ】

【子どもの将来のための貯蓄の有無】

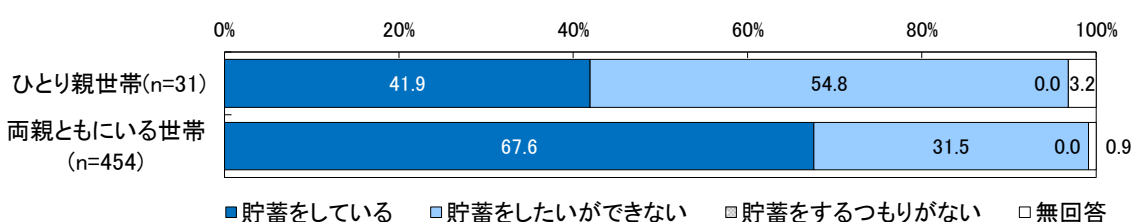


子どもの将来のための貯蓄の有無について、「貯蓄をしている」と回答した割合は就学前児童で 67.3%，小学生児童で 66.0%，「貯蓄をしたいができない」と回答した割合は就学前児童で 31.8%，小学生児童で 33.0%となっている。

【子どもの将来のための貯蓄の有無（就学前児童・世帯状況別）】



【子どもの将来のための貯蓄の有無（小学生児童・世帯状況別）】



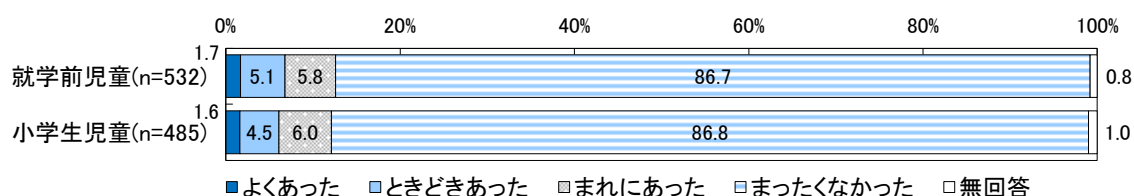
世帯状況別にみると，ひとり親世帯で「貯蓄をしたいができない」と回答した割合は就学前児童で 50.0%，小学生児童で 54.8%となっている。

(5) 経済的な理由で食料を買えなかった経験

問 38 就学前児童・問 31 小学生児童

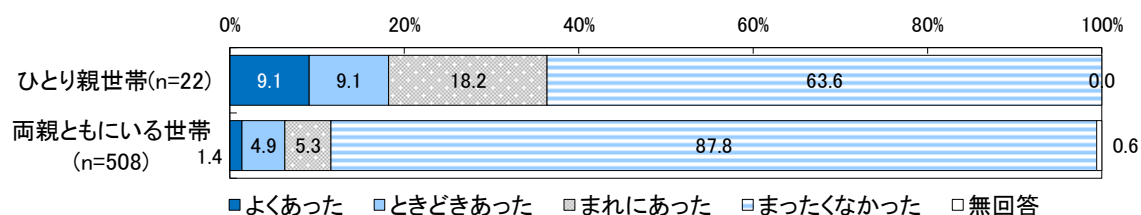
あなたのご家庭では、過去 1 年の間にお金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。【○は 1 つ】

【経済的な理由で食料を買えなかった経験】

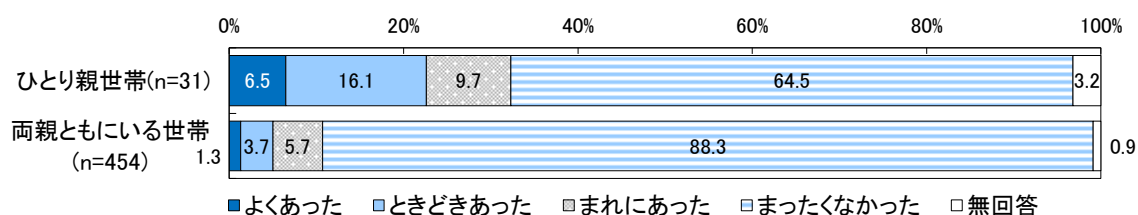


経済的な理由で食料を買えなかった経験について、『あった』（「よくあった」＋「ときどきあった」＋「まれにあった」）と回答した割合は就学前児童で 12.6%、小学生児童で 12.1%となっている。

【経済的な理由で食料を買えなかった経験（就学前児童・世帯状況別）】



【経済的な理由で食料を買えなかった経験（小学生児童・世帯状況別）】



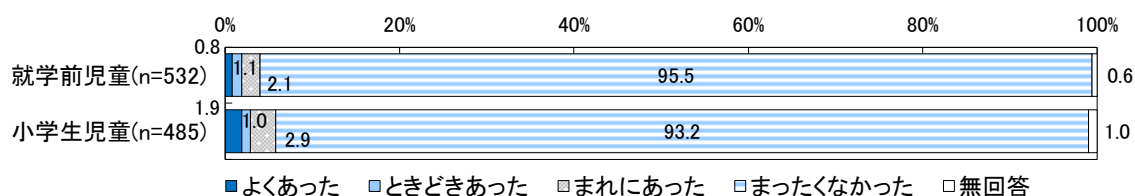
世帯状況別にみると、ひとり親世帯で『あった』と回答した割合は就学前児童で 36.4%、小学生児童で 32.3%となっている。

(6) 経済的な理由で公共料金が未払いになった経験

問 39 就学前児童・問 32 小学生児童

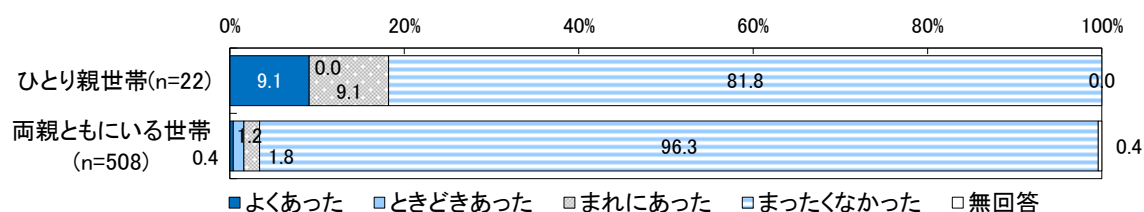
あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、水道又は電気料金、ガス料金が払えないことがありましたか。【○は 1 つ】

【経済的な理由で公共料金が未払いになった経験】

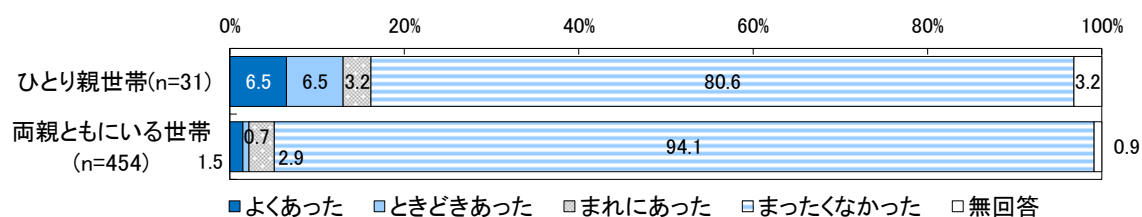


経済的な理由で公共料金が未払いになった経験について、『あった』（「よくあった」＋「ときどきあった」＋「まれにあった」）と回答した割合は就学前児童で 4.0%，小学生児童で 5.8% となっている。

【経済的な理由で公共料金が未払いになった経験（就学前児童・世帯状況別）】



【経済的な理由で公共料金が未払いになった経験（小学生児童・世帯状況別）】



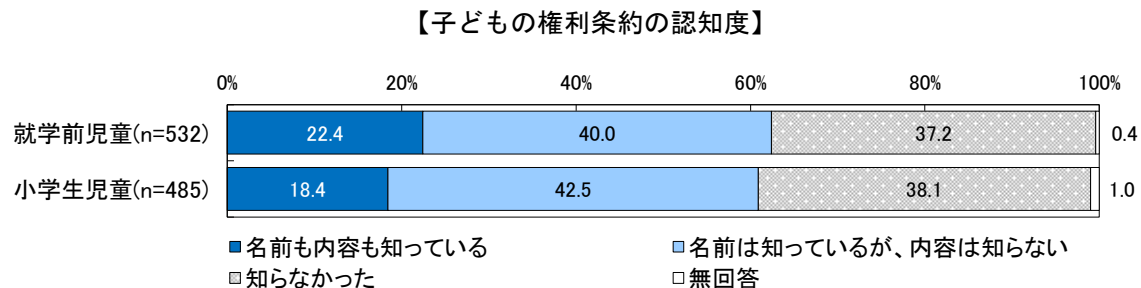
世帯状況別にみると、ひとり親世帯で『あった』と回答した割合は就学前児童で 18.2%，小学生児童で 16.2% となっている。

13 子どもの権利

(1) 子どもの権利条約の認知度

問 40 就学前児童・問 33 小学生児童

あなたは、『子どもの権利条約』を知っていますか。【○は1つ】



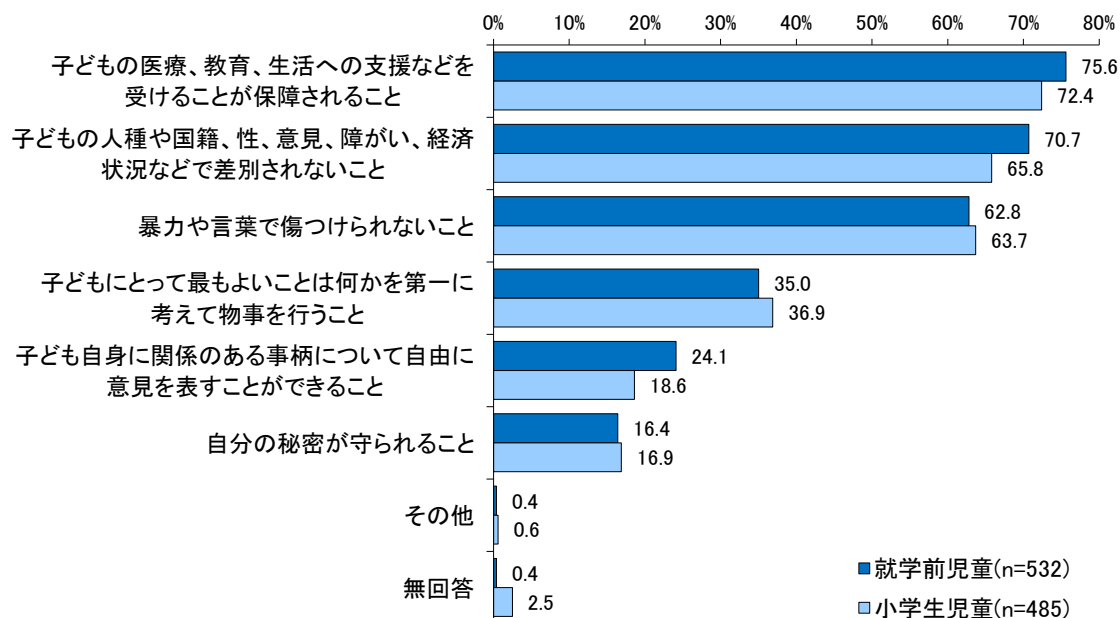
子どもの権利条約の認知度について、「名前も内容も知っている」と回答した割合は就学前児童で22.4%、小学生児童で18.4%、「名前は知っているが、内容は知らない」と回答した割合は就学前児童で40.0%、小学生児童で42.5%、「知らなかった」と回答した割合は就学前児童で37.2%、小学生児童で38.1%となっている。

(2) 子どもの権利の中で大切だと思うこと

問 41 就学前児童・問 34 小学生児童

子どもの権利の中で大切だと思うことはどれですか。【当てはまる番号に3つまで○】

【子どもの権利の中で大切だと思うこと】



子どもの権利の中で大切だと思うことについて、就学前児童では「子どもの医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されること」と回答した割合が 75.6%と最も高く、「子どもの人種や国籍、性、意見、障がい、経済状況などで差別されないこと」(70.7%)、「暴力や言葉で傷つけられないこと」(62.8%)が続いている。

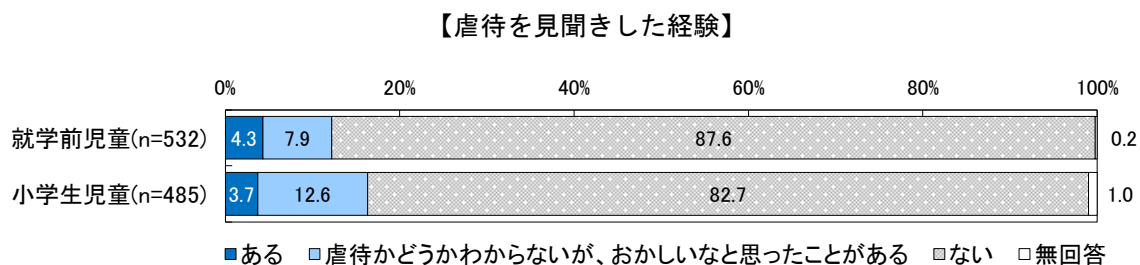
小学生児童では「子どもの医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されること」と回答した割合が 72.4%と最も高く、「子どもの人種や国籍、性、意見、障がい、経済状況などで差別されないこと」(65.8%)、「暴力や言葉で傷つけられないこと」(63.7%)が続いている。

14 児童虐待, ヤングケアラー

(1) 虐待を見聞きした経験

問 42 就学前児童・問 35 小学生児童

最近, マスメディアなどで, 児童虐待について取り上げられていますが, あなたの身近なところで, 子どもの虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。【○は1つ】



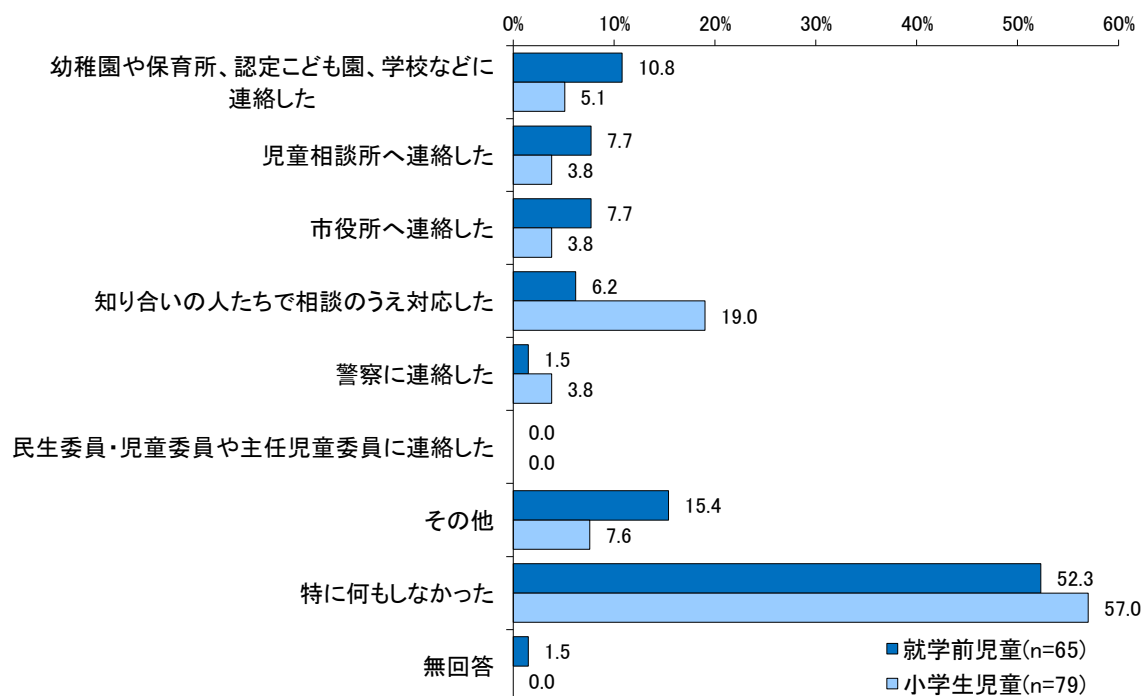
虐待を見聞きした経験について, 「ある」と回答した割合は就学前児童で 4.3%, 小学生児童で 3.7%, 「虐待かどうか分からないが, おかしいなと思ったことがある」と回答した割合は就学前児童で 7.9%, 小学生児童で 12.6%となっている。

問 42・問 35 で「1」または「2」と回答した人のみ回答

問 42-1 就学前児童・問 35-1 小学生児童

子どもの虐待を見たり聞いたりしたとき、あなたはどのように対応しましたか。【〇は1つ】

【子どもの虐待を見たり聞いたりした時の対応】



* 2つ以上回答している者がいるため、回答比率の合計が100.0%を超える。

子どもの虐待を見たり聞いたりした時の対応について、就学前児童では「幼稚園や保育所、認定こども園、学校などに連絡した」と回答した割合が10.8%と最も高く、「児童相談所へ連絡した」、「市役所へ連絡した」(7.7%)、「知り合いの人たちで相談のうえ対応した」(6.2%)が続いている。また、「特に何もしなかった」と回答した割合が52.3%となっている。

小学生児童では「知り合いの人たちで相談のうえ対応した」と回答した割合が19.0%と最も高く、次いで「幼稚園や保育所、認定こども園、学校などに連絡した」(5.1%)となっている。また、「特に何もしなかった」と回答した割合が57.0%となっている。

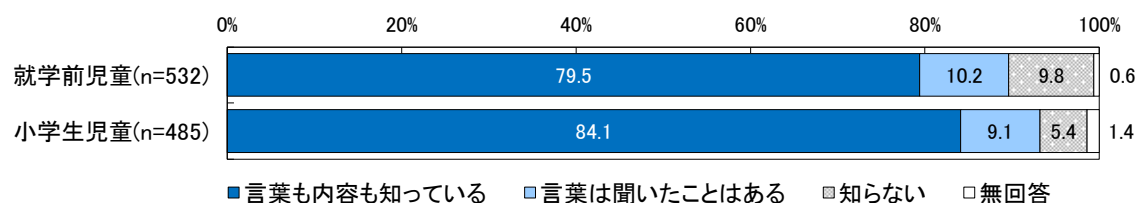
(2) ヤングケアラーという言葉の認知度

問 43 就学前児童・問 36 小学生児童

あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。【○は1つ】

※ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことをいいます。

【ヤングケアラーという言葉の認知度】



ヤングケアラーという言葉の認知度について、「言葉も内容も知っている」と回答した割合は就学前児童で 79.5%，小学生児童で 84.1%，「言葉は聞いたことはある」と回答した割合は就学前児童で 10.2%，小学生児童で 9.1%，「知らない」と回答した割合は就学前児童で 9.8%，小学生児童で 5.4%となっている。

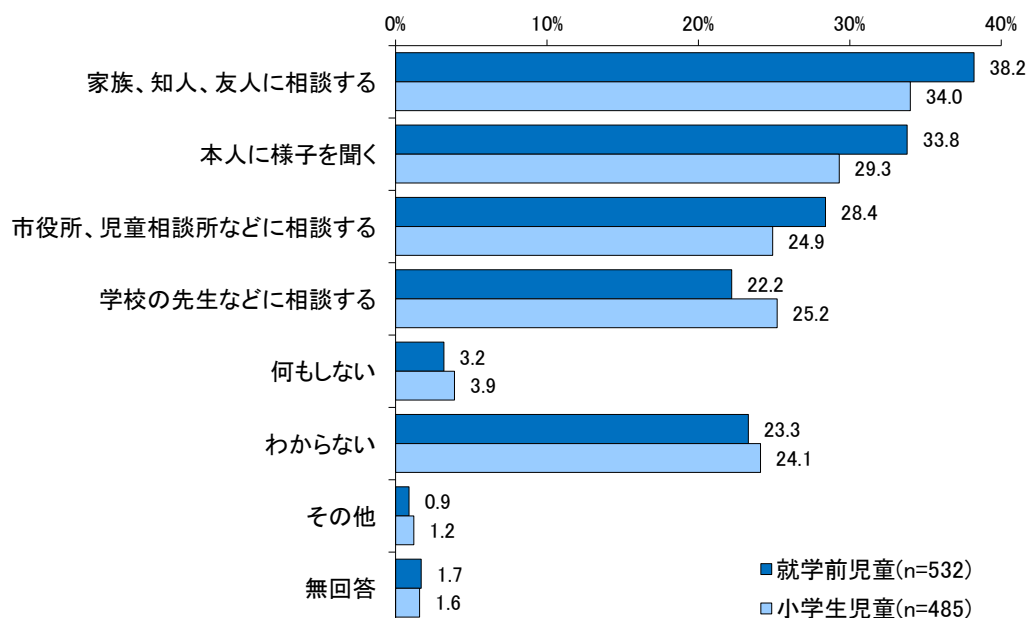
(3) ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対応

問 44 就学前児童・問 37 小学生児童

あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応しますか。

【○は当てはまるものすべて】

【ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対応】



ヤングケアラーと思われる人がいた場合の対応について、就学前児童では「家族、知人、友人に相談する」と回答した割合が 38.2%と最も高く、「本人に様子を聞く」(33.8%)、「市役所、児童相談所などに相談する」(28.4%)、「学校の先生などに相談する」(22.2%)が続いている。

小学生児童では「家族、知人、友人に相談する」と回答した割合が 34.0%と最も高く、「本人に様子を聞く」(29.3%)、「学校の先生などに相談する」(25.2%)、「市役所、児童相談所などに相談する」(24.9%)が続いている。

15 今後の出産に関する意向

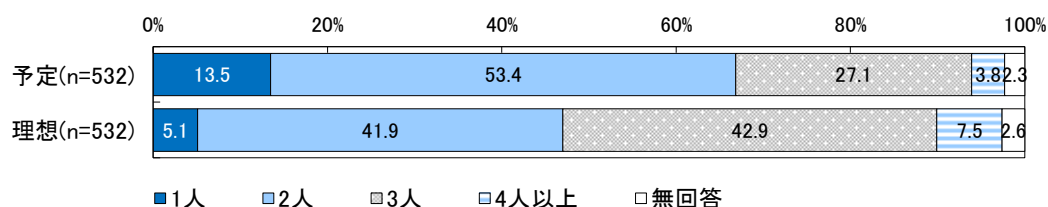
(1) 子どもの今後の予定の人数と理想の人数

問 45 就学前児童・問 38 小学生児童

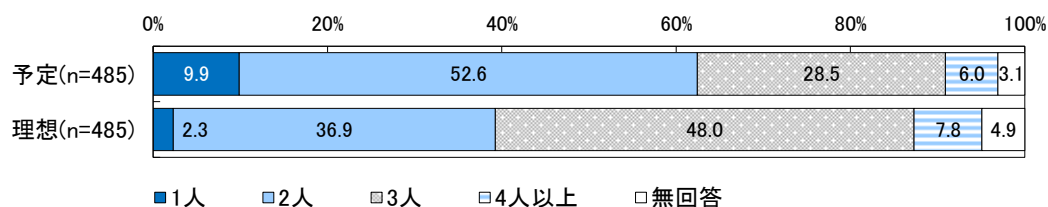
今後の出産予定，理想とするお子さんの人数を数字で記入してください。

【子どもの今後の予定の人数と理想の人数】

(就学前児童)



(小学生児童)



※予定の人数は，問 3「現在の子どもの人数」と問 45「今後の出産予定人数」を合わせて算出

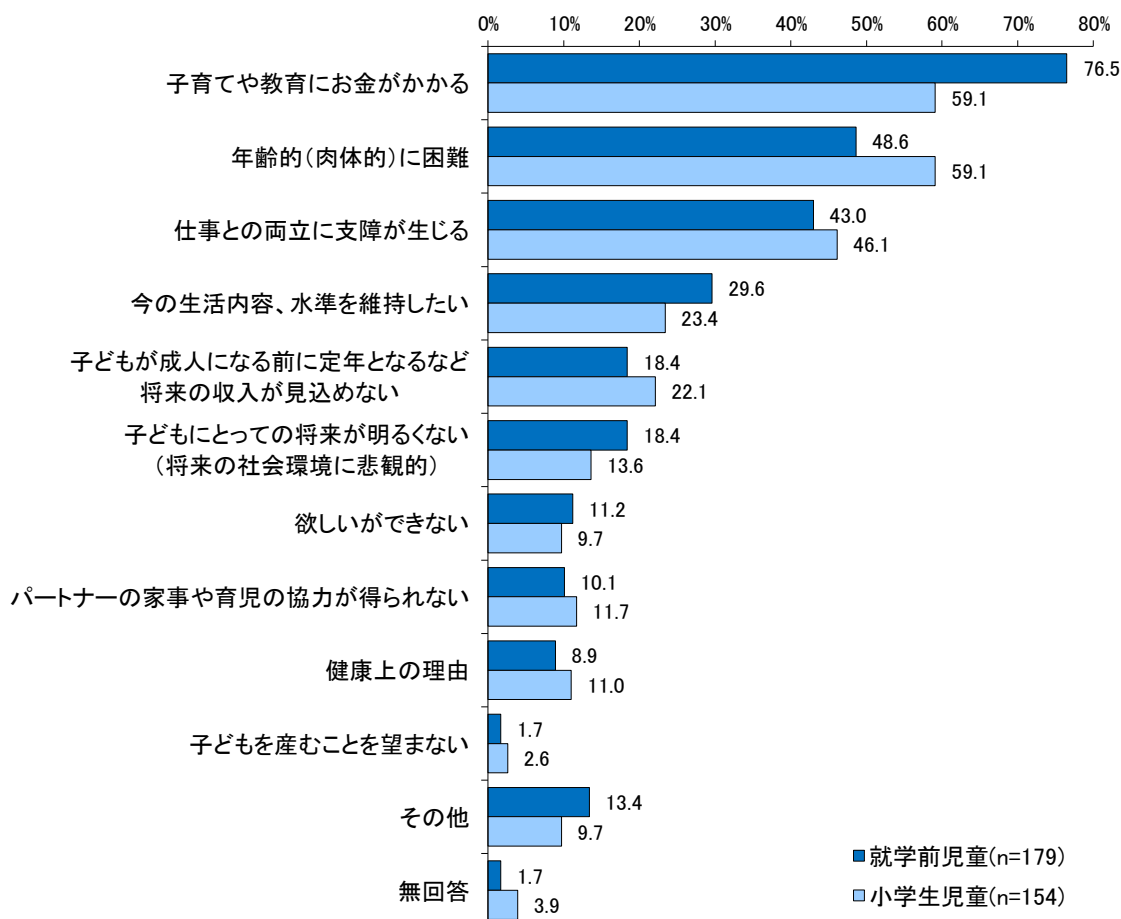
子どもの人数について，予定では『3人以上』と回答した割合は就学前児童で 30.9%，小学生児童で 34.5%，理想では『3人以上』と回答した割合は就学前児童で 50.4%，小学生児童で 55.8%となっており，いずれも予定よりも理想の割合が高くなっている。

現在の子どもの人数と問 45・問 38 の「今後の出産予定の人数」の合計人数が、「理想とする子どもの人数」を下回る人のみ回答

問 45-1 就学前児童・問 38-1 小学生児童

理想とするお子さんの人数を実現できない理由は何ですか。【○は当てはまるものすべて】

【理想とする子どもの人数を実現できない理由】



理想とする子どもの人数を実現できない理由について、就学前児童では「子育てや教育にお金がかかる」と回答した割合が 76.5%と最も高く、「年齢的(肉体的)に困難」(48.6%)、「仕事との両立に支障が生じる」(43.0%)が続いている。

小学生児童では「子育てや教育にお金がかかる」、「年齢的(肉体的)に困難」と回答した割合が 59.1%と最も高く、「仕事との両立に支障が生じる」(46.1%)が続いている。

Ⅲ 調査票

1 就学前児童

総 社 市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査 (就学前児童用)

皆様には、平素より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、総社市では、2020年に「第二期総社市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、教育・保育・子育て支援の充実を図ってきました。この度、この計画を引き継ぐものとして、こども施策を総合的に推進する「総社市こども計画」を策定することになりました。

この調査は、小学校就学前のお子さんのいらっしゃる保護者の方々に、地域の子育て支援に関するニーズをお聞きし、「総社市こども計画」策定のための参考とさせていただきます。

調査は、すべて数字で統計的に集計します。回答者個人が特定されたり、計画をつくるため以外の目的に利用されたりすることはありません。

お忙しい中、申し訳ございませんが、調査の目的をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

2024年6月 総社市

ご記入にあたってのお願い

1. アンケートは、2024年6月1日現在でお答えください。
2. アンケートにはお子さんの保護者の方があて名のお子さんについてご記入ください。
3. 回答は、当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。また、時間や年月、人数などを回答する場合は、具体的な数字を記入してください。
4. 「その他」に○をされた場合は、()内に具体的な内容を記入してください。
5. ご記入が終わりましたら、お手数ですが6月30日(日)までに、同封の返信用封筒に入れた後、切手を貼らずにそのままポストに投函してください。

◆記入上の不明な点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】
総社市役所 こども課 子育て支援係
住所 総社市中央1-1-1
電話 (0866) 92-8268

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問1 あて名のお子さんのお住まいの小学校区（義務教育学校区含む）はどちらですか。【○は1つ】

1. 総社	6. 阿曾	11. 新本
2. 総社中央	7. 池田	12. 昭和五つ星学園
3. 総社北	8. 秦	義務教育学校
4. 常盤	9. 神在	13. 山手
5. 総社東	10. 総社西	14. 清音

問2 あて名のお子さんの生年月を記入してください。【数字を記入】

西暦（ ）年（ ）月生まれ

問3 あて名のお子さんは何人きょうだいですか。また、2人以上のお子さんがある場合は、一番下のお子さんの生年月を記入してください。【数字を記入】

きょうだい人数（ ）人 [きょうだいがいない場合は（1）人]
 一番下のお子さんの生年月 ⇒ 西暦（ ）年（ ）月生まれ

問4 あて名のお子さんの両親の状況について、それぞれの欄について回答してください。

父 親 【○は1つ】	母 親 【○は1つ】
1. 一緒に住んでいる	1. 一緒に住んでいる
2. 単身赴任や入院などで別に住んでいる	2. 単身赴任や入院などで別に住んでいる
3. 死別、離婚、未婚などでいない	3. 死別、離婚、未婚などでいない

問5 家族構成を回答してください。【○は1つ】

1. 二世帯世帯（子どもと親）
 2. 三世帯世帯（子どもと親と祖父母）
 3. その他の世帯（ ）

問6 この調査票に回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で回答してください。【○は1つ】

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で回答してください。【○は1つ】

1. 父母ともに 4. 主に祖父母
 2. 主に母親 5. その他（ ）
 3. 主に父親

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない --▶ 3 ページ問9へ

《問8で「1」から「4」（みてもらえる親族・知人がいる）に○をつけた方にうかがいます。》

▶問8-1 祖父母等の親族、友人、知人にお子さんをみてもらっている状況について回答してください。

【○は当てはまるものすべて】

1. 祖父母、友人等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母、友人等の身体的な負担が大きく、心配である
3. 祖父母、友人等の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）



お母さんの就労状況についてうかがいます。

《お母さんの就労状況についてうかがいます。父子家庭の場合は4ページ問10へ進んでください。》

問9 お母さんの就労状況を回答してください。【○は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休等を取得中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休等を取得中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない } → 問9-3へ
6. これまで就労したことがない

《問9で「1」から「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。》

問9-1 お母さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時間・帰宅時間、土曜日・日曜日の勤務状況を記入してください。

【数字を記入・時間は24時間制(例:午後6時→18時)・土日の勤務状況に○を1つ】

就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて回答してください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について回答してください。

1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間（ ）分
家を出る時間（ ）時（ ）分 帰宅時間（ ）時（ ）分
土曜日の勤務 → [①ない ②定期的にある（ ）日/月 ③不定期にある]
日曜日の勤務 → [①ない ②定期的にある（ ）日/月 ③不定期にある]

《問9で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。》

問9-2 お母さんはフルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みがない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

《問9で「5」または「6」（現在就労していない）に○をつけた方にうかがいます。》

問9-3 お母さんは就労したいという希望はありますか。【○は1つ・「2」「3」の場合は数字を記入】

1. 就労の予定はない（子育て、家事、病気、介護等のため）
2. 1年以上先に、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
⇒ 希望する就労形態 【①・②のどちらかに○ ②の場合は数字を記入】
① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
② パートタイム、アルバイト等（「①」以外）
⇒ 1週当たり（ ）日 ・ 1日当たり（ ）時間

お父さんの就労状況についてうかがいます。

《お父さんの就労状況についてうかがいます。母子家庭の場合は5ページ間11へ進んでください。》

問10 お父さんの就労状況を回答してください。【○は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休等を取得中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休等を取得中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

--> 問10-3へ

《問10で「1」から「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。》

問10-1 お父さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時間・帰宅時間、土曜日・日曜日の勤務状況を記入してください。

【数字を記入・時間は24時間制(例:午後6時→18時)・土日の勤務状況に○を1つ】

就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて回答してください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について回答してください。

1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間（ ）分
 家を出る時間（ ）時（ ）分 帰宅時間（ ）時（ ）分
 土曜日の勤務 → 〔 ①ない ②定期的にある（ ）日/月 ③不定期にある 〕
 日曜日の勤務 → 〔 ①ない ②定期的にある（ ）日/月 ③不定期にある 〕

《問10で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。》

問10-2 お父さんはフルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みがない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

《問10で「5」または「6」（現在就労していない）に○をつけた方にうかがいます。》

問10-3 お父さんは就労したいという希望はありますか。【○は1つ・「2」「3」の場合は数字を記入】

1. 就労の予定はない（子育て、家事、病気、介護等のため）
2. 1年以上先に、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

⇒ 希望する就労形態 【①・②のどちらかに○ ②の場合は数字を記入】

〔 ① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 ② パートタイム、アルバイト等（「①」以外）
 ⇒1週当たり（ ）日 ・1日当たり（ ）時間 〕

あて名のお子さんの平日の幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業*の利用状況についてうかがいます。

*この調査票で、「幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業」とは、「幼稚園、保育所(園)、認定こども園、小規模な保育施設、家庭的保育、事業所内保育施設、その他の認可外保育施設、居宅訪問型保育、ファミリーサポートセンターで定期的に受けている事業」としています。以下の設問も同様の定義です。

問 11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用していますか。

【○は1つ】

1. 利用している

2. 利用していない --> 6 ページ問 11-5 へ

《問 11 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。》

▶ 問 11-1 あて名のお子さんは、平日にどのような事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業を回答してください。【○は当てはまるものすべて】

1. 認可保育所(園) (国が定める最低基準に適合した、利用定員 20 人以上の認可を受けた施設)
2. 幼稚園 (通常の時間の利用)
3. 幼稚園の預かり保育 (通常の時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
4. 事業所内保育施設 (働く従業員が利用できる病院や事業所内の保育施設)
5. その他の認可外の保育施設 (具体的に:)
6. ベビーシッターなどの保育者が、子どもの自宅に来て保育をするサービス
7. ファミリーサポートセンター (育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人とがそれぞれ会員となり、相互に支え合う事業)
8. その他 ()

問 11-2 平日、定期的に利用している幼稚園や保育所(園)などの事業をどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(1) 現在 【1週当たりの日数と利用時間(何時から何時まで)を数字で記入・時間は 24 時間制

(例:午後 6 時→18 時)】

1 週当たり () 日利用 [利用時間] 時 分 ~ 時 分

(2) 希望 【1週当たりの日数と利用時間(何時から何時まで)を数字で記入・時間は 24 時間制

(例:午後 6 時→18 時)】

1 週当たり () 日利用 [利用時間] 時 分 ~ 時 分

問 11-3 現在、利用している幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業の実施場所はどの地域ですか。

【○は1つ】

1. お住まいの小学校区域内
2. お住まいの小学校区域外(市内)
3. 市外
4. その他 ()

1. 0歳から → () か月から	4. 3歳から
2. 1歳から	5. 4歳から
3. 2歳から	6. 5歳から

問 11-5 現在、幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用していない理由を回答してください。

[illegible]

問 12 あて名のお子さんについて、平日、定期的にどのような施設や事業を利用したいと思いますか。

1. 認可保育所(園) (国が定める最低基準に適合した、利用定員 20 人以上の認可を受けた施設)
2. 幼稚園 (通常の時間の利用)
3. 幼稚園の預かり保育 (通常の時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
4. 認定こども園 (幼稚園と保育所(園)の機能を併せ持つ県の認可を受けた施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した、定員が6～19 人の市の認可を受けた施設)
6. 家庭的保育 (保育者の家庭などで5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (働く従業員が利用できる病院や事業所内の保育施設)
8. その他の認可外の保育施設 (具体的に：)
9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターなどの保育者が、子どもの自宅に来て保育をする事業)
10. ファミリーサポートセンター (育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人とがそれぞれ会員となり、相互に支え合う事業)
11. その他 ()
12. 利用する必要はない

1. 強く希望する 2. 幼稚園の利用は希望しない。

問 12-2 利用したいと思う幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業はどの地域ですか。【○は1つ】

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. お住まいの小学校区域内 | 3. 市外 |
| 2. お住まいの小学校区域外(市内) | 4. その他() |

問 12-3 幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を選ぶときに特に重視することを回答してください。
【○は3つまで】

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 居住地に近い場所 | 6. 子どもが行きたい施設 |
| 2. 勤務先の近く・通勤に便利な場所 | 7. 先生や職員の対応 |
| 3. 延長保育や休日保育など保育機能 | 8. 利用料金の安さ |
| 4. 教育・保育の方針・内容 | 9. その他() |
| 5. 園児の人数の規模 | 10. 特になし |

幼稚園や保育所(園)などの 土曜・休日や長期休暇中の定期的な利用希望についてうかがいます。

問 13 あて名のお子さんについて、土曜日や日曜日・祝日に、定期的に幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用したいですか。(一時的な利用は除きます。利用する場合、一定の利用料の負担があります。)【○は当てはまるものすべて・利用を希望する場合は利用希望頻度・時間を記入、時間は 24 時間制(例:午後 6 時→18 時)】

- | |
|---|
| 1. 利用する必要はない |
| 2. 土曜日に利用したい
⇒ 利用希望頻度(① 毎週 ② 時々)・利用希望時間 <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで |
| 3. 日曜日・祝日に利用したい
⇒ 利用希望頻度(① 毎週 ② 時々)・利用希望時間 <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで |

《幼稚園を利用している方・利用を希望する方にうかがいます。》

問 14 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に幼稚園や保育所(園)などの利用を希望しますか。【○は1つ・「2」「3」の場合は利用希望時間を記入
時間は 24 時間制(例:午後 6 時→18 時)】

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 利用する必要はない | [利用したい時間帯]
→ <input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | |

**あて名のお子さんが病気の際の対応についてうかがいます。
(平日に幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用する方のみ)**

《平日に幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用していると回答した方(問 11 で「1. 利用している」に○をつけた方)にうかがいます。利用していない方は9 ページ問 16 に進んでください。》

問 15 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用できなかったことはありましたか。【○は1つ】

1. あった

2. なかった ⇒ 9 ページ問 16 へ

《問 15 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。》

→ 問 15-1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用できなかった場合に、どのように対応しましたか。

【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の日数を記入(半日程度対応の場合も1日とカウント)】

1. 父親が仕事を休んだ	⇒1年間に()日
2. 母親が仕事を休んだ	⇒1年間に()日
3. 在宅ワークを行った	⇒1年間に()日
4. (同居者を含む)親族・知人に預けた	⇒1年間に()日
5. 就労していない保護者がみた	⇒1年間に()日
6. 病児・病後児の保育施設を利用した	⇒1年間に()日
7. ベビーシッターを頼んだ	⇒1年間に()日
8. ファミリーサポートセンターにお願いした	⇒1年間に()日
9. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	⇒1年間に()日
10. その他()	⇒1年間に()日

→ 問 15-1 で「1」または「2」(父親・母親が仕事を休んだ)に○をつけた方にうかがいます。》

問 15-2 父親、母親が休んだ際に、病児・病後児のための保育施設*等を利用したいと思いましたか。

【○は1つ・利用を希望する場合は1年間の日数を記入】

* 病児・病後児のための保育施設とは、子どもが病気の回復期にあり、集団保育などが難しい場合に、一時的に保育を行う事業です。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ ()日/年
2. 利用したいと思わない

あて名のお子さんの不定期の保育サービスの利用についてうかがいます。

問 16 あて名のお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したサービスはありますか（宿泊は伴わない）。

【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の利用日数を記入】

1. 一時預かり [私用など理由を問わずに保育所(園)などで一時的に子どもを保育する事業]	⇒1年間に()日
2. 幼稚園の預かり保育 [通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ]	⇒1年間に()日
3. ファミリーサポートセンター	⇒1年間に()日
4. ベビーシッター	⇒1年間に()日
5. その他()	⇒1年間に()日
6. 利用していない	

《問 16 で「6」に○をつけた方にうかがいます。》

▶ 問 16-1 現在、利用していない理由を回答してください。【○は当てはまるものすべて】

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 5. 利用料がかかる・高い |
| 2. 利用したい事業が地域にない | 6. 利用料がわからない |
| 3. 地域の事業の内容に不安がある | 7. 自分が事業の対象になるのかどうかかわからない |
| 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない | 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| | 9. その他() |

《すべての方にうかがいます。》

問 17 あて名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか（宿泊は伴わない）。

【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の利用希望日数を記入】

1. 利用する必要はない	
2. 私用（買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）やりフレッシュ目的で利用したい	⇒1年間に()日
3. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等で利用したい	⇒1年間に()日
4. 不定期の就労で利用したい	⇒1年間に()日
5. その他()	⇒1年間に()日

《すべての方にうかがいます。》

問 18 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、泊まりがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

ショートステイ（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）を利用したいと思いますか。
なお利用にあたっては、一定の利用料がかかります。 【○は当てはまるものすべて】

1. 利用する必要はない	⇒ 問 19 へ
2. 冠婚葬祭などで利用したい	⇒ 1 年間に（ ）泊
3. 親や家族の育児疲れや不安などで利用したい	⇒ 1 年間に（ ）泊
4. 親や家族の病気などで利用したい	⇒ 1 年間に（ ）泊
5. その他の利用したい理由（	）⇒ 1 年間に（ ）泊

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 19 あて名のおさんは、現在、地域子育て支援拠点事業*などを利用していますか。

【○は当てはまるものすべて・利用している事業は利用回数を記入・「2」の場合（ ）に具体的な場所や事業名を記入】

* 地域子育て支援拠点事業とは、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「地域子育て支援センター」等と呼ばれています。

1. リブ総社店やきよね夢てらすなどで行う「つどいの広場」の利用について ⇒ 1 週当たり（ ）回 もしくは 1 か月当たり（ ）回程度
2. 保育所で行う「地域子育て支援センター」の利用について ⇒ 1 週当たり（ ）回 もしくは 1 か月当たり（ ）回程度
3. どちらも利用していない
4. 今は利用していないが、以前利用したことがある。

《問 19 で「3」に○をつけた方にうかがいます。》

→ 問 19-1 現在利用していない理由を回答してください。【○は当てはまるものすべて】

1. 事業を知らない	6. 事業の内容に不安がある
2. 実施場所や利用方法がわからない	7. いっしょに利用する仲間がいない
3. 身近な地域で実施していない	8. 利用する必要がない
4. 利用可能時間・日数などが合わない	9. その他（ ）
5. 利用しにくいと感じている	

《すべての方にうかがいます。》

問 20 問 19 のような地域子育て支援拠点事業を、今後利用したり、利用回数を増やしたいと思いますか。

【○は1つ・利用を希望する場合は利用希望回数を記入】

1. 利用していないが、今後利用したい
〔利用したい回数〕
→1 週当たり（ ）回 もしくは 1 か月当たり（ ）回程度
2. すでに利用しているが、利用回数を増やしたい
〔増やしたい回数〕
→1 週当たり（ ）回 もしくは 1 か月当たり（ ）回程度
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

子育て全般についてうかがいます。

問 21 下記の①～⑤のサービスを知っていますか。【①～⑤のそれぞれの項目に○は1つずつ】

	内容を 知っている	聞いたことは あるが、 内容は 知らない	知らない
①妊婦学級・両親学級 (出産を控えた未来のお母さん、お父さんを対象とした、 出産や育児について学ぶ講座です。)	1	2	3
②赤ちゃん訪問 (乳児の家庭に保健師等が訪問し、赤ちゃんの発育や育児 等についての相談に応じます。)	1	2	3
③産後ケア事業 (助産師等による母乳ケアや育児相談が、医療機関等や自 宅で受けられます。)	1	2	3
④総社市の公式ソーシャルメディア (ライン (LINE) 等により、市の情報を配信していま す。)	1	2	3
⑤妊婦・育児相談 (ラッコ広場・カンガルー広場) (身体計測、育児相談、栄養相談を行います。)	1	2	3

問 22 あなたは、同じぐらいの年齢の子どもをもつ親同士の付き合いがありますか。【○は1つ】

1. 一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる
2. 話をする程度の付き合いはある
3. 付き合いはあまりない

問 23 子育てに関して不安や負担を感じますか。【○は1つ】

1. 非常に不安や負担を感じる
2. なんとなく不安や負担を感じる
3. あまり不安や負担などは感じない
4. まったく感じない
5. なんとも言えない

問 24 子育てに関して、困っていることや、悩んでいることはどのようなことですか。

【○は当てはまるものすべて】

1. 子どもの病気や発育・発達に関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと
5. 子どもとの時間を十分とれないこと
6. 話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
10. 登園しぶり・不登園などの問題
11. 子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少なかったり、意見が合わないこと
12. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること
13. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
14. 子どもを叱りすぎているような気がする
15. 子育てのストレスがたまり、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
16. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
17. その他（ ）
18. 特にない

問 25 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。【○は1つ】

- | | |
|----------|-----------|
| 1. いる・ある | 2. いない・ない |
|----------|-----------|

《問 25 で「1. いる・ある」に○をつけた方にうかがいます。》

→ 問 25-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

【○は当てはまるものすべて】

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 10. 市の保健師や助産師、栄養士など |
| 2. 親や兄弟姉妹などの親族 | 11. 愛育委員 |
| 3. 隣近所の人、地域の友人・知人 | 12. 民生委員・児童委員・主任児童委員 |
| 4. 職場の人 | 13. 児童相談所 |
| 5. 保育所(園)・幼稚園・学校の保護者の仲間 | 14. 電話相談 |
| 6. 親子クラブ・子育てサークルの仲間 | 15. SNS やインターネット |
| 7. 幼稚園・保育所・認定こども園の先生 | 16. その他 |
| 8. つどいの広場・地域子育て支援センター | () |
| 9. かかりつけの医師、看護師 | 17. 相談すべきことはない |

問 26 どのようにして子育て支援に関する情報を入手していますか。【○は当てはまるものすべて】

1. 市ホームページ	5. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	9. 幼稚園・保育所(園)・認定こども園
2. 市広報紙	6. SNS・インターネット	10. その他
3. 市メールマガジン	7. 親族・友人・知人から	()
4. 子育てガイドブック	8. 市保健師・助産師・栄養士	11. 特になし

問 27 あなたが住んでいる地域の子育て環境について、あなたの意見を回答してください。

【①～⑥のそれぞれの項目に○は1つずつ】

	そう 思う	ほ ぼ そ う 思 う	あ ま り 思 わ な い	そ う は 思 わ な い
① 用事、病気や育児疲れの時に、子どもを預けることができるサービスが充実している	1	2	3	4
② 仕事と子育てを両立する保育サービスが充実している	1	2	3	4
③ 子どもの健康づくりを支援する体制が充実している	1	2	3	4
④ 地域には子どもと親が自由に集え、仲間をつくる場所がある	1	2	3	4
⑤ 子どもや子育て支援に関する様々な情報提供が充実している	1	2	3	4
⑥ 子育て支援に関する相談体制が充実している	1	2	3	4

問 28 あて名のお子さんのご家族は、近所の人とどの程度付き合いがありますか。【○は1つ】

1. 何か困った時に助け合う人がいる	4. あいさつをする程度の人しかいない
2. お互いに訪問し合う程度の人がある	5. ほとんど付き合いはない
3. 立ち話をする程度の人がある	

問 29 自分自身の子育てが地域の人々や社会全体に支えられていると感じますか。【○は1つ】

1. 非常に感じている	3. あまり感じていない
2. どちらかというと感じている	4. まったく感じていない

問 30 いろいろなことを総合して、総社市は子育てがしやすいと思いますか。【○は1つ】

1. 子育てがしやすい	3. どちらかといえば子育てがしにくい
2. どちらかといえば子育てがしやすい	4. 子育てがしにくい

あて名のお子さんが5歳以上である方に、
小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒5歳未満の方は、問32へ

問31 あて名のお子さんについて、小学校1年生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入・「4. 放課後児童クラブ」の場合は利用希望時間を記入 時間は24時間制(例:午後6時→18時)】

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 放課後児童クラブ	週（ ）日くらい →下校時から（ ）時（ ）分まで
5. 放課後子ども教室	週（ ）日くらい
6. ファミリーサポートセンター	週（ ）日くらい
7. 公園、図書館など	週（ ）日くらい
8. その他（ ）	週（ ）日くらい

育児休業・育児休暇についてうかがいます。

《すべての方にうかがいます。》

問32 あて名のお子さんが生まれた時、お母さん、お父さんは育児休業を取得しましたか。

母 親【○は1つ】	父 親【○は1つ】
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した・取得中である	2. 取得した・取得中である
3. 取得していない	3. 取得していない

《問32で「2. 取得した・取得中である」に○をつけた方にうかがいます。》

▶ 問32-1 育児休業の実際の期間と希望の期間を記入してください。

母 親【○は1つ】	父 親【○は1つ】
実際：（ ）歳（ ）カ月まで	実際：（ ）歳（ ）カ月まで
希望：（ ）歳（ ）カ月まで	希望：（ ）歳（ ）カ月まで

《問 32-1 で育児休業の実際の期間と希望の期間が異なる方にうかがいます。》

問 32-2 希望の期間を取得できなかったのはどのような理由ですか。【〇は1つ】

1. 希望する保育所(園)に入るために希望よりも早く仕事に復帰した
2. 希望する保育所(園)に入れなかったため希望する時期に仕事に復帰できなかった
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 育児休業制度の期間や職場の人員体制等、職場の体制が整っていなかったため
5. その他 ()

子育て支援についてうかがいます

問 33 あなたが現在または将来必要としていること、重要だと思う支援はどのようなものですか。

【当てはまる番号5つまでに〇】

1. 子どもだけで安心して遊べる児童館などの居場所づくり
2. 子育てに困ったときに相談したり、情報を得られる場の充実
3. 親子が安心して集まれる身近な場や子どもの遊びや体験の機会の充実
4. 地域の連携による子育て支援の親子クラブや子ども会などの充実
5. 妊娠から出産、育児期におよぶ母子保健サービスの充実
6. 育児休業・短時間勤務等の促進についての企業への働きかけ
7. 再就職についての支援の充実
8. 待機児童対策の推進
9. 一時預かり、延長保育、休日保育、病児保育など多様なニーズにあった保育サービスの充実
10. 子育てのための経済的な支援の充実
11. 放課後児童クラブの整備
12. 子育て中の保護者がリフレッシュできる支援の充実
13. 子ども食堂やフードバンクなどの貧困対策の充実
14. ひとり親家庭の子どもなど、生活に困難を抱える子育て家庭への支援
15. 子どもが安心して医療機関にかかれる体制整備
16. 発達に課題や障がいのある子どもへの支援の充実
17. 地域と連携した児童虐待防止の取組の強化
18. 防犯カメラや歩道など子どもの安全環境の整備
19. 非行防止などの青少年健全育成対策の推進
20. 子どもがのびのびと遊べる公園や広場などの整備
21. その他 ()
22. 特にない

生活実態についてうかがいます

問 34 過去 1 年間の、家族全員の収入の総合計額は、おおよそいくらでしたか。【〇は1つ】

※収入には、月給や賞与などの働いて得た収入だけでなく、株式配当や副収入を合計してください。

ただし、児童手当や児童扶養手当、公的年金などは除いてください。

1. 100万円未満	7. 600～700万円未満
2. 100～200万円未満	8. 700～800万円未満
3. 200～300万円未満	9. 800～900万円未満
4. 300～400万円未満	10. 900～1000万円未満
5. 400～500万円未満	11. 1000万円以上
6. 500～600万円未満	12. わからない

問 35 あなたの世帯で、次の公的年金、社会保障給付金を受けていますか。

【〇は当てはまるものすべて】

1. 児童扶養手当	5. 生活保護
2. 特別児童扶養手当	6. 失業保険
3. 就学援助	7. その他（ ）
4. 年金（遺族年金・障がい者年金など）	8. 受けていない

《現在の暮らしについてうかがいます。》

問 36 過去 1 年間のあなたの家計の経済状況はどうでしたか。【〇は1つ】

1. 貯蓄ができています	3. 赤字でも黒字でもない
2. 赤字である	4. わからない

問 37 お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。【〇は1つ】

1. 貯蓄をしている	3. 貯蓄をするつもりがない
2. 貯蓄をしたいができない	

問 38 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。【〇は1つ】

1. よくあった	3. まれにあった
2. ときどきあった	4. まったくなかった

問 39 あなたのご家庭では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、水道又は電気料金、ガス料金が払えないことがありましたか。【〇は1つ】

1. よくあった	3. まれにあった
2. ときどきあった	4. まったくなかった

子どもの権利についてうかがいます

問 40 あなたは、『子どもの権利条約』を知っていますか。【〇は1つ】

1. 名前も内容も知っている	3. 知らなかった
2. 名前は知っているが、内容は知らない	

※『子どもの権利条約』の基本的な考え方は、次の4つで表されます。

- ①差別の禁止（差別のないこと）
- ②子どもの最善の利益（子どもによって最もよいこと）
- ③生命、生存及び発達に対する権利（命を守られ成長できること）
- ④子どもの意見の尊重（子どもが意味のある参加ができること）

問 41 子どもの権利の中で大切だと思うことはどれですか。【当てはまる番号に3つまで〇】

1. 子どもの人種や国籍、性、意見、障がい、経済状況などで差別されないこと
2. 子どもにとって最もよいことは何かを第一に考えて物事を行うこと
3. 子どもの医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されること
4. 子ども自身に関係のある事柄について自由に意見を表すことができること
5. 自分の秘密が守られること
6. 暴力や言葉で傷つけられないこと
7. その他（ ）

児童虐待やヤングケアラーについてうかがいます

問 42 最近、マスメディアなどで、児童虐待について取り上げられています。あなたの身近なところで、子どもの虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。【〇は1つ】

1. ある	⇒ 問 42-1 へ
2. 虐待かどうかわからないが、おかしいなと思ったことがある	
3. ない	

問 42 で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。

問 42-1 子どもの虐待を見たり聞いたりしたとき、あなたはどのように対応しましたか。【〇は1つ】

1. 児童相談所へ連絡した
2. 市役所へ連絡した
3. 民生委員・児童委員や主任児童委員に連絡した
4. 警察に連絡した
5. 幼稚園や保育所、認定こども園、学校などに連絡した
6. 知り合いの人たちで相談のうえ対応した
7. その他（ ）
8. 特に何もしなかった

問 43 あなたはヤングケアラー※という言葉を知っていますか。

※ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことをいいます。 【○は1つ】

1. 言葉も内容も知っている	3. 知らない
2. 言葉は聞いたことはある	

問 44 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応しますか。

【○は当てはまるものすべて】

1. 本人に様子を聞く	5. 何もしない
2. 家族、知人、友人に相談する	6. 分からない
3. 学校の先生などに相談する	7. その他
4. 市役所、児童相談所などに相談する	()

今後の出産に関する意向についてうかがいます

問 45 今後の出産予定、理想とするお子さんの人数を数字で記入してください。

今後の出産予定の人数	<input type="text"/>	<input type="text"/>	人
理想とするお子さんの人数	<input type="text"/>	<input type="text"/>	人

※現在のお子さんの人数と問 45 の「今後の出産予定の人数」の合計人数が、「理想とするお子さんの人数」を下回る方にうかがいます。

問 45-1 理想とするお子さんの人数を実現できない理由は何ですか。 【○は当てはまるものすべて】

1. 子育てや教育にお金がかかる
2. 仕事との両立に支障が生じる
3. 健康上の理由
4. 年齢的（肉体的）に困難
5. 子どもを産むことを望まない
6. 欲しいができない
7. パートナーの家事や育児の協力が得られない
8. 子どもが成人になる前に定年となるなど将来の収入が見込めない
9. 今の生活内容、水準を維持したい
10. 子どもにとっての将来が明るくない（将来の社会環境に悲観的）
11. その他 ()

アンケートはこれで終わりです。
ご協力、たいへんありがとうございました。

総 社 市

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

(小学生児童(義務教育学校1年生～6年生を含む)用)

皆様には、平素より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、総社市では、2020年に「第二期総社市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、教育・保育・子育て支援の充実を図ってきました。この度、この計画を引き継ぐものとして、こども施策を総合的に推進する「総社市こども計画」を策定することになりました。

この調査は、小学生（義務教育学校1年生～6年生）のお子さんのいらっしゃる保護者の方々に、地域の子育て支援に関するニーズをお聞きし、「総社市こども計画」策定のための参考とさせていただくものです。

調査は、すべて数字で統計的に集計します。回答者個人が特定されたり、計画をつくるため以外の目的に利用されたりすることはありません。

お忙しい中、申し訳ございませんが、調査の目的をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

2024年6月 総社市

ご記入にあたってのお願い

1. アンケートは、2024年6月1日現在でお答えください。
2. アンケートにはお子さんの保護者の方があて名のお子さんについてご記入ください。
3. 回答は、当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。また、時間や年月、人数などを回答する場合は、具体的な数字を記入してください。
4. 「その他」に○をされた場合は、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
5. ご記入が終わりましたら、お手数ですが6月30日（日）までに、同封の返信用封筒に入れた後、切手を貼らずにそのままポストに投函してください。

◆記入上の不明な点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】
総社市役所 こども課 子育て支援係
住所 総社市中央1-1-1
電話 (0866) 92-8268

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問1 あて名のお子さんのお住まいの小学校区（義務教育学校区含む）はどちらですか。【〇は1つ】

1. 総社	6. 阿曾	11. 新本
2. 総社中央	7. 池田	12. 昭和五つ星学園
3. 総社北	8. 秦	義務教育学校区
4. 常盤	9. 神在	13. 山手
5. 総社東	10. 総社西	14. 清音

問2 あて名のお子さんは何年生ですか。【数字を記入】

1. 1年生	2. 2年生	3. 3年生	4. 4年生	5. 5年生	6. 6年生
--------	--------	--------	--------	--------	--------

問3 あて名のお子さんは何人きょうだいですか。また、2人以上のお子さんがある場合は、一番下のお子さんの生年月を記入してください。【数字を記入】

きょうだい人数（ ）人 [きょうだいがいない場合は（1）人] 一番下のお子さんの生年月 ⇒ 西暦（ ）年（ ）月生まれ
--

問4 あて名のお子さんの両親の状況について、それぞれの欄について回答してください。

父 親 【〇は1つ】	母 親 【〇は1つ】
1. 一緒に住んでいる	1. 一緒に住んでいる
2. 単身赴任や入院などで別に住んでいる	2. 単身赴任や入院などで別に住んでいる
3. 死別、離婚、未婚などでいない	3. 死別、離婚、未婚などでいない

問5 家族構成を回答してください。【〇は1つ】

1. 二世帯世帯（子どもと親） 2. 三世帯世帯（子どもと親と祖父母） 3. その他の世帯（ ）
--

問6 この調査票に回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で回答してください。【〇は1つ】

1. 母親	2. 父親	3. その他（ ）
-------	-------	-----------

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で回答してください。【〇は1つ】

1. 父母ともに	4. 主に祖父母
2. 主に母親	5. その他（ ）
3. 主に父親	

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【○は当てはまるものすべて】

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない ⇒ 3 ページ問 9 へ

《問8で「1」から「4」（みてもらえる親族・知人がいる）に○をつけた方にうかがいます。》

→ 問 8-1 祖父母等の親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について回答してください。

【○は当てはまるものすべて】

1. 祖父母、友人等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母、友人等の身体的な負担が大きく、心配である
3. 祖父母、友人等の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

お母さんの就労状況についてうかがいます。

《お母さんの就労状況についてうかがいます。父子家庭の場合は4ページ問10へ進んでください。》

問9 お母さんの就労状況を回答してください。【○は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休等を取得中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休等を取得中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

---▶ 問9-3へ

《問9で「1」から「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。》

問9-1 お母さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」
家を出る時間・帰宅時間、土曜日・日曜日の勤務状況を記入してください。

【数字を記入・時間は24時間制(例:午後6時→18時)・土日の勤務状況に○を1つ】

就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて回答してください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について回答してください。

1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間（ ）分
家を出る時間（ ）時（ ）分 帰宅時間（ ）時（ ）分
土曜日の勤務 →〔 ①ない ②定期的にある（ ）日/月 ③不定期にある 〕
日曜日の勤務 →〔 ①ない ②定期的にある（ ）日/月 ③不定期にある 〕

《問9で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。》

問9-2 お母さんはフルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みがない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

《問9で「5」または「6」（現在就労していない）に○をつけた方にうかがいます。》

問9-3 お母さんは就労したいという希望はありますか。【○は1つ・「2」「3」の場合は数字を記入】

1. 就労の予定はない（子育て、家事、病気、介護等のため）
2. 1年以上先に、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

⇒ 希望する就労形態 【①・②のどちらかに○ ②の場合は数字を記入】

① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

② パートタイム、アルバイト等（「①」以外）

⇒1週当たり（ ）日 ・1日当たり（ ）時間

お父さんの就労状況についてうかがいます。

《お父さんの就労状況についてうかがいます。母子家庭の場合は5ページ問11へ進んでください。》

問10 お父さんの就労状況を回答してください。【○は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休等を取得中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休等を取得中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない } --▶ 問10-3へ
6. これまで就労したことがない

《問10で「1」から「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。》

問10-1 お父さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時間・帰宅時間、土曜日・日曜日の勤務状況を記入してください

【数字を記入・時間は24時間制（例：午後6時→18時）・土日の勤務状況に○を1つ】

就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて回答してください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について回答してください。

1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間（ ）分
家を出る時間（ ）時（ ）分 帰宅時間（ ）時（ ）分
土曜日の勤務 → 〔 ①ない ②定期的にある（ ）日/月 ③不定期にある 〕
日曜日の勤務 → 〔 ①ない ②定期的にある（ ）日/月 ③不定期にある 〕

《問10で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。》

問10-2 お父さんはフルタイムへの転換希望はありますか。【○は1つ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、実現できる見込みがない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

《問10で「5」または「6」（現在就労していない）に○をつけた方にうかがいます。》

問10-3 お父さんは就労したいという希望はありますか。【○は1つ・「2」「3」の場合は数字を記入】

1. 就労の予定はない（子育て、家事、病気、介護等のため）
2. 1年以上先に、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
⇒ 希望する就労形態 【①・②のどちらかに○ ②の場合は数字を記入】

〔 ① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
② パートタイム、アルバイト等（「①」以外）
⇒ 1週当たり（ ）日 ・ 1日当たり（ ）時間 〕

小学校卒業までの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 11 あて名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの週当たりの日数を記入】

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 放課後児童クラブ	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室	週（ ）日くらい
6. ファミリーサポートセンター事業を利用している	週（ ）日くらい
7. その他（公園、図書館など）	週（ ）日くらい

→《問 11 で「4. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。》

問 11-1 放課後児童クラブの利用の状況を回答してください。

【時間は 24 時間制(例:午後 6 時→18 時)】

【利用している時間帯】

(平日) 放課後から 時 分まで

(夏休みなどの長期休暇中)

時 分から 時 分まで

【土曜日の利用】 1. 利用している 2. 利用していない

【利用している主な理由】 (○は 1 つ)

お子さんの身の回りの世話をしている方が

1. 現在就労している 3. 病気や障害がある

2. 家族・親族などを介護している 4. その他 ()

問 11-2 現在通っている放課後児童クラブに対してどのような要望がありますか。

【○は当てはまるものすべて】

1. 開設時間を延長してほしい 5. 施設設備を改善してほしい

2. 利用できる学年を延長してほしい 6. 指導内容を工夫してほしい

3. 日曜日・祝日も開いてほしい 7. その他 ()

4. お盆・年末年始に開いてほしい 8. 特にない

放課後児童クラブの今後の利用希望をうかがいます。

《現在放課後児童クラブを利用している方、利用していない方、すべての方にうかがいます。》

問 12 あて名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。【○は1つ】

1. 利用したい

2. 利用希望はない ----▶ 7 ページ問 13 へ

《問 12 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。》

→ 問 12-1 利用したい日数、時間などを回答してください。【時間は 24 時間制(例:午後 6 時→18 時)】

【利用したい日数】 1 週当たり () 日

【利用したい時間帯】

(平日) 放課後から 時 分まで

(夏休みなどの長期休暇中)

時 分から 時 分まで

【土曜日の利用】 1. 利用したい 2. 利用希望はない

【何年生まで利用したいか】 (○は1つ)

1. 1 年生まで

4. 4 年生まで

2. 2 年生まで

5. 5 年生まで

3. 3 年生まで

6. 6 年生まで

【利用を希望する主な理由】 (○は1つ)

お子さんの身の回りの世話をしている方が

1. 現在就労している

3. 病気や障がいがある

2. 家族・親族などを介護している

4. その他 ()



あて名のお子さんが病気の際の対応についてうかがいます。

問 13 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありましたか。【○は1つ】

- | | |
|----------|-----------------------|
| - 1. あった | 2. なかった ⇒ 8 ページ間 14 へ |
|----------|-----------------------|

《問 13 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。》

▶ 問 13-1 この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、どのように対応しましたか。

【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の日数を記入(半日程度対応の場合も1日とカウント)】

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 1. 父親が仕事を休んだ | ⇒1年間に()日 |
| 2. 母親が仕事を休んだ | ⇒1年間に()日 |
| 3. 在宅ワークを行った | ⇒1年間に()日 |
| 4. (同居者を含む)親族・知人に預けた | ⇒1年間に()日 |
| 5. 就労していない保護者がみた | ⇒1年間に()日 |
| 6. 病児・病後児の保育施設を利用した | ⇒1年間に()日 |
| 7. ベビーシッターを頼んだ | ⇒1年間に()日 |
| 8. ファミリーサポートセンターにお願いした。 | ⇒1年間に()日 |
| 9. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | ⇒1年間に()日 |
| 10. その他() | ⇒1年間に()日 |

《問 13-1 で「1」または「2」（父親・母親が仕事を休んだ）に○をつけた方にうかがいます。》

問 13-2 父親、母親が休んだ際に、病児・病後児のための保育施設*等を利用したいと思いましたが。

【○は1つ・利用を希望する場合は1年間の日数を記入】

* 病児・病後児のための保育施設とは、子どもが病気の回復期にあり、集団保育などが難しい場合に、一時的に保育を行う事業です。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ () 日/年
2. 利用したいと思わない

あて名のお子さんの不定期の保育サービスの利用についてうかがいます。

《すべての方にうかがいます。》

問 14 あて名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか（宿泊は伴わない）。

【○は当てはまるものすべて・○をつけたものの1年間の利用希望日数を記入】

1. 利用する必要はない	
2. 私用（買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等） やりフレッシュ目的で利用したい	⇒1年間に（ ）日
3. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院 等で利用したい	⇒1年間に（ ）日
4. 不定期の就労で利用したい	⇒1年間に（ ）日
5. その他（ ）	⇒1年間に（ ）日

問 15 あて名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、泊まりがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

ショートステイ（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）を利用したいと思いますか。
なお利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

【○は当てはまるものすべて】

1. 利用する必要はない	⇒ 問 15 へ
2. 冠婚葬祭などで利用したい	⇒1年間に（ ）泊
3. 親や家族の育児疲れや不安などで利用したい	⇒1年間に（ ）泊
4. 親や家族の病気などで利用したい	⇒1年間に（ ）泊
5. その他の利用したい理由（ ）	⇒1年間に（ ）泊

子育て全般についてうかがいます。

《すべての方にうかがいます。》

問 16 下記の①～②のサービスを知っていますか。【①～②のそれぞれの項目に○は1つつつ】

	内容を 知っている	聞いたことは あるが、内容 は知らない	知らない
①総社市の公式ソーシャルメディア (ライン(LINE)等により、市の情報を配信しています。)	1	2	3
②家庭児童相談室 (学齢期の学校生活や子育てに関する保護者の相談業務を行っています。)	1	2	3

問 17 あなたは、同じぐらいの年齢の子どもをもつ親同士の付き合いがありますか。【○は1つ】

1. 一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる
2. 話をする程度の付き合いはある
3. 付き合いはあまりない

問 18 子育てに関して不安や負担を感じますか。【○は1つ】

1. 非常に不安や負担を感じる
2. なんとなく不安や負担を感じる
3. あまり不安や負担などは感じない
4. まったく感じない
5. なんとも言えない

問 19 子育てに関して、困っていることや、悩んでいることはどのようなことですか。

【○は当てはまるものすべて】

1. 子どもの病気や発育・発達に関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと
5. 子どもとの時間を十分とれないこと
6. 話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること
10. 不登校などの問題
11. 子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少なかったり、意見が合わないこと
12. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること
13. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
14. 子どもを叱りすぎているような気がする
15. 子育てのストレスがたまり、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
16. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
17. その他()
18. 特になし

問 20 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所はありますか。【○は1つ】

1. いる・ある 2. いない・ない

《問 20 で「1. いる・ある」に○をつけた方にうかがいます。》

→ 問 20-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

【○は当てはまるものすべて】

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 10. 市の保健師や助産師、栄養士など |
| 2. 親や兄弟姉妹などの親族 | 11. 愛育委員 |
| 3. 隣近所の人、地域の友人・知人 | 12. 民生委員・児童委員・主任児童委員 |
| 4. 職場の人 | 13. 児童相談所 |
| 5. 保育所(園)・幼稚園・学校の保護者の仲間 | 14. 電話相談 |
| 6. 子育てサークルの仲間 | 15. SNS やインターネット |
| 7. 幼稚園・保育所(園)・学校の先生 | 16. その他 |
| 8. スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー | () |
| 9. かかりつけの医師、看護師 | 17. 相談すべきことはない |

問 21 どのようにして子育て支援に関する情報を入手していますか。【○は当てはまるものすべて】

- | | | |
|--------------|------------------|----------|
| 1. 市ホームページ | 5. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 | 9. 学校 |
| 2. 市広報紙 | 6. SNS・インターネット | 10. その他 |
| 3. 市メールマガジン | 7. 親族・友人・知人から | () |
| 4. 子育てガイドブック | 8. 市保健師・助産師・栄養士 | 11. 特になし |

問 22 あなたが住んでいる地域の子育て環境について、あなたの意見を回答してください。

【①～⑥のそれぞれの項目に○は1つずつ】

	そう 思う	ほぼ そう 思う	あまり 思わ ない	そう は思 わな い
① 用事、病気や育児疲れの時に、子どもを預けることがで きるサービスが充実している	1	2	3	4
② 仕事と子育てを両立する保育サービスが充実している	1	2	3	4
③ 子どもの健康づくりを支援する体制が充実している	1	2	3	4
④ 地域には子どもと親が自由に集え、仲間をつくる場所が ある	1	2	3	4
⑤ 子どもや子育て支援に関する様々な情報提供が充実して いる	1	2	3	4
⑥ 子育て支援に関する相談体制が充実している	1	2	3	4

問 23 あて名のお子さんのご家族は、近所の人とどの程度付き合いがありますか。【〇は1つ】

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 何か困った時に助け合う人がいる | 4. あいさつをする程度の人しかいない |
| 2. お互いに訪問し合う程度の人がある | 5. ほとんど付き合いはない |
| 3. 立ち話をする程度の人がある | |

問 24 自分自身の子育てが地域の人々や社会全体に支えられていると感じますか。【〇は1つ】

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 非常に感じている | 3. あまり感じていない |
| 2. どちらかというと感じている | 4. まったく感じていない |

問 25 いろいろなことを総合して、総社市は子育てがしやすいと思いますか。【〇は1つ】

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 子育てがしやすい | 3. どちらかといえば子育てがしにくい |
| 2. どちらかといえば子育てがしやすい | 4. 子育てがしにくい |

子育て支援についてうかがいます

問 26 あなたが現在または将来必要としていること、重要だと思う支援はどのようなものですか。

【当てはまる番号5つまでに〇】

- | |
|--|
| 1. 子どもだけで安心して遊べる児童館などの居場所づくり |
| 2. 子育てに困ったときに相談したり、情報を得られる場の充実 |
| 3. 親子が安心して集まれる身近な場や子どもの遊びや体験の機会の充実 |
| 4. 地域の連携による子育て支援の親子クラブや子ども会などの充実 |
| 5. 妊娠から出産、育児期におよぶ母子保健サービスの充実 |
| 6. 育児休業・短時間勤務等の促進についての企業への働きかけ |
| 7. 再就職についての支援の充実 |
| 8. 待機児童対策の推進 |
| 9. 一時預かり、延長保育、休日保育、病児保育など多様なニーズにあった保育サービスの充実 |
| 10. 子育てのための経済的な支援の充実 |
| 11. 放課後児童クラブの整備 |
| 12. 子育て中の保護者がリフレッシュできる支援の充実 |
| 13. 子ども食堂やフードバンクなどの貧困対策の充実 |
| 14. ひとり親家庭の子どもなど、生活に困難を抱える子育て家庭への支援 |
| 15. 子どもが安心して医療機関にかかれる体制整備 |
| 16. 発達に課題や障がいのある子どもへの支援の充実 |
| 17. 地域と連携した児童虐待防止の取組の強化 |
| 18. 防犯カメラや歩道など子どもの安全環境の整備 |
| 19. 非行防止などの青少年健全育成対策の推進 |
| 20. 子どもがのびのびと遊べる公園や広場などの整備 |
| 21. その他 () |
| 22. 特になし |

生活実態についてうかがいます

問 27 過去1年間の、家族全員の収入の総合計額は、おおよそいくらでしたか。【〇は1つ】

※収入には、月給や賞与などの働いて得た収入だけでなく、株式配当や副収入を合計してください。

ただし、児童手当や児童扶養手当、公的年金などは除いてください。

1. 100万円未満	7. 600～700万円未満
2. 100～200万円未満	8. 700～800万円未満
3. 200～300万円未満	9. 800～900万円未満
4. 300～400万円未満	10. 900～1000万円未満
5. 400～500万円未満	11. 1000万円以上
6. 500～600万円未満	12. わからない

問 28 あなたの世帯で、次の公的年金、社会保障給付金を受けていますか。

【〇は当てはまるものすべて】

1. 児童扶養手当	5. 生活保護
2. 特別児童扶養手当	6. 失業保険
3. 就学援助	7. その他（ ）
4. 年金（遺族年金・障がい者年金など）	8. 受けていない

《現在の暮らしについてうかがいます。》

問 29 過去1年間のあなたの家計の経済状況はどうでしたか。【〇は1つ】

1. 貯蓄ができています	3. 赤字でも黒字でもない
2. 赤字である	4. わからない

問 30 お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。【〇は1つ】

1. 貯蓄をしている	3. 貯蓄をするつもりがない
2. 貯蓄をしたいができない	

問 31 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。【〇は1つ】

1. よくあった	3. まれにあった
2. ときどきあった	4. まったくなかった

問 32 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、水道又は電気料金、ガス料金が払えないことがありましたか。【〇は1つ】

1. よくあった	3. まれにあった
2. ときどきあった	4. まったくなかった

子どもの権利についてうかがいます

問 33 あなたは、『子どもの権利条約』を知っていますか。【〇は1つ】

1. 名前も内容も知っている	3. 知らなかった
2. 名前は知っているが、内容は知らない	

※『子どもの権利条約』の基本的な考え方は、次の4つで表されます。

- ①差別の禁止（差別のないこと）
- ②子どもの最善の利益（子どもによって最もよいこと）
- ③生命、生存及び発達に対する権利（命を守られ成長できること）
- ④子どもの意見の尊重（子どもが意味のある参加ができること）

問 34 子どもの権利の中で大切だと思うことはどれですか。【当てはまる番号に3つまで〇】

1. 子どもの人種や国籍、性、意見、障がい、経済状況などで差別されないこと
2. 子どもにとって最もよいことは何かを第一に考えて物事を行うこと
3. 子どもの医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されること
4. 子ども自身に関係のある事柄について自由に意見を表すことができること
5. 自分の秘密が守られること
6. 暴力や言葉で傷つけられないこと
7. その他（ ）

児童虐待やヤングケアラーについてうかがいます

問 35 最近、マスメディアなどで、児童虐待について取り上げられていますが、あなたの身近なところで、子どもの虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。【〇は1つ】

1. ある	⇒ 問 35-1 へ
2. 虐待かどうかわからないが、おかしいと思ったことがある	
3. ない	

問 35 で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。

問 35-1 子どもの虐待を見たり聞いたりしたとき、あなたはどのように対応しましたか。【〇は1つ】

1. 児童相談所へ連絡した
2. 市役所へ連絡した
3. 民生委員・児童委員や主任児童委員に連絡した
4. 警察に連絡した
5. 幼稚園や保育所、認定こども園、学校などに連絡した
6. 知り合いの人たちで相談のうえ対応した
7. その他（ ）
8. 特に何もしなかった

問 36 あなたはヤングケアラー※という言葉を知っていますか。

※ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことをいいます。 【○は1つ】

1. 言葉も内容も知っている	3. 知らない
2. 言葉は聞いたことはある	

問 37 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応しますか。

【○は当てはまるものすべて】

1. 本人に様子を聞く	5. 何もしない
2. 家族、知人、友人に相談する	6. 分からない
3. 学校の先生などに相談する	7. その他
4. 市役所、児童相談所などに相談する	()

今後の出産に関する意向についてうかがいます

問 38 今後の出産予定、理想とするお子さんの人数を数字で記入してください。

今後の出産予定の人数		人
理想とするお子さんの人数		人

※現在のお子さんの人数と問 38 の「今後の出産予定の人数」の合計人数が、「理想とするお子さんの人数」を下回る方にうかがいます。

問 38-1 理想とするお子さんの人数を実現できない理由は何ですか。 【○は当てはまるものすべて】

1. 子育てや教育にお金がかかる
2. 仕事との両立に支障が生じる
3. 健康上の理由
4. 年齢的（肉体的）に困難
5. 子どもを産むことを望まない
6. 欲しいができない
7. パートナーの家事や育児の協力が得られない
8. 子どもが成人になる前に定年となるなど将来の収入が見込めない
9. 今の生活内容、水準を維持したい
10. 子どもにとっての将来が明るくない（将来の社会環境に悲観的）
11. その他 ()

アンケートはこれで終わりです。
ご協力、たいへんありがとうございました。